Canon

PUB. DIJ-0390-000B

HDビデオカメラ

iVIS HF M51

使用説明書

楽しく作ろう!! 思い出ライブラリー

旅先での印象的な景色、人、味覚。
入学式でのキリッとした横顔。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
心くすぐる瞬間を**iVIS**に収めましょう。

手軽 こだわりオート に、キレイに撮影… **47**

青い空、ハイキング、乗馬、夕焼け、一群の鳥。被写体や撮影状況をカメラが自動判別するので、どんなシーンもキレイに撮れます。

今までとはココが違う!
メモリーは軽い!スゴい!!

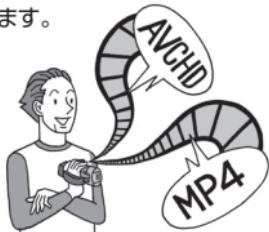
1 買ったその日から撮れる ……… 44

AVCHD動画の場合、32GBの内蔵メモリーに標準画質SPモードで約9時間35分。買ったその日から、家族の笑顔が残せます。

記録 AVCHDでもMP4でも記録してキレイ・気軽にモバイル …36

ハイビジョンで美しい映像のAVCHDとスマートフォンでラクラク再生のMP4。二つの記録形式で撮ったり見たり、自由な映像スタイルをいつでもどこでも楽しめます。

音質 オーディオシーンセレクト 音質を場面に合わせてセレクト……124

撮影場面に合った音質の設定を選んで撮影。音にこだわった臨場感あふれる映像がかんたんに撮影できます。

顔を フェイスキャッチ＆追尾 顔を検出して撮る……99

顔のピントや明るさを自動で調整。ねらった人物は逃しません。

作品 シナリオ、シネマ、デコレーション 作品として仕上げる…143

テーマを選び、シナリオに沿って撮るだけ。シネマルックフィルターを使えば簡単に映画のような雰囲気に。画面にタッチしてデコレーションすると楽しい映像に仕上がります。

2 一覧画面から一発再生……58

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻しや早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

3 パソコンで保存や編集……212

PIXELA社製ソフトウェア は動画、ImageBrowser EXはMP4動画や静止画の保存、加えてWeb公開ができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

4 いろいろな残し方 …202

ディスク作成、BDレコーダーなどにダビング、Webサイトへのアップロードなど、お好みに応じてさまざまなカタチで映像を残すことができます。

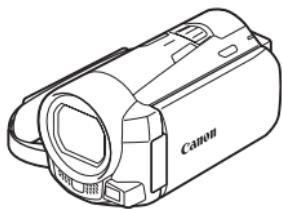
CONTENTS

もくじ

CONTENTS

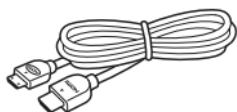
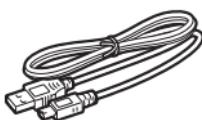
もくじ

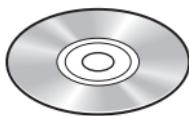
そろっていますか？

箱の中に次のものが入っているかチェックしましょう。

ビデオカメラ本体

バッテリーパック BP-718

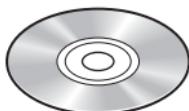
コンパクトパワーアダプター
（ACアダプター）CA-110

スタイラスペン

HDMIケーブル
HTC-100/S

USBケーブル
IFC-300PCU/S

クイックガイド

動画用ソフトウェア

VideoBrowser
（動画の保存、管理、編集、再生用）

VideoBrowser
「インストールの前に」

MP4動画・静止画用ソフトウェア*[1]/ビデオカメラの使用説明書（PDF）/
音楽/画像ミックスデータ

キヤノンiVIS ディスク
（MP4動画、静止画の保存·管理／
CiG*[2]・SNS*[3]への投稿・公開用）

このディスクに入っている音楽／画像ミックスデータは、付属のPIXELA社製ソフトでのみ使用できます。CDプレーヤーでは再生できません。
詳しくはVideoBrowser取扱説明書（PDF）をご覧ください。

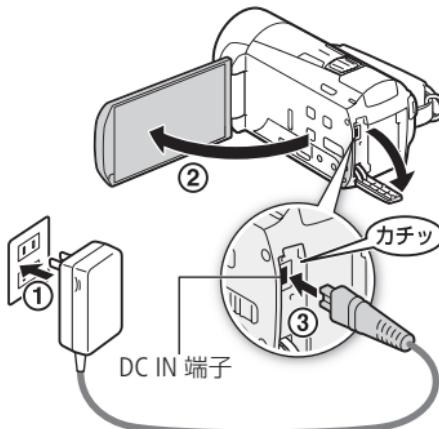
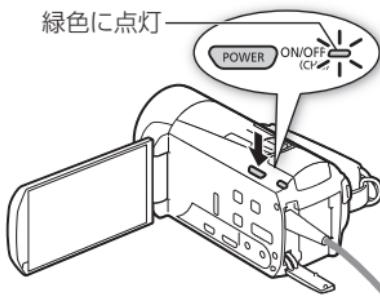
*[1] ソフトウェア（ImageBrowser EX）の自動インストーラーが入っています。インストール時はあらかじめインターネット接続が必要です。

*[2] CANON iMAGE GATEWAY（キヤノンイメージゲートウェイ）のこと。登録（無料）すると、オンラインアルバムの公開やフォトブック作成などのサービスが利用できます。

*[3] Facebookなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと。

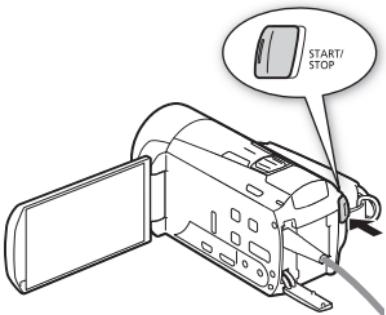
さっそく撮ってみよう

箱から出して、今すぐ撮影してみたい----という方のために一通りの操作を説明します。まずは内蔵メモリーに気楽に撮ってみましょう。

1 コンセントにつなぐ

2 電源をONにする

3 時計を合わせる

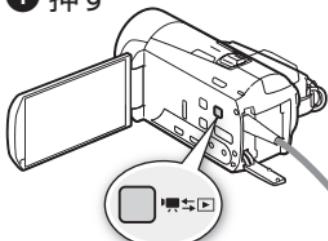
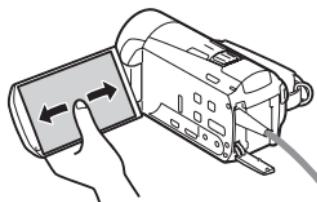
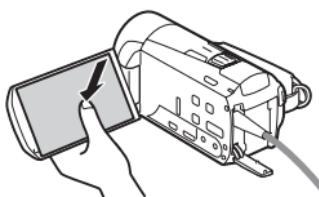
❶ 年の数字をタッチして、
[▲] [▼] で選ぶ。
- 月、日、時刻も同様に操作する。

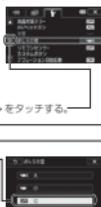
❷ [OK] をタッチする。

4 押す ▶ 撮影開始！

- もう一度押すと撮影終了

映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作できます。

❶ 押す

❷ 見たいシーンを選ぶ
- タッチしたまま左右に動かす。

❸ 再生したいシーンをタッチ
▶ 再生開始！

- 再生を終えるときは液晶画面をタッチ→[■]をタッチする。

この本の読みかた

探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

本文中の表記

(□10)	参照ページを示す。
参考 ▶	参考になるページなどを示す。
画面	液晶画面の画面 のこと。
カード	SD ／ SDHC ／ SDXCメモリーカードのこと。
メモリー	「内蔵メモリー」または 「カード」のこと。
VideoBrowser	付属のPIXELA社製ソフトウェア 「VideoBrowser」 のこと。
ImageBrowser EX	付属のMP4動画 / 静止画用ソフトウェア 「ImageBrowser EX」のこと。

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ
動画の撮影や再生で使える機能。

写 真
静止画の撮影や再生で使える機能。

撮影/再生時に選ぶボタンや記録形式の対応を示すマーク

撮る 見る
撮る/見るボタンを押すたびに、撮影と再生が切り換わる。この場合は撮影にする。

記録形式 AVCHD MP4
各機能のAVCHD / MP4対応を示すマーク。この場合はAVCHDのみ対応。

カメラモード AUTO M
撮影時に選択するモード。この場合は**M**(マニュアル)に設定。ほかにAUTO(オート)と(シネマ)がある。

コラムのマーク

守ってほしいこと。

知っておいてほしいこと。

知っていると便利なこと。

使う前に知っておいてください

必ず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

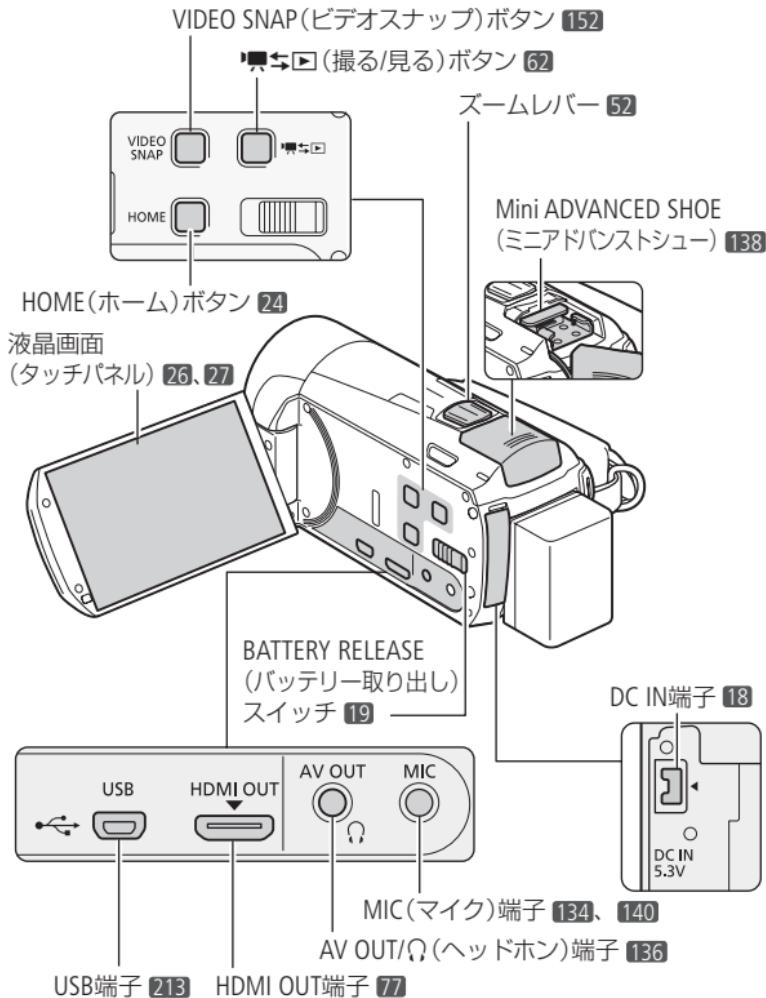
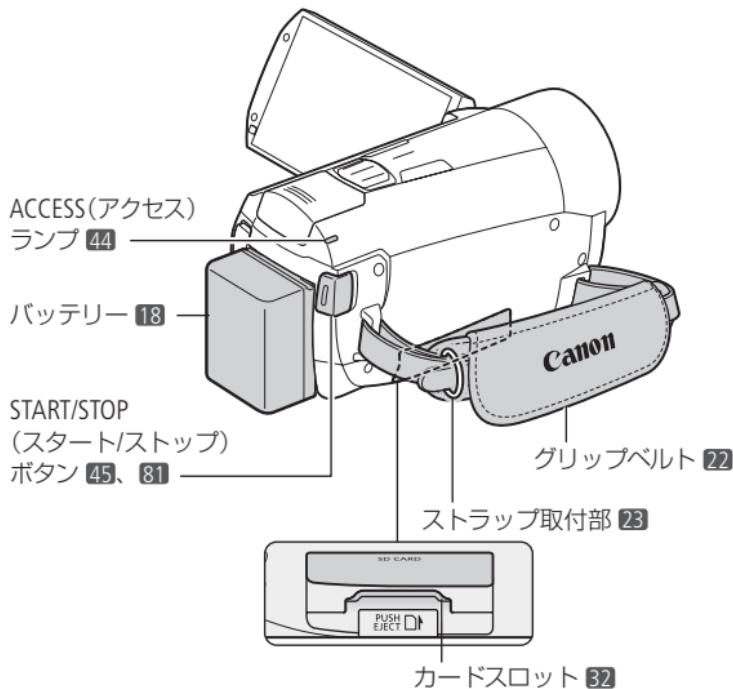
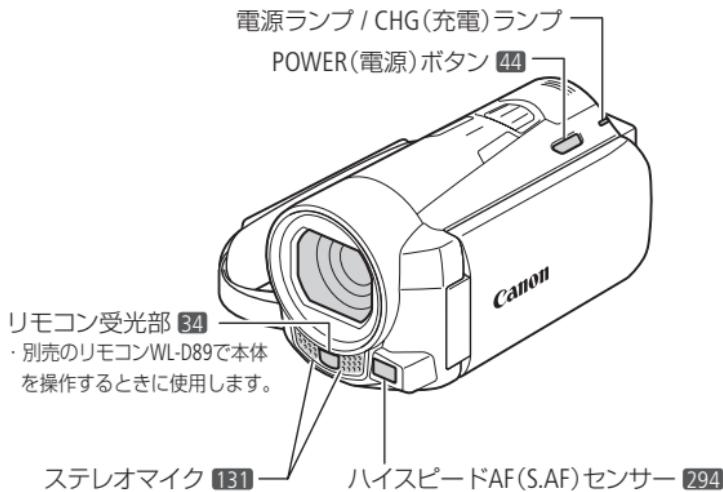
著作権に注意しましょう

本機で録画・録音したビデオや作成した音楽付き著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。■内の数字は参照ページです。

ACCESS（アクセス）
ランプ 44
バッテリー 18
START/STOP
（スタート/ストップ）
ボタン 45、81
Canon
グリップベルト 22
ストラップ取付部 23
SD CARD
PUSH
EJECT
カードスロット 32

電源ランプ / CHG（充電）ランプ
POWER（電源）ボタン 44
リモコン受光部 34
・別売のリモコンWL-D89で本体を操作するときに使用します。
ステレオマイク 131
ハイスピードAF（S.AF）センサー 294
Canon

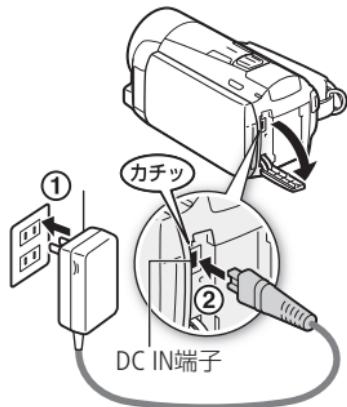
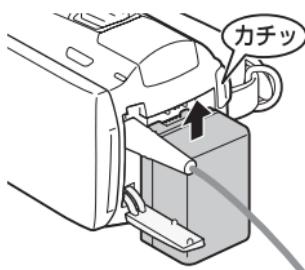
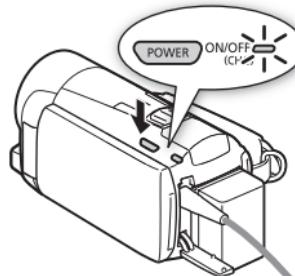
三脚ねじ穴 271
シリアル番号（機番）
S/N 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
Canon

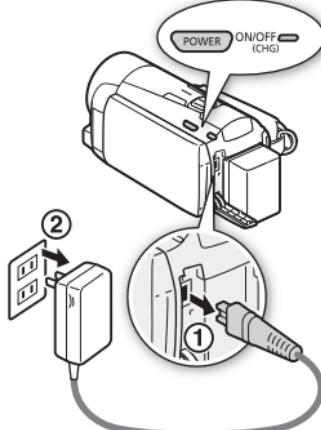
Chapter

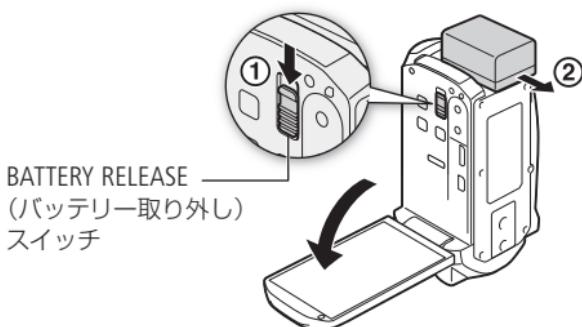
1 準備する

バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

1 コンセントにつなぐ

2 バッテリーを取り付ける

3 電源OFFで充電開始

赤く点灯
点滅しているときは、「故障かな?」の「表示やランプ」(□245)をご覧ください。

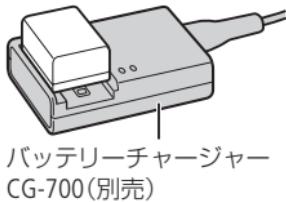
4 点灯→消灯で充電おわり

バッテリーを取り外すとき

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して取り外す。

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損するおそれがあります。

- 10 ℃～30 ℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0 ℃～ 40 ℃（使用温度）の範囲外のときは、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG（充電）ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は317～319ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリーパックBP-718の充電時間は約5時間10分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。

- 別売のバッテリーチャージャー CG-700を使うと約3時間40分で充電できます。
  詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、272ページをご覧ください。

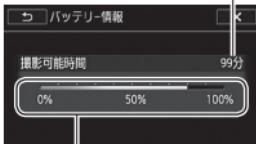
バッテリーチャージャー
CG-700（別売）

バッテリーを充電する

POINT バッテリーの残量を確認するには

セットアップメニューの「バッテリー情報」で、バッテリーの残量と撮影／再生可能時間を表示させることができます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

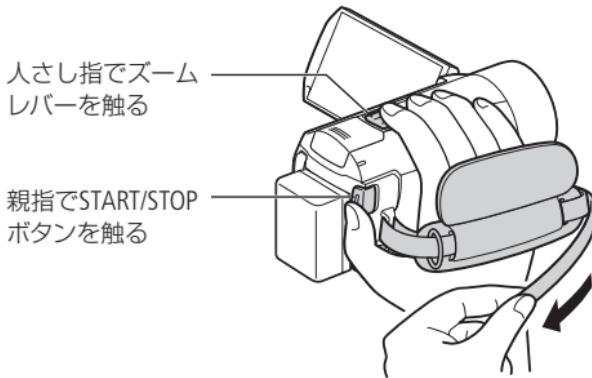
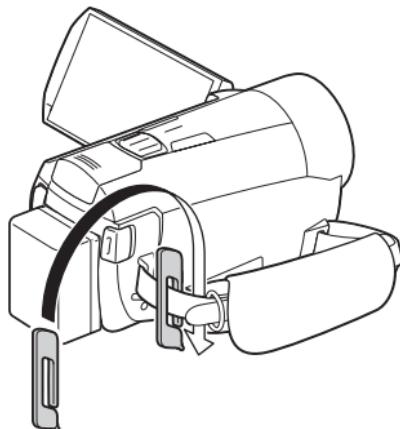
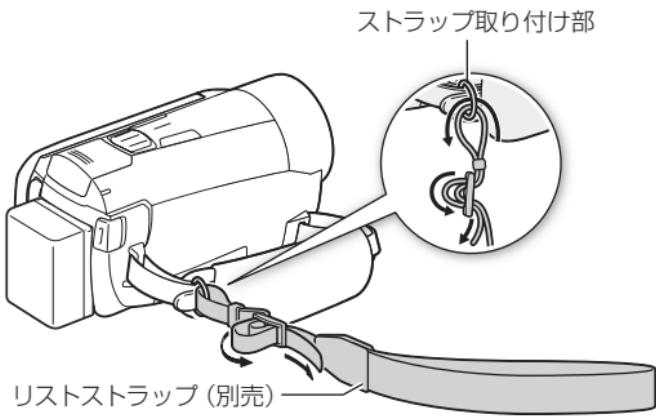
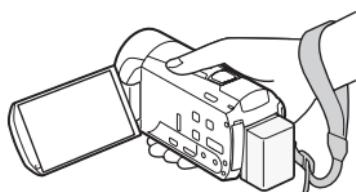
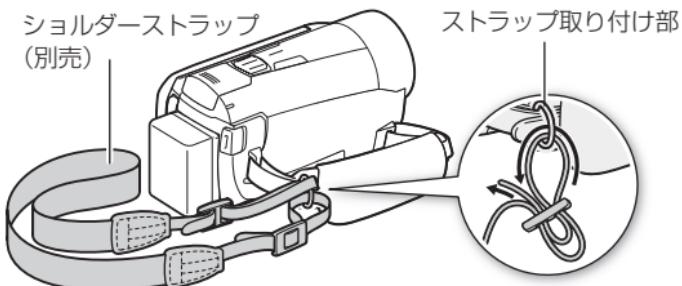
例：撮影可能時間の画面

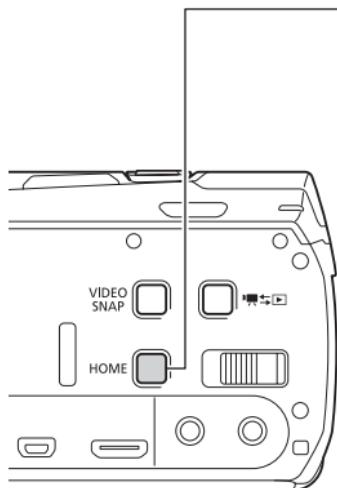
撮影可能時間

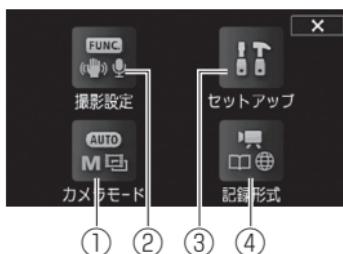
バッテリー情報
撮影可能時間 99分
0% 50% 100%

バッテリー残量の目安

付属品を準備する

グリップベルトやストラップの調整をしましょう。

■ グリップベルトを調整する

■ スタイラスペンを取り付ける

■ リストストラップ（別売）を取り付ける

■ ショルダーストラップ（別売）を取り付ける

HOMEボタンを使う ビデオ 写真

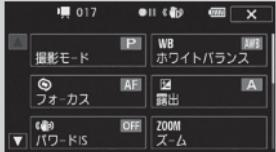
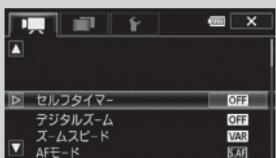
本機は、HOME（ホーム）ボタンで簡単にビデオカメラの設定やモードを切り換えることができます。HOMEボタン操作の詳細は、「準備する」、「簡単に撮る」、「ビデオ」の各章でご確認ください。

HOMEボタン

HOME（ホーム）ボタンでは、HOME画面から、カメラモードや記録形式、設定する機能をそれぞれに選ぶことができ、組み合わせて、お好みの撮影スタイルで撮ることができます。

①カメラモード

簡単に撮るなら「オート」、本格的に撮るなら「マニュアル」、印象的に撮るなら「シネマ」、いずれかの撮影モードを選ぶことができます(📖80)。

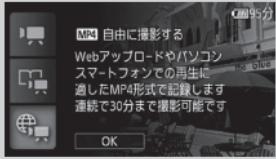
カメラモード画面

②撮影設定(FUNC.)メニュー
③セットアップメニュー

「撮影設定(FUNC.)」では撮影するときに使う機能、「セットアップ」では記録、再生するときに使う機能の設定ができます(285, 291)。

撮影設定(FUNC.)メニュー画面

セットアップメニュー画面

④記録形式

記録形式画面(MP4)

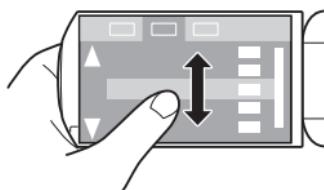
テレビで観るならAVCHD(エーブイシーエイチディー)、iPhoneのようなスマートフォンやWebで観るならMP4(エムピーフォー)、いずれかの記録形式を選ぶことができます(36)。さらにAVCHDでは、シナリオモードでテーマを選んでストーリー仕立てで撮ることもできます(143)。

タッチパネルで操作する

液晶画面(タッチパネル)を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。なお、付属のスタイラスペンで操作することもできます。

タッチ

液晶画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

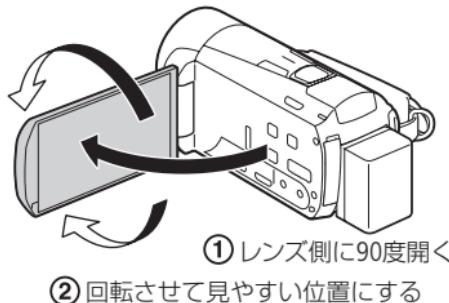
- シーン(動画)の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ

液晶画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

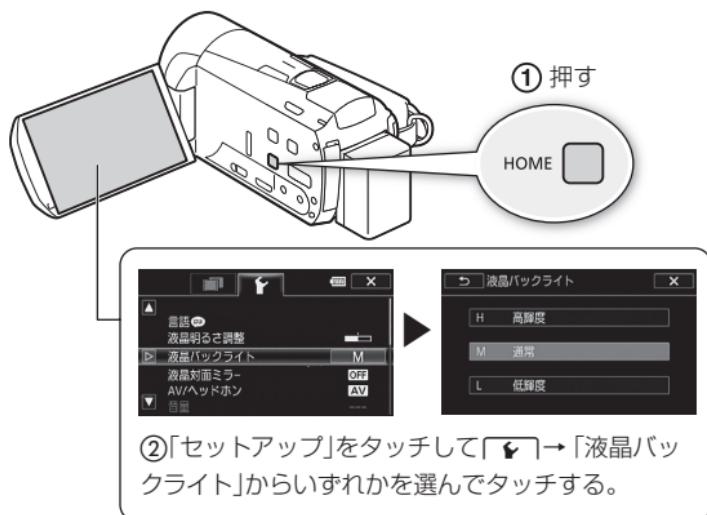
- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

- **タッチパネルは圧力を感知するタイプです。確実にタッチしてください。**
- 次の場合は正常に動作しないことがあります。
  - 爪先やボールペンなどスタイラスペン(付属)以外のとがったもので操作をしたとき。
  - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
  - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
  - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

液晶画面を調整する

位置を調節する

画面の明るさを調節する

画面の明るさを3段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

準備

- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 画面の明るさはセットアップメニューの「液晶明るさ調整」でさらに細かく調整できます。
- コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を接続したときは、「液晶バックライト」の設定は、自動的に「**H** 高輝度」に切り換わります。
- 液晶画面の取り扱いについては271ページを、お手入れについては278ページをご覧ください。

時計を合わせる ビデオ 写真

時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所セットできます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます（□281）。

 撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

1 押す

- HOME画面が出る。

2 「日付/時刻」を選ぶ

「セットアップ」→ をタッチする。

- 上下にドラッグして「日付/時刻」をタッチする。

▼▲

3 日時を設定する

❶ 項目（年月日時分）をタッチし、▼ / ▲をタッチして設定する。

- この操作を繰り返して日時を設定する。

❷ 必要に応じて、日時スタイルを設定する。

- 使用したいスタイルをタッチして選ぶ。

❸ OK をタッチする。

- 地域とサマータイムはセットアップメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます（□306）。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（□275）。

カードを入れる

動画や静止画をメモリーカードに記録できます（下表）。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、 SDHCメモリーカード、 SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*[1]	CLASS 2、CLASS 4、CLASS 6、CLASS 10
容量	128 MB以上*[2]

*[1] SDスピードクラスに対応していないSDメモリーカードを使う場合、カードによっては動画を記録できないことがあります。

*[2] 容量が64 MB以下のSDメモリーカードには、動画を記録できません。

動画記録時の動作確認済みメモリーカード

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2011年12月現在）。動作確認済カードの最新情報については、キヤノンのウェブサイトでご確認ください。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

POINT SDスピードクラス

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのマークを確認してください。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。パソコンの場合、対応OSは下表のとおりです（2011年12月現在）*。

Windows 7	○	
Windows Vista	○	（Service Pack 1以降が必要）
Windows XP	○	（Service Pack 3と更新プログラム [KB955704]が必要）
Mac OS X	○	（バージョン10.6.5以降）

* 最新の状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画を保存してから、本機でカードを初期化してください。

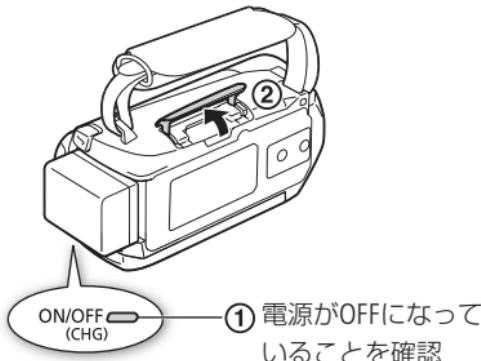
Eye-Fiカードをお使いになるときは

弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

準備

カードを入れる

はじめて使用するときは、まず初期化してください（□40）。

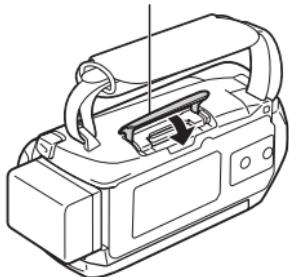
1 カバーを開ける

2 カードをまっすぐ入れる

ラベル面を上に向け、
まっすぐ入れる。

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

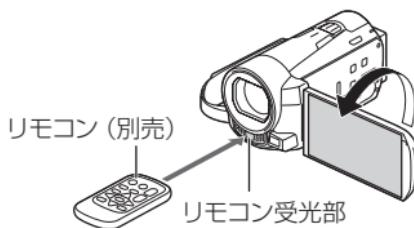
3 カバーを閉じる

カードが正しく入っていない
状態で無理に閉めない。

● カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作1のような正しい向きで入れてください。

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

リモコンを使う ビデオ 写真

別売のリモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D89を使用すると、リモコンで本機を操作できます。画面を見ながらの撮影や、本機を三脚などで固定して撮影するときに便利です。あらかじめセットアップメニューの「リモコンセンサー」を「入」にして使用します。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

1 押す

- HOME画面が出る。

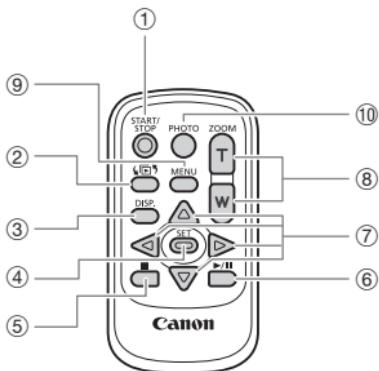
2 リモコンセンサーを選ぶ

❶「セットアップ」→ [ ] をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「リモコンセンサー」をタッチする。

❸ ON（入）をタッチする。

❹ ✕をタッチする。

3 リモコンをリモコン受光部に向けて操作する

①	START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(🕮 45、81)	撮影一時停止中に押すと撮影を開始し、撮影中に押すと撮影一時停止になる。
②	(再生インデックス)ボタン(🕮 62、64)	● 撮影と再生を切り換える ● 表示するメモリーと内容を切り換える
③	DISP.(ディスプレイ)ボタン(🕮 75)	再生中、画面の表示を切り換える。
④	SETボタン	選択した項目を決定する。
⑤	■(停止)ボタン(🕮 60)	再生を停止する。
⑥	▶(再生)/❚❚(一時停止)ボタン(🕮 60)	再生の開始や一時停止。
⑦	▲/▼/◀/▶ボタン	項目やボタンの移動。
⑧	ZOOM(ズーム)ボタン(🕮 52)	**T**を押すとズームイン(望遠)になり、**W**を押すとズームアウト(広角)になる。
⑨	MENU(メニュー)ボタン(🕮 24)	ビデオカメラのHOMEボタンと同じ。
⑩	PHOTO(フォト)ボタン(🕮 46、81)	静止画を記録できる。

リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

記録形式を選ぶ

AVCHD / MP4

本機は、記録形式が異なるAVCHDとMP4の動画を撮ることができます。AVCHDはハイビジョンで記録できるため、大画面でも美しい映像を鑑賞できます。MP4動画は、変換をしなくてもiPhoneのようなスマートフォンでの再生、YouTubeやFacebookへのアップロードやWeb公開を簡単に行うことができます。シナリオモードについては、143ページをご覧ください。

HOME

1 押す

- HOME画面が出る。

2 記録形式を選ぶ

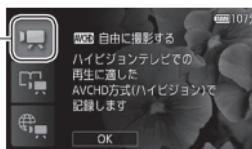
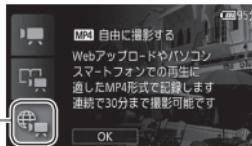
❶「記録形式」をタッチする。

❷ (AVCHD)または (MP4)をタッチする。

例：AVCHDの場合

例：MP4の場合

準備

OK

3 タッチする

- 録画モードは、セットアップメニューから変更することができます（□86）。
- お使いのスマートフォンや機器によっては、MP4動画を再生できない場合があります。

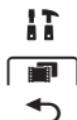
記録メモリーを準備する ビデオ 写真

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

記録メモリー（内蔵メモリー／カード）を選ぶ

HOME

1 押す

- HOME画面が出る。

2 動画または静止画の記録先を選ぶ

❶「セットアップ」→［ ］をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「動画記録先」または「静止画記録先」をタッチする。

❸「（内蔵メモリー）」または「（カード）」をタッチ→ をタッチする。

例：AVCHDの場合

動画撮影可能時間/静止画記録可能枚数の目安*

* 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズ（1920×1080）をもとに算出。

- Eye-Fiカードを使う場合は、事前に「Eye-Fiカードをお使いになるときは」（31）を確認してください。

×

3 タッチする

■ 長時間連続して撮影する（リレー記録）

動画の場合、内蔵メモリーがいっぱいになったらカードに自動的に記録メモリーが変更され、記録できます。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

1 動画を記録していないカードを入れる（□32）

2 リレー記録を選ぶ

❶ 38ページの操作2の❷までを行う。

❷「（内蔵メモリー）」→「リレー記録」をタッチする。

❸「→（内蔵メモリー→カード）」をタッチする。

3 タッチする

● 記録メモリーが切り換わるときに、シーンが一瞬途切れます。
● シナリオモード（□143）のときは、設定できません。

リレー記録が解除される場合

- 電源を切ったとき。
- カードカバーを開けたとき。
- 「撮影設定」や「カメラモード」、ボタンを操作したとき。
- 記録先をカードに変更したとき。

■ 初期化する

カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー *やカードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

* ご購入時、すぐに撮影できるように内蔵メモリーは初期化されています。また、動画または静止画と一緒に再生する音楽とデコレーションの画像ミックスで使う画像が入っています。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

1 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

HOME

2 押す

- HOME画面が出る。

3 初期化するメモリーを選ぶ

❶「セットアップ」→ → 「初期化 / 」をタッチする。

❷「 内蔵メモリー」、または「 カード」をタッチする。

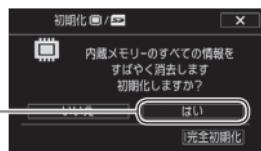
4 初期化を選ぶ

例：内蔵メモリーの場合

❶「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき

「完全初期化」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。メモリーはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

❸ OK をタッチする。

5 × タッチする

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやBD（ブルーレイディスク）、DVDなどにバックアップ（□212、220）してから初期化してください。
- 初期化すると、動画または静止画と一緒に再生するためにパソコンから転送した音楽も消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽とデコレーションの画像ミックスで使う画像は消去されません。
- Eye-Fiカードを使用する場合は、あらかじめカードに付属のソフトウェアをパソコンにインストールしてから初期化してください。初期化すると、カードに保存されているソフトウェアも消去されます。

Chapter 2

簡単に撮る

Basic Recording of Movies or Photos

簡単にビデオや写真を撮る

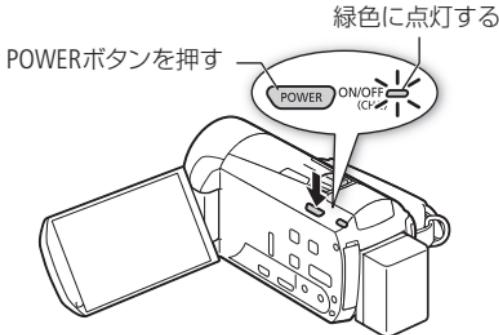
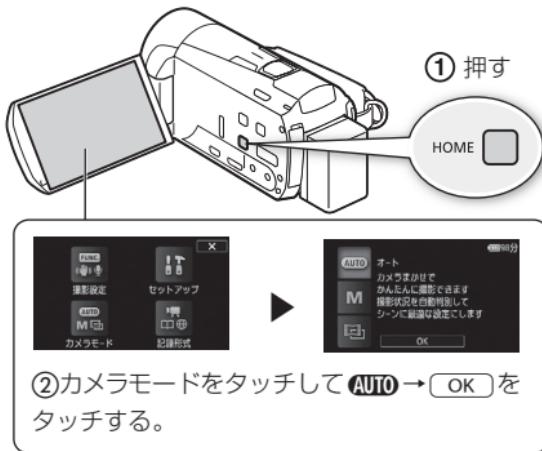
AUTO（オート）モード

ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画や静止画を撮影することができます。撮影した動画や静止画は内蔵メモリーやカードに記録されます。

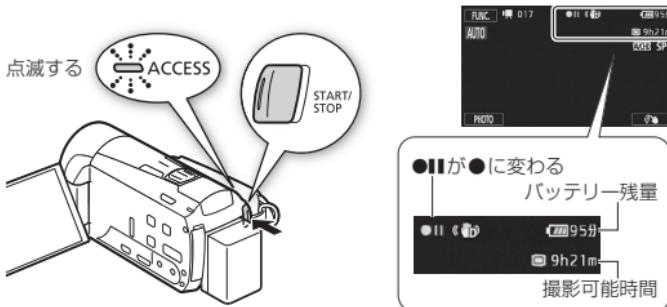
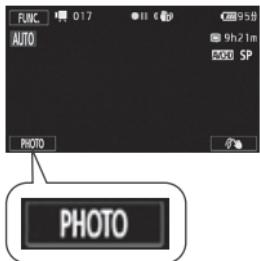
撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

1 ONにする

2 AUTO（オート）モードを選ぶ

②カメラモードをタッチして AUTO → OK をタッチする。

- HOMEボタンを操作するとき(□24 ～ 25)。
- カードに記録するとき（□38)。
- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「Eye-Fiカードをお使いになるときは」(□31)を確認してください。

3 動画を撮るとき

START/STOPボタンを押す ▶ 撮影開始！

静止画を撮るとき PHOTOボタンをタッチする

- 画面下部に緑色の ⊙ が出て、静止画が記録される。記録先は、セットアップメニューの「静止画記録先」で選んだメモリーとなる。
- 動画撮影中でも、同時に静止画を記録できる。このとき、画面右上に白色の ▷ が出る。緑色の ⊙ は表示されない。
- 別売のリモコンWL-D89（□35）の場合、リモコンのSTART/STOPボタンまたはPHOTOボタンを押す。

4

動画の撮影を終えるとき

もう一度、START/STOPボタンを押す

- 1シーン*の動画が記録され、撮影が一時停止する。

  * 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「シーン」と呼びます。
- 撮影直後のシーンにレーティング（お気に入り度）を設定できる（□167）。

電源を切るとき

1. ACCESSランプが消えていることを確認する。
2. POWERボタンを押す。
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる。

POINT AUTO（オート）モードとは

設定はビデオカメラにすべておまかせ。気軽に動画や静止画を撮影できます。このモードでは、ズーム（□52）、クイックスタート（□55）、ビデオスナップ（□152）の他、以下の機能が使えます。

おまかせでキレイに撮れる「こだわりオート」
ビデオカメラが被写体や撮影状況を判別して、シーンに最適な設定にするため、カメラまかせの全自動撮影ができます。

マルチシーンIS（□49）
通常の撮影ではダイナミック、遠くはパワードIS、近寄るときはマクロIS、三脚を使うときは三脚モード、というようにビデオカメラが、撮影状況に合わせて最適な手ブレ補正を設定します。カメラまかせでより安心に安定した映像が残せます。

フェイスキャッチ＆追尾（□99）
人物の顔を自動で検出してピントと明るさを合わせます。被写体が動いても、自動的に追いかけます。

タッチ追尾（□102）
液晶画面上の被写体をタッチすると、タッチした被写体にピントと明るさを合わせます。被写体が動いても自動的に追いかけます。

シナリオモード（□143）
選んだテーマに応じてビデオカメラがガイドする撮影シナリオに沿って撮るだけ。本格的なストーリー仕立ての作品を簡単に作れます。

デコレーション（□153）
液晶画面上にデコレーション（飾り付け）して撮影すると、デコレーションを重ねた映像を記録できます。AVCHD動画の場合、再生時やSD動画（標準画質／ MPEG2形式）への変換時にデコレーションすることもできます。

POINT 「こだわりオート」の自動設定機能とは

ビデオカメラがシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

背景 / 被写体	明るい（灰色）	青空（水色）	鮮やかな色（緑/黄/赤色）	夕景（オレンジ色）
静止した人物				—
動いている人物				—
風景など、人物以外の被写体	AUTO ( )	AUTO ( )	AUTO ( )	
近くの被写体	/ (/)	/ (/)	/ (/)	—

(　　)は逆光下の場合。

背景 / 被写体	暗い（紺色）		
		スポットライト	夜景
静止した人物		—	—
動いている人物		—	—
風景など、人物以外の被写体	AUTO		
近くの被写体	/	—	—

POINT マルチシーンISのマークについて

AUTO（オート）モードのときは、撮影状況によって自動的に設定された手ブレ補正に合わせて、マークの表示が変わります。**M**（マニュアル）モードの手ブレ補正については「手ブレをおさえて撮る」（□95）をご覧ください。

表示されるマーク	撮影状況
（ダイナミック）	ズームの広角側で撮影しているとき ズームの望遠側で、カメラを左右に動かして被写体を追いかけて撮影しているとき
（パワードIS）*	ズームの望遠側で、静止して撮影しているとき
（マクロIS）	近くの被写体を撮影しているとき
（三脚モード）	三脚装着時など、静止して撮影しているとき

* （パワードIS）は、FUNC.または「撮影設定」のメニューでON/OFFできます。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ボタンを押さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（📖212）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- Eye-Fiカードを記録先に設定した場合、見るモードに切り換えると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（📖235）。

- バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（□306）。このときは電源を入れ直してください。
- 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください（□304）。

「こだわりオート」のシーン判別について

シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが表示されることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**M**（マニュアル）モードで撮影することをおすすめします。

静止画について

AUTO（オート）モードまたは**M**（マニュアル）モードの場合、動画を撮影中または撮影一時停止中に静止画を記録できます。静止画のサイズは1920×1080*です。

* 1 GBのメモリーカードに約670枚記録できます。撮影条件や被写体により記録できる枚数は異なります。

拡大して撮る ビデオ 写真

ズーム

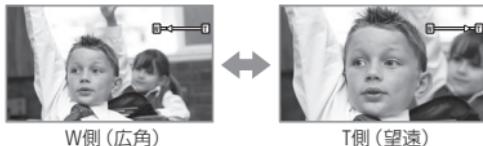
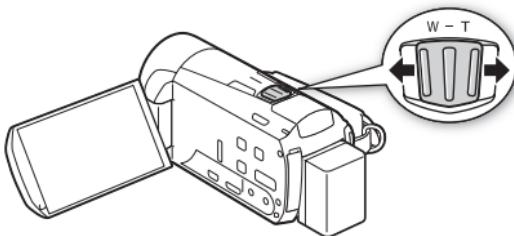
ズームは、ズームレバー、または画面上のズームボタンで操作します。光学ズームで10倍まで拡大でき、デジタルズーム*を使うと200倍まで拡大できます（□286）。リモコンWL-D89（別売）で操作することもできます（□35）。

* デジタルズームは AUTO（オート）モードと 🎞（シネマ）モードでは使えません。

🎥⇆▶ **撮る** 見る | **記録形式** AVCHD MP4 | **カメラモード** AUTO M 🎞

■ ズームレバーで操作する

遠くを拡大して撮るときは**T**側に、周囲を広く撮るときは**W**側にズームレバーを押します。

W側（広角）　T側（望遠）

■ 液晶画面のズームボタンで操作する

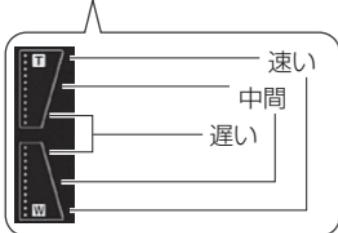
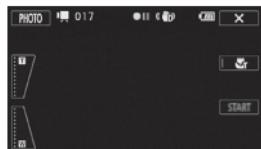
FUNC.

1 タッチする

2 ズームを選ぶ

❶「ZOOM」(ズーム)をタッチする。

- ズーム画面が出る。

❷ 液晶画面上のズームボタン「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。

- ズームのスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。

×

3 タッチする

被写体との距離について

- ズーム撮影をするときは被写体から1 m以上離れてください。
- ズームレバーを**W**側に押して最も広角にすると、約1 cmまで近づいて撮影できます。
- テレマクロ（□116）撮影中は、約40 cmまで近づいて撮影できます（望遠端時）。

ズームスピードについて

- ご購入時の設定では、ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。
- セットアップメニュー「ズームスピード」（□291）で、「スピード3」（速い）～「スピード1」（遅い）の固定速を選ぶこともできます。
- 別売のリモコンWL-D89（□35）のズームボタンで操作すると固定速になります。ズームスピードを「可変速」に設定しているときは、「スピード3」（速い）になります。

- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ）。また撮影一時停止中にプレREC（□97）を「ON」にしていると遅くなります。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V4に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（□315）をご覧ください。

すばやく撮影をはじめる

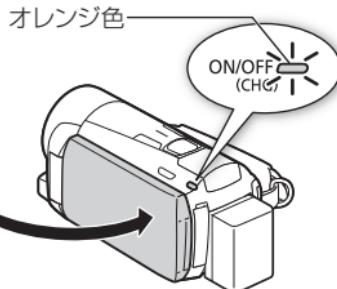
クイックスタート

液晶画面を閉じると、省エネ状態*[1]でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*[2]で撮影可能な状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

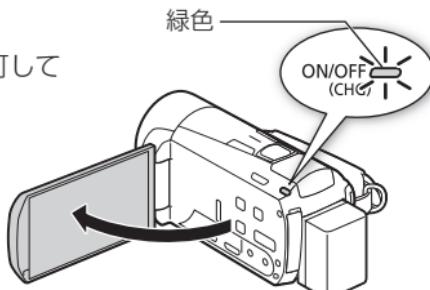
*[1] バッテリーの消耗は撮影時の約1/3です。
*[2] 撮影可能な状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

1. スタンバイする

液晶画面を閉じる→
電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。

2. クイックスタートする

液晶画面を開く→
電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

緑色
ON/OFF
(CHG)

● **スタンバイ中は電源を取り外さないでください。**

スタンバイ状態にならない場合

- ACCESSランプ点滅中。
- 撮影設定メニュー表示中。

バッテリー残量が少ないときは、スタンバイ状態にならないことがあります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。

スタンバイ中の電源OFFについて

- スタンバイ後10分経過すると、節電のため自動的に電源が切れます。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- 電源OFFまでの時間は、「パワーセーブ」メニューの「クイックスタートスタンバイ」で選べます（□306）。
- スタンバイ中、通常の「オートパワーオフ」（□306）は無効になります。

● セットアップメニューの「パワーセーブ」で「クイックスタートスタンバイ」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。

Chapter 3

ビデオ

ビデオを見る

ビデオ
写真

撮った動画を日付ごとに見ることができます。ここではAVCHD動画を見るときを例に説明します。なお、画面に日付・時刻などを表示するときは、セットアップメニューの「データコード表示」を「入」にします。また、表示内容を変更することもできます（□297）。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

ビデオ

3 インデックス画面で見たいシーンを探す

表示中のメモリー（内蔵メモリー / カード）

撮影された日付*

メモリーと表示内容を切り換える（63 64）

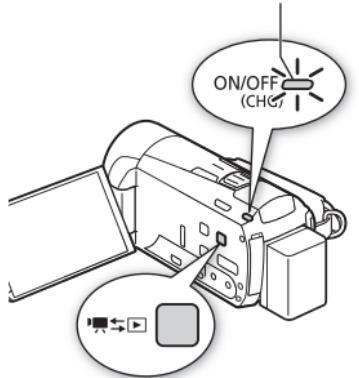
日付ごとの区切り

左にドラッグで次の画面へ

右にドラッグで前の画面へ

タッチして左右に画面を切り換える

3Dビュー*（63）

タイムライン*（73）

* MP4動画のときは表示されません。

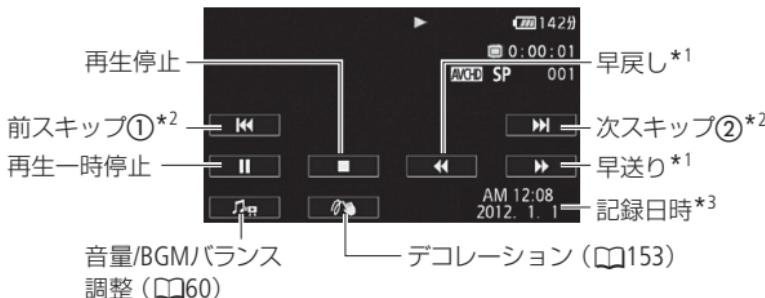
画面下部

- 左右にドラッグした後、数秒間出る。つまみをドラッグしてスクロールする。

4 シーンをタッチする ▶ 再生開始！

- AVCHD動画は、タッチしたシーンの再生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。*[1]
- 液晶画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

*[1] MP4動画は、1シーンのみ再生される。

再生中の操作

① 現在のシーンの先頭から再生する。連続して2回タッチすると、前のシーンの先頭から再生する。

② 次のシーンの先頭から再生する。

*[1] 操作するたびに再生速度が切り換わる。AVCHD動画では5倍→15倍→60倍、MP4動画では5倍→15倍。早送り/早戻し中、音声は出ない。

*[2] MP4動画のときは表示されません。

*[3] MP4動画のときは記録が開始された日付が表示されます。

音量／ BGMバランス（□173）を調整する

1. 再生中に画面をタッチ→ ♫ をタッチする。

- BGMバランス*[1]とスピーカー音量*[2]の調整バーが出る。

2. 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する→ (↩) をタッチする。

*[1] MP4動画はスピーカー音量（ヘッドホン音量）のみ調整可能。

*[2] セットアップメニューの「AV/ヘッドホン」が「🎧（ヘッドホン）」のときは、「ヘッドホン音量」になる。

ビデオ

再生一時停止中の操作

編集（□288）

あとからフォト（□185）　デコレーション（□153）

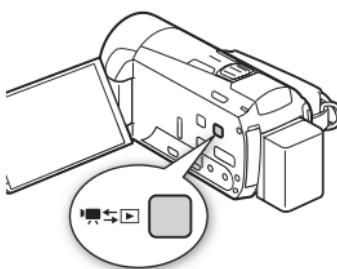
* 操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。スロー再生/逆スロー再生中、音声は出ない。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ボタンを押さない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 早送り／早戻し中やスロー再生／逆スロー再生中は、画面が乱れることがあります。
- 画面に表示される倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのように再生されます。

POINT 撮影と再生を切り換える🎥⇆▶（撮る／見る）ボタン

🎥⇆▶（撮る／見る）ボタンを押すと、撮影（撮るモード）と再生（見るモード）を切り換えられます。また、電源OFFのときに押すと、再生画面で起動します。

別売のリモコンWL-D89（□35）の場合、リモコンの（再生インデックス）ボタンを2秒以上押して、撮影と再生を切り換えられます。

インデックス画面の一覧表示数を変える

インデックス画面の一覧表示数を切り換えられます。ズームレバーを**W**側に押すと15表示、**T**側に押すと6表示となります。

記録形式 AVCHD MP4

例：AVCHDの場合

15表示　　6表示

3Dビューからシーンを選ぶ

AVCHD動画のインデックス画面ではをタッチすると3Dビュー表示に切り換わります。3Dビューでは、撮影日付が同じシーンを立体的に重ねて表示します。日付ごとに探すときに便利です。なお、MP4動画の再生では使用できません。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

タッチすると再生画面に切り換わって、再生が始まる。

選択中の年月日

左にドラッグで次の日付へ

右にドラッグで前の日付へ

インデックス画面へ

上下にドラッグで次／前のシーンへ

メモリーと表示内容を切り換える ビデオ 写真

再生インデックス

インデックス画面では、表示するメモリー（内蔵メモリー/カード）とそれぞれの表示内容を切り換えることができます。また、撮影した動画を作品ごとに並べて表示することもできます（ギャラリー画面）。

表示するメモリーと内容を切り換える

1 タッチする

2 メモリーと表示内容を選ぶ

❶「（内蔵メモリー）」または「（カード）」をタッチする。

❷ 表示する内容をタッチする。

ボタン	表示する内容
AVCHD 動画	AVCHD形式で記録された撮影日付ごとの動画。
AVCHD ギャラリー	AVCHD形式で記録された「作品」ごとの動画。
MP4 動画	MP4形式で記録された動画。
静止画	静止画。
SD動画*	標準画質に変換した動画（Webアップロード用）。

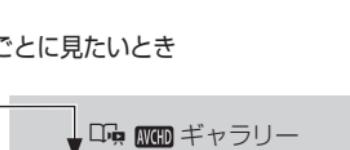
* ❶で「（カード）」を選んだときのみ表示される。

ビデオ

- 「SD動画」のシーンでは、再生と停止のみ行えます。早送り／早戻しやスロー再生などはできません。
- 「MP4 動画」のシーンでは、前スキップと次スキップの操作はできません。

POINT 「AVCHD 動画」と「AVCHD ギャラリー」の画面

AVCHD動画は、撮影日付ごとに一覧表示する「AVCHD 動画」（以下、「インデックス画面」と呼ぶ）または、作品*ごとに一覧表示する「AVCHD ギャラリー」画面から再生できます。インデックス画面から再生すると、同じ日に撮ったシーンを連続して見ることができ、ギャラリー画面から再生すると、同じ作品に保存されたシーンを連続して見ることができます。ギャラリー画面の操作については164ページをご覧ください。

* 本書では、行事やイベントごとにまとめたシーンの集まりを「作品」と呼びます。

作品ごとに見たいとき

日付ごとに見たいとき

「3Dビュー」（□63）

シナリオモード（□143）で、撮影したシーンは作品に保存されます。保存されたシーンは、作品内や作品間でコピー／移動することができます。

シーンを消す

ビデオ
写真

消去

不要なシーンを複数選んでまとめて消すことができます。ある日に撮ったシーンを特定して消したり、表示しているメモリー内のすべてのシーンを消したりすることもできます。また、ギャラリー画面から1つのシーンまたはレーティングで絞り込んだシーンを消すことや、作品内の全シーンを作品ごと消すこともできます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

■ ある日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて消す

1 消去するシーンを含むインデックス画面に切り替える（□64）

特定の日に撮った全シーンを消すとき

AVCHD動画の場合は、左右にドラッグして、消去するシーンの日付を画面上部に出す。

2 消去を選ぶ

編集

［編集］→「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

AVCHD動画のとき

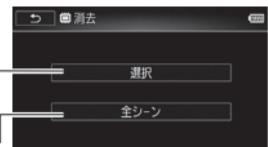
特定の日に撮った全シーンを消すとき

シーンを選んで消すとき

すべてのシーンを消すとき

MP4動画のとき

シーンを選んで消すとき

すべてのシーンを消すとき

実行

4 **シーンを選んで消すとき** シーンを選ぶ

❶ 消すシーンをタッチする。

- シーンが選択され、☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、消すシーンをすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

❸ 実行 をタッチする。

5 シーンを消す

❶「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

❷ [OK]をタッチする。

■ 再生一時停止中のシーンを消す

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

II

1 消去するシーンを再生一時停止にする

❶ シーンまたは作品をタッチする。

- 再生が始まる。

❷ 液晶画面上をタッチ→ II をタッチする。

- 一時停止する。

[編集]

2 消去する

❶ [編集]→「消去」→「はい」をタッチする。

❷ [OK]をタッチする。

例：AVCHDの場合

編集　II　141分　0:00:40　AVCHD SP　001　PHOTO　AM 12:08　2012. 1. 1

ビデオ

■ 作品内の1つのシーンを消す

ギャラリー画面（📖164）で、作品内の不要なシーンを消去できます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

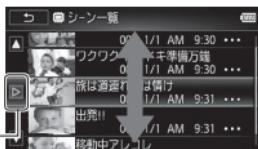
1 ギャラリー画面で消去するシーンを含む作品を選ぶ

❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「シーン一覧」をタッチする。

2 消去するシーンを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、消去するシーンを選ぶ。

❷ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

3 シーンを消去する

❶ 🗑（消去）→「はい」をタッチする。

❷ OK → ⮌ をタッチする。

■ 作品内のシーンを絞り込んで消す

ギャラリー画面（□164）にて、作品内のシーンをレーティング（□167）で絞り込んで消去できます。

1 ギャラリー画面で消去するシーンを含む作品を選ぶ

❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「作品詳細」をタッチする。

2 消去を選ぶ

「作品編集」→「消去」をタッチする。

3 レーティングで絞り込んでシーンを消す

❶ 消去するレーティングをタッチする（複数選択可能）。

- 作品内で使われていないレーティングは灰色で表示される。

❷「決定」→「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。

❸ OK → ⮌ をタッチする。

作品と作品内のシーンをまとめて消す

ギャラリー画面(□164)で、作品と作品内のシーンをまとめて消去できます。「未分類」または「ビデオスナップ」の作品を消すことはできません。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 ギャラリー画面で消去する作品を選ぶ

❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「作品詳細」をタッチする。

2 作品を消す

❶「作品編集」→「作品消去」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

- 作品と作品内のすべてのシーンが消去される。

中止するとき

「中止」をタッチする。

❸ [OK]をタッチする。

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 作品を消去すると、作品に含まれるシーンもすべて消去されます。
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください（212）。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードを切り換えない。
  - ボタンを押さない。

- メモリーに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、初期化します（40）。

お好みのコマから再生する

ビデオ
写真

タイムライン

1シーンの中からお好みのコマを選んで、選んだコマから再生できます。コマの一覧には、一定の時間ごとのコマが表示され、コマの間隔は変更できます。なお、MP4動画ではコマを表示することはできません。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 AVCHD動画のインデックス画面に切り換える（□64）

2 シーンを選ぶ

❶「i」をタッチする。

❷ シーンをタッチする。

3 コマを選ぶ

他のシーンを見るとき

◀または▶をタッチする。

次／前の5つのコマを表示するとき

左右にドラッグする。

コマの間隔を変えるとき

❶「6秒」をタッチする。

❷ いずれかをタッチ→⮌をタッチする。

インデックス画面に戻るとき

⮌を2回タッチする。

4 コマをタッチする

- 再生が始まる。

画面の表示を切り換える ビデオ 写真

再生中に画面に表示する撮影情報（データコード）を切り換えることができます。MP4動画では、日付情報のみ表示することができます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

HOME

1 押す

- HOME画面が出る。

2 表示内容を選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。
❷ 上下にドラッグして、「データコード表示」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。

×

3 タッチする

MEMO
- 再生中に液晶画面をタッチすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが表示されます。

POINT データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはセットアップメニューの「データコード表示」で切り換えられます（📖297）。

テレビで見る ビデオ 写真

テレビで再生すると、より大きな画面で鑑賞できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。

1 テレビの端子をチェックし、接続方法を決める

2 本機とテレビの電源を切る

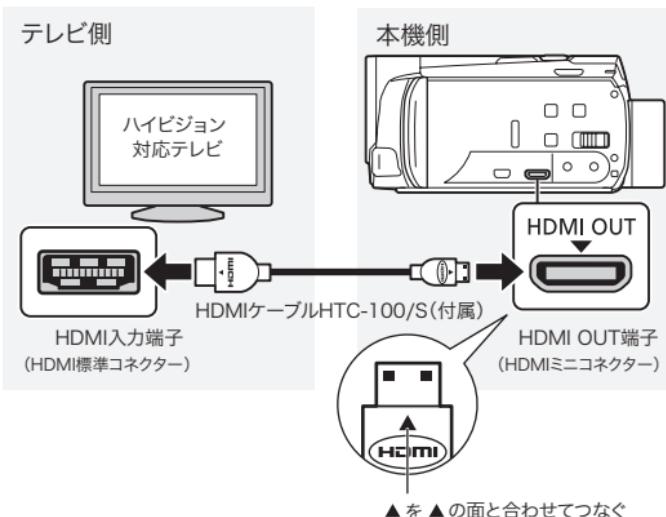
3 ケーブルを使ってテレビと接続する

4 本機とテレビの電源を入れる

- テレビ側で入力端子を切り換える

5 再生する

動画を見るとき（□58）／静止画を見るとき（□192）

ハイビジョン画質で見る
HDMI端子に接続する

(HDMI OUT端子)に接続するときの注意

- この端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- この端子で接続していると、AV OUT端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、Ⓑの方法で接続してください。

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI OUT端子では、接続するテレビの解像度に応じて映像を出力します。HDMI対応の機能については、セットアップメニューの「x.v.Color」、「HDMI機器制御」、「HDMI出力状態」をご覧ください（□307）。

標準画質で見る

映像／音声端子に接続する

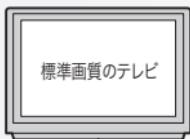
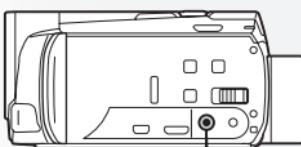
つなぐ

テレビ側

本機側

標準画質のテレビ

映像音声入力端子

R
音声
L
映像

（赤）
（白）
（黄）

ステレオビデオケーブル
STV-250N（別売）

AV OUT端子

AV OUT /

設定する

1　ワイド（16:9）モードのない標準画質のテレビ（4:3）につなぐときは、セットアップメニューの「テレビタイプ」（□297）を「4:3テレビ」に設定する。

2　セットアップメニューの「AV/ヘッドホン」（□302）を「AV」に設定する。

- メニューの「x.v.Color」を「入」にして撮影した動画を、**x.v.Color**対応のテレビで見るときは、テレビ側の設定が必要になることがあります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- HDMI OUT端子やAV OUT端子にケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 接続方法Ⓑでつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。
- お使いのカードに対応したカードスロットのあるAVCHD規格対応*[1]のテレビやレコーダーで、映像を記録したカードを再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

  *[1] AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。

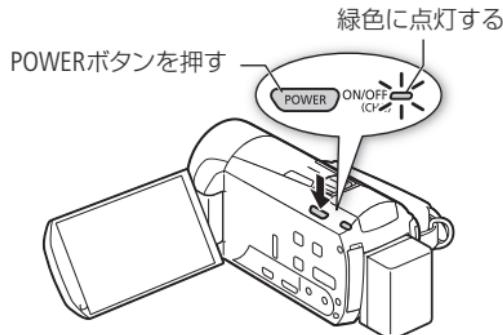
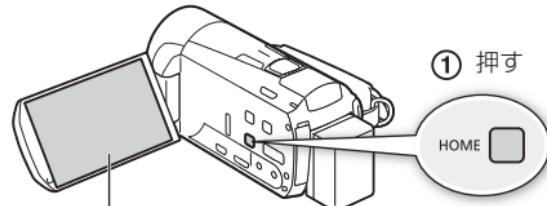
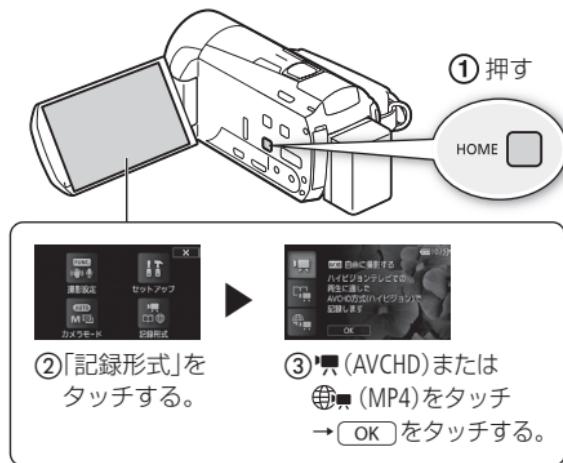
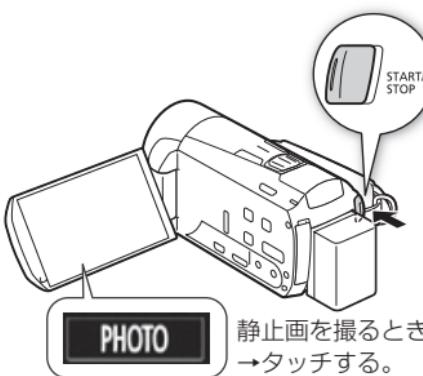
自分で設定して撮影する ビデオ 写真

M（マニュアル）モード

ピント（フォーカス）や露出など、調整したい機能を自分で設定して撮影することができます。また、撮影する動画や静止画をカードに記録することもできます（□38）。

1 ONにする

2 カメラモードを選ぶ

ビデオ

3 記録形式を選ぶ

4 START/STOPボタンを押す

・別売のリモコンWL-D89(35)の場合、リモコンのSTART/STOPボタンまたはPHOTOボタンを押す。

POINT 本格的な撮影に「マニュアルモード」

マニュアルモードでは、撮影シーンに合わせて露出・ピント（フォーカス）などを調整したり、撮影設定メニューからさまざまな設定を変更したりできます。ビデオカメラの機能を使いこなして、本格的な撮影をお楽しみいただけます。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - 「記録形式」や「カメラモード」を切り換えない。
  - 🎥⇆▶ボタンを押さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（📖212）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- Eye-Fiカードを記録先に設定した場合、静止画を記録して見るモードに切り換えると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（📖235）。

MEMO 液晶画面を閉じて撮影する

ピアノの発表会を撮影するときなど、三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、撮影を始めてから液晶画面を閉じて撮影するとバッテリーの持ちが良くなります（📖317 ～ 319）。

- デジタルズームを使用しているときやフェーダーの動作中は静止画を記録できません。

■ いま撮ったシーンを確認する（録画チェック）

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。このとき、音声は再生されません。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

FUNC.

1 タッチする

2 録画チェックを選ぶ

上下にドラッグして、（録画チェック）をタッチする。

- 直前に撮ったシーンの最後の4秒間が再生される。

MP4動画の場合は、直前の撮影操作で撮ったシーンしか録画チェックできません。撮影後、録画チェックをする前にHOMEボタンや撮る見るボタンを操作しないでください。

セットアップメニューの設定を変える ビデオ 写真

本機のさまざまな機能の設定を、ご購入時の状態からセットアップメニューで変更できます。なお、AUTO(オート)モードでは、[記録設定アイコン](記録設定)と[システム設定アイコン](システム設定)の機能を設定できます。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

HOME

1 押す

- HOME画面が出る。

2 設定を選ぶ

❶ 「セットアップ」をタッチする。

❷ [システム設定アイコン]をタッチする。

3 機能を選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「おしらせ音」をオレンジ色のバーに合わせせる。

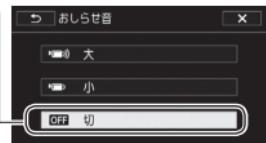
- 左端の△ または ▽ にタッチしてスクロールさせることもできる。
- 画面の機能名をタッチしてもよい。自動的にオレンジ色のバーまでスクロールされる。

❷ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

OFF

4 設定内容を選ぶ

OFF（切）をタッチする。

✕

5 タッチする

● ✕をタッチすると、メニューはいつでも終了します。

● 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

画質を選ぶ

ビデオ 写真

録画モード

AVCHD動画の録画モードにはMXP、FXP、XP+、SP、LPの5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。また、MP4動画の録画モードには、「9Mbps」と「4Mbps」の2種類があります*。小さなデータにして、すぐにアップロードをしたいときは、「4Mbps」をお選びください。

* 「bps」(ビットレート)とは、1秒間に記録される映像データの情報量のことです。

1 押す

- HOME画面が出る。

2 画質を選ぶ

❶「セットアップ」→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「録画モード」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。

3 タッチする

×

POINT 記録可能時間の目安

容量 / 画質	内蔵メモリー 32GB *3	カード 4GB	カード 8GB	カード 16GB	カード 32GB
MXP *1	2時間55分	20分	40分	1時間25分	2時間55分
FXP *1	4時間10分	30分	1時間	2時間5分	4時間10分
XP+	5時間45分	40分	1時間25分	2時間50分	5時間45分
SP	9時間35分	1時間10分	2時間20分	4時間45分	9時間35分
LP	12時間15分	1時間30分	3時間	6時間5分	12時間15分
9Mbps *2	7時間40分	55分	1時間55分	3時間50分	7時間40分
4Mbps *2	16時間55分	2時間5分	4時間10分	8時間25分	16時間55分

AVCHD AVCHD動画のとき

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に一時停止し、約3秒後に再び記録が開始されます。なお、記録される映像は、別々のシーンになります。

MP4 MP4動画のとき

1回の撮影操作で記録できる時間は、「9Mbps」、「4Mbps」いずれの録画モードでも最長で約30分です。なお、先にデータ容量が4GBに達した場合は、その時点で記録は停止します。

*1 水平1920×垂直1080画素で記録されます。他の録画モードでは1440×1080画素で記録されます。

*2 水平1280×垂直720画素で記録されます。

*3 ご購入時、内蔵メモリーには約70 MBの音楽データ、約5 MBの画像データ（デコレーションの画像ミックス用）、約2 MBの内部データが保存されています。

- MXPモードで撮影した動画は、そのままの画質ではDVD（AVCHD規格）に保存できません。ディスクに保存するときは、BD（ブルーレイディスク）に保存するか、付属のVideoBrowserを使ってDVD（AVCHD規格）*に保存してください。

  * FXPモードの画質に変換されます。
- 録画時間は撮影するシーンによって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているためです。
- MP4動画では、市販のプレーヤーで再生可能なディスクを作成することはできません。データを保存するディスクとして作成してください。

映像のなめらかさを選ぶ

ビデオ 写真

フレームレート

1秒間に記録されるコマの数（フレームレート）を選ぶことができます。フレームレートによって、記録される動画のなめらかさが変わります。AVCHD動画の場合、通常は 60i 標準（60i）を選びます。

1 押す

- HOME画面が出る。

2 フレームレートを選ぶ

❶「セットアップ」→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「フレームレート」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。

AVCHD動画：

60i	標準（60i）	テレビ信号と同じように記録する（60フィールドインターレース）。
PF30	PF30	映像を30コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。インターネットで映像を公開するときなどに便利。
PF24	PF24	映画と同じように映像を24コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。

MP4動画：

30P	30P	映像を30コマ/秒で撮影して記録する。
24P	24P	映像を24コマ/秒で撮影して記録する。

× 3 タッチする

● **M**（マニュアル）モードと （シネマ）モードで個別に設定できます。ご購入時、シネマモードでは「PF24」に設定されています。MP4記録のときは「30P」に設定されています。

場面に合わせて撮る

ビデオ 写真

シーンモード（SCN）

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影できます。

1 タッチする

2 撮影モードを選ぶ

❶ P（撮影モード）→ （ポートレート）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

3 タッチする

POINT 「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

ポートレート
背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

スポーツ
動きの速い被写体を撮る。

夜景
夜景をきれいに撮る。

スノー
照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

ビーチ
照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

夕焼け
夕焼けを色鮮やかに撮る。

ローライト
暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト
スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

打上げ花火
打上げ花火をきれいに撮る。

水中
水中で自然な色合いで撮る。

水上
ダイビングのときに水上で撮る。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーを**T**側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピント（フォーカス）が合いにくいときは、ピント（フォーカス）を調整してください（□113）。

打上げ花火について

- 手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 別売のテレコンバーターやワイドコンバーターを取り付けると、自動でピント（フォーカス）が合わなくなります。ピント（フォーカス）を調整してください（□113）。

水中、水上について

- 本機を別売のウォータープルーフケースWP-V4に入れて撮影するときに使用します。
- 水中モードで撮影中は画面に赤い枠が表示されます。
- 水中モードは、状況が様々に変化する水中*専用の撮影モードです。水上で撮影するときや照明器具を使って撮影するときは、水上モードの使用をおすすめします。
- ズームレバーを**W**側または**T**側に押しながら電源を入れると水中モードと水上モードを切り換えることができます。切り換えるときは、画面にまたはが出るまでズームレバーを押し続けてください。
- 本機が高温になると画面にが出ることがあります。そのときは本機の電源を切ってケースから出し、涼しい場所で冷ましてください。さらに高温になると、電源が自動的に切れることがあります。
- 水中モードに設定して水中で撮影するとき、画面の映像が赤味がかることがありますが、記録される映像の色合いには影響しません。
- ウォータープルーフケースにワイドコンバーターなど市販のアクセサリーを取り付けると、アクセサリー内部にピントが合うことがあります。その場合は、ズームレバーを**T**側に押すと、被写体にピントを合わせられます。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V4に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（□315）をご覧ください。

* 水中は、天気や水の状態、水深などによって状況が様々に変化する特殊な環境です。また、光の赤色成分が水に吸収されるため、青と緑が強く見えます。

手ブレをおさえて撮る ビデオ 写真

手ブレ補正

手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

HOME

1 押す

- HOME画面が出る。

2 手ブレ補正を選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「手ブレ補正」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。

ダイナミック		歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。
スタンダード		静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
OFF	切	三脚などを使って撮影するとき。

× 3 タッチする

POINT 望遠撮影時の大きな手ブレをおさえる（パワードIS）

パワードISを使うと、手ブレ補正を強化することができます。
静止して撮影するときに、ズームを望遠側にするほど効果的です。
撮影画面下のカスタムボタン（□305）から設定することもできます。

1. FUNC. をタッチする。
2. 上下にドラッグして、「パワードIS」をタッチする。
3. ON（入）→✕をタッチする。

MEMO

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- カメラを左右や上下に動かして撮るときは、手ブレ補正を「ダイナミック」または「スタンダード」にすることをおすすめします。

撮影チャンスを逃さない

ビデオ 写真

プレREC

3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

FUNC.

1 タッチする

2 プレRECを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、(プレREC)→ ON (入)をタッチする。

❷ ✕ をタッチする。

解除するとき

❶で OFF (切)をタッチする。

3 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

- プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

プレRECが解除される場合

- プレRECを設定した後、約5分間操作しなかったとき。
- カメラモードの切り換えや📽⇆▶ボタンを操作したとき。
- ビデオスナップモードをONにしたとき。
- デコレーションモードの画面に切り換えたとき。
- スタンバイ状態にしたとき（📖55）。
- 撮影設定メニューの次のボタンをタッチしたとき。「撮影モード」、「ホワイトバランス」、「オーディオシーン」、「AGCリミット」、「フェーダー」、「デコレーション」、「録画チェック」

顔を検出してきれいに撮る ビデオ 写真

フェイスキャッチ＆追尾

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。複数の人物から、特定の人をねらって撮影することもできます。

HOME

1 押す

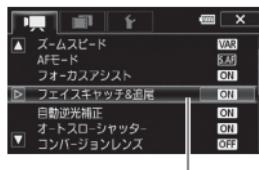
- HOME画面が出る。

2 フェイスキャッチ＆追尾を選ぶ

ON ✕

❶「セットアップ」をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「フェイスキャッチ＆追尾」をタッチする。

❸ ON（入）をタッチする。

解除するとき OFF（切）をタッチする。

❹ ✕ をタッチする。

3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

特定の人物の顔をタッチ（□102）する。

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ＆追尾」を「OFF」にしてください。

顔が検出されない主な例

- ■ 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- ■ 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ＆追尾が使用できない場合

- ■ 撮影設定メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」または「水中」に設定しているとき。
- ■ シャッタースピードを1/30秒未満*にしているとき。

  * セットアップメニューの「フレームレート」を「PF24」または「24P」にしているときは、1/24秒未満。
- ■ デジタルズームで40倍を超えて拡大（青色のズーム表示）しているとき。

- 「フェイスキャッチ＆追尾」を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。

  * セットアップメニューの「フレームレート」を「PF24」または「24P」にしているときは、1/24秒以上。

ねらった被写体をきれいに撮る ビデオ 写真

タッチ追尾

被写体が動いてもピントと明るさを合わせながら撮影できます。「フェイスキャッチ&追尾」で主な被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。ペットなどの動いている被写体をタッチすることもできます。

1 フェイスキャッチ＆追尾をONにする

99ページの操作1〜2を行う。

2 カメラを被写体に向ける

3 液晶画面上の被写体をタッチする

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「〚〛解除」をタッチする。

ビデオ

● 被写体の特徴的な部分（色など）をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体の大きさが画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

場面の切り換え効果をつける

フェーダー

映画で場面が切り換わるときのように、シーンの始まりと終わりを演出します。思い出のシーンにひと工夫加えてみましょう。F1↻オートフェード（毎回）またはF2↻ワイプ（毎回）を使うと、シーンの始まりと終わりに毎回効果を付けることができます。

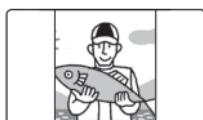
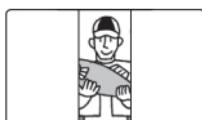
F1 オートフェード（1回）／ F1↻オートフェード（毎回）

F2 ワイプ（1回）／ F2↻ワイプ（毎回）

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

FUNC. **1** タッチする

ビデオ

場面の切り換え効果をつける

2 目的の効果を選ぶ

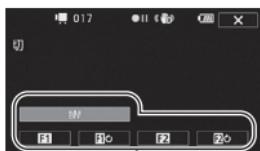
❶ 上にドラッグして、（フェーダー）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

フェーダーを使わないとき

（切）をタッチする。

❸ ✕ をタッチする。

3 押す

- 撮影一時停止中（●❚❚）にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中（●）に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影が一時停止する。

フェーダーが使用できない場合

- シネマモードでシネマルックフィルターに「オールドムービー」を選んでいるとき。
- デコレーションしているとき。
- ビデオスナップモードのとき。
- プレRECが「ON」のとき。

- セットアップメニューの「フェーダー設定」（□291）で、効果の色を変えることができます。

動きの速いものを撮る／背景をぼかして撮る

シャッタースピード／しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレートが、しぼり数値が大きい（閉じる）と風景の近くから遠くまでボケを少なくして撮影できます。

撮る 見る ｜ 記録形式 AVCHD MP4 ｜ カメラモード AUTO M

FUNC.

1 タッチする

P ◀ ▶

2 撮影モードを選ぶ

❶ P（撮影モード）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

P（プログラムAE）	：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。
Tv（シャッター優先AE）	：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。
Av（絞り優先AE）	：しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動で設定される。

Tv または Av を選んだとき

❸ ◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。

- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

× 3 タッチする

POINT シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

こんなときに使います	
1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。 水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

セットアップメニューの「フレームレート」（298）を「PF24」または「24P」に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

Tvのとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと、明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影する場合、画面のちらつきがとれないときは、**Tv**を選んでから1/100秒を選んでください。

Avのとき

- しぼり数値
  1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。

- AEはAutoExposure（自動露出）、TvはTime value（時間量）、AvはAperture value（開口量）の略です。
- 数値が点滅するときは、明るさが適正ではありません。点滅しなくなるまで、シャッタースピード／しぼりを調整してください。
- 撮影モードが**Tv**または**Av**のとき、露出を手動で調整してから、シャッタースピードやしぼりを変更することはできません。あらかじめシャッタースピードやしぼりを設定してから、露出を調整してください。

明るさを調整する

ビデオ 写真

露出

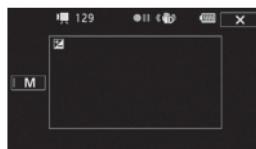
逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。なお、撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

FUNC.

1 タッチする

2 露出を選ぶ

（露出）をタッチする。

◀ ▶

3 露出を調整する

❶ 液晶画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所にが点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- **M**ボタンがONになり、メーターが出る。

❷ さらに調整するときは、◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。

- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 調整後の明るさで固定される。
- 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
- ❶の操作のかわりに**M**ボタンをタッチして、メーターで調整することもできる。

自動の露出調整に戻すとき

Mをタッチする。

× 4 タッチする

- 露出固定中は、画面に☑と露出の調整値が出る。

● 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えると自動調整に戻ります。
● 被写体を逆光下で撮影する場合でも、逆光を自動的に補正するため、被写体を明るく撮影できます。なお、以下のときは「自動逆光補正」は働きません。
  ■ シネマモード（□149）で「シネマスタンダード」以外のシネマルックフィルターを選んでいるとき
  ■ シーンモード（□92）で夜景、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライトを選んでいるとき
● セットアップメニューの「自動逆光補正」で「切」にすることもできます。

暗いところできれいに撮る

ビデオ
写真

AGCリミット

暗い場所で撮影すると、ノイズの目立った映像になることがあります。これは、ビデオカメラが自動的に感度を高くするためです。AGCリミットで感度の上限を設定すると、暗いシーンを暗いままできれいに撮影できます。なお、撮影モードをシーンモード(SCN)に設定しているときは、使用できません。

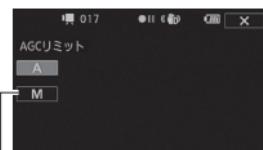
撮る 見る ｜ 記録形式 AVCHD MP4 ｜ カメラモード AUTO M

FUNC.

1 タッチする

AGC M

2 AGCリミットを選ぶ

上下にドラッグして、AGC(AGCリミット)→**M**(マニュアル)をタッチする。

- MがONになり、メーターが出る。

3 感度の上限を選ぶ

◀または▶をタッチするか、メーターを左右にドラッグして好みの感度を選ぶ。

- 数値を小さくする程、感度の上限が低くなる。

感度の上限を解除するとき **A**(オート)をタッチする。

×

4 タッチする

- AGCリミット設定中は、画面に感度の上限値（dB）が出る。

ピントを合わせる ビデオ 写真

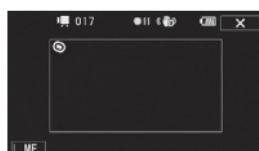
フォーカス

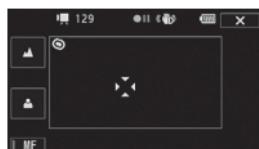
自動でピント(フォーカス)が合いにくい場合は、手動でピントの調整をします(マニュアルフォーカス)。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。撮影モードを「水中」または「水上」に設定しているときは使用できません。

FUNC.

1 タッチする

2 フォーカスを選ぶ

(フォーカス)をタッチする。

3 ピントを合わせる。

❶ 液晶画面上の、ピントを合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所にが点滅して、ピントが自動で調整され、ピントが固定される。
- **MF**ボタンがONになり、(近距離)と(遠距離)が出る。

❷ さらに調整するときは、▲または▲▲をタッチする。

- セットアップメニュー「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大して表示される。
- タッチするたびに、ピント調整の目安として被写体との距離が約2秒間表示される。

❸ ▲または▲▲をタッチし続ける。

- ▲▲をタッチし続けて遠くのものにピントを合わせると、画面に∞が出る。
- ❶の操作のかわりに**MF**をタッチして、▲と▲▲で調整することもできる。

自動のピント合わせに戻すとき

MFをタッチする。

×

4 タッチする

- ピント固定中は、画面にMFが出る。

- **MF**を使用中でも、表示された枠内をタッチすると自動ピントに調整になります。
- **MF**で花火や山など遠くのものを撮影するときは、∞（無限遠）にあわせることをおすすめします。
- 撮影モードを「水中」または「水上」に切り換えると、マニュアルフォーカスは解除されます。

POINT 自動でピントが合いにくいときはどんなとき？

強い光が反射

動きが速い

夜景

画面の中央に明暗の差がない

水滴が付いているガラス越しの撮影

MEMO
- 別売のウォータープルーフケースWP-V4に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（315）をご覧ください。

近寄って大きく撮る ビデオ 写真

テレマクロ

テレマクロを使うと、被写体に約40 cm（望遠端時）まで近づいてピントを合わせることができるので、花などの小さな被写体に近寄って拡大して撮影できます。また、テレマクロを使うと背景がぼけるので、被写体を強調したシーンにすることができます。

* AUTO（オート）モード、撮影モードを「水中」、「水上」に設定しているときは望遠端付近にズームして被写体に近づくと、自動的にテレマクロが有効になります。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

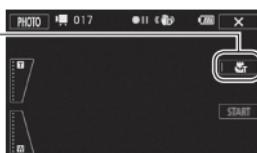
FUNC.

1 タッチする

2 テレマクロを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「ZOOM」（ズーム）をタッチする。

❷ （テレマクロ）をタッチする。

• 自動的に望遠端までズームされ、近くの被写体へのピント合わせが可能になる。

解除するとき

もう一度 をタッチする。

×

3 タッチする

テレマクロが解除される場合

- 電源を切ったとき。
- 🎥⇆▶を操作したとき。
- AUTO（オート）モードに切り換えたとき。
- ズームレバーを広角側に操作したとき。
- 撮影モードを「打上げ花火」に切り換えたとき。

● 撮影中はテレマクロをON / OFFできません。

色合いを調整する ビデオ 写真

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**のときに調整できます。

FUNC.

1 タッチする

WB

2 ホワイトバランスを選ぶ

❶ WB（ホワイトバランス）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

- 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

AWB	オート	通常はAWB（オート）*を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
☀	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
	日陰	日陰で撮影するときに選択。
	くもり	曇天時に撮影するときに選択。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

* AWBはAuto White Balance（オート ホワイト バランス）の略です。

	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
	電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
	セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

（セット）を選んだとき

❸ 白紙、白布を画面いっぱいに写す。

❹「白取り込み」をタッチする。

- （セット）が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

× 3 タッチする

(セット)を選んで調整するとき

- セットアップメニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください(291)。
- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに(セット)が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば(セット)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。

● 蛍光灯の種類によっては、(蛍光灯)や(蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または(セット)を選んでください。

好みの画質にする ビデオ 写真

ピクチャー設定

色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを調整して撮影することができます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**のときに設定できます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

FUNC.

1 タッチする

2 目的のピクチャー設定を選んで、調整する

❶ 上下にドラッグして、(ピクチャー設定)→「ON」をタッチする。

❷ いずれかの調整項目をタッチする。

❸ ◀または▶をタッチして調整する。

色の濃さ	：－2(薄い)～＋2(濃い)
シャープネス	：－2(弱い)～＋2(強い)
コントラスト	：－2(弱い)～＋2(強い)
明るさ	：－2(暗い)～＋2(明るい)

- メーターを左右にドラッグして調整することもできる。

ピクチャー設定を行わないとき

❶で「OFF」をタッチする

3 タッチする

- 画面にが出る。

セルフタイマーを使う ビデオ 写真

家族や仲間たちと自分も一緒に撮影したいときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

1 押す

- HOME画面が出る。

2 セルフタイマーを選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。

❷「セルフタイマー」をタッチする。

❸「ON 入」をタッチする。

解除するとき

❸で OFF（切）をタッチする。

3 タッチする

- 画面にが出る。

4 動画の場合 押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。*

静止画の場合 タッチする

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。*
- (シネマ)モードのときは、静止画は撮影できない。カメラモードを**M**(マニュアル)モードにする。

* 別売のリモコンWL-D89(□35)の場合、リモコンのSTART/STOPボタンまたはPHOTOボタンを押す。2秒からカウントダウンされる。

MEMO **セルフタイマーを解除するには**

- 撮影開始までの時間を表示中に、START/STOPボタン(動画のとき)またはPHOTOボタン(静止画のとき)を押す。
- 電源を切る。
- ボタンやカメラモードを操作する。
- スタンバイ状態にする(□55)。

場面に合わせて音の設定を選択する

オーディオシーン

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれるシーンが簡単に撮影できます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

FUNC.

1 タッチする

2 オーディオシーンを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、AUDIO（オーディオシーン）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

スタンダード

標準的な設定です

- 撮影する場面に合わせて録音設定を選ぶ。

STD スタンダード	カメラまかせの標準的な設定で録音するとき。
音楽	音楽の演奏や歌声を豊かに録音。屋内での演奏や歌声を撮影するとき。
スピーチ	声の集音力を高めて録音。スピーチをしている人などを撮影するとき。
森と野鳥	自然の音の広がり感を鮮明に録音。森や野鳥を撮影するとき。
ノイズカット	風切音や自動車の走行音を低減して録音。風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。
C カスタム*	音質を自由に設定するとき。

ビデオ

* 「カスタム」のときは、撮影設定メニューの「マイクレベル」(□131)、セットアップメニューの「オートウィンドカット」、「マイクアッテネーター」(□296)、「内蔵マイク周波数特性」、「内蔵マイク指向性」で音質を細かく設定できます。 AUTO(オート)モードのときは設定できません。カスタムに設定したあと、AUTO(オート)モードに切り換えると、スタンダードに戻ります。

× 3 タッチする

カスタムで設定する

音にこだわりたいときや自分の好きな音にしたいとき、音質を自由に設定できます。
M(マニュアル)または (シネマ)のとき設定できます。

内蔵マイクの周波数特性を変える

1 押す

- HOME画面が出る。

2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。

3 周波数特性を選ぶ

いずれかの周波数特性をタッチする。

NORM ノーマル	最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。
LB 低域強調	低域を強調し、迫力ある録音ができる。
LC 低域カット	風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。
MB 中域強調	人の声を中心に録音する。
LHB 低高域強調	コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。

4 × タッチする

内蔵マイクの指向性を切り換える

内蔵マイクの指向性を切り換えることで、正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。

HOME

1 押す

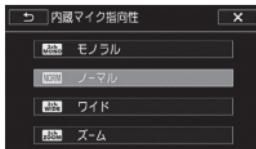
- HOME画面が出る。

2 内蔵マイク指向性を選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「内蔵マイク指向性」をタッチする。

3 指向性を選ぶ

いずれかの指向性をタッチする。

2ch MONO モノラル	マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。
NORM ノーマル	ワイドとモノラルの中間。標準的な2ch録音。
2ch WIDE ワイド	音の広がりを強調した2ch録音。臨場感を出したいときに。
2ch ZOOM ズーム	2ch録音。録音時の音量がズームレバーに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。

× 4 タッチする

オートウィンドカットを使う

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。なお、その際、風の音と一緒に低音の一部も低減されますので、風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。

1 押す

- HOME画面が出る。

2 オートウィンドカットを選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「オートウィンドカット」をタッチする。

❸「**H** 強」、「**L** 弱 」をタッチする。

× 3 タッチする

POINT オーディオシーンの各設定一覧

	スタンダード ♪STD	音楽	スピーチ	森と野鳥	ノイズカット	カスタム ♪C
マイクレベル	マニュアル 70	マニュアル 70	マニュアル 86	マニュアル 80	マニュアル 70	オート/マニュアル
オートウィンドカット	強	弱	強	強	強	切/強/弱
マイクATT	オート	オート	オート	オート	オート	オート/入
内蔵マイク指向性切替	ノーマル	ワイド	モノラル	ワイド	モノラル	モノラル ノーマル ワイド ズーム
内蔵マイク周波数特性	ノーマル	低高域強調	中域強調	低域カット	低域カット	ノーマル 低域強調 低域カット 中域強調 低高域強調

- 次のときは、内蔵マイクの音声を記録しないため、オーディオシーンを使用できません。
  - ミニアドバンストシューに別売のマイクを取り付けているとき。
  - MIC端子に外部マイクをつないでいて、セットアップメニューの「音声ミックス」(□134)が「切」のとき。

ビデオ

録音時の音量を変える

ビデオ 写真

マイクレベル

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

FUNC.

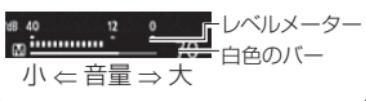
1 タッチする

- 「オーディオシーン」のときはあらかじめカスタムを設定してください（📖124）。

2 マイクレベルを選ぶ

上下にドラッグして、🎙（マイクレベル）→**M**（マニュアル）をタッチする。

- レベルメーターと調整用の◀／▶が出る。

3 マイクレベルを調整する

レベルメーター
白色のバー
小 ⇐ 音量 ⇒ 大

◀または▶をタッチして調整する。

- レベルメーターの表示が−12dBよりも右の位置で時々点灯するように調整する。
- 音声ミックス（📖134）が「入」のときは、レベルメーターにINT（内蔵マイク）とEXT（外部音源）のレベルが出る。

自動調整に戻すとき　**A**（オート）をタッチする。

✕

4 タッチする

- 調整した位置で録音レベルが固定される。

ビデオ

POINT 自動調整のときにレベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、録音時の音量を確認することができます。

❶ **A**（オート）をタッチする。
❷「レベルメーター」をタッチする。
- レベルメーターが出る。

❸ ✕をタッチする。

- 市販のマイクをMIC端子につなぐと、自動的にマイクレベルのレベルメーター（□131）が表示されます。
- ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を装着しているときは、自動的にマイクレベルのレベルメーターが表示されます。
- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、セットアップメニューの「マイクアッテネーター」を「オート」にしてください（□296）。また、SM-V1を使用しているときは、セットアップメニューの「サラウンドマイクATT」を「入」にしてください（□296）。
- マイクレベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を使ったりするときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（□136）。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V4に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（□315）をご覧ください。

内蔵マイクと外部入力の音声を一緒に記録する

ビデオ 写真

音声ミックス

内蔵マイクと外部入力（MIC端子入力）の音声をミックス（合成）して記録できます。外部入力には、ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）または市販のオーディオプレーヤー／マイクを使用できます。また、2つの音声のミックスバランス（合成比率）を変えることもできます。

撮る 見る | 記録形式 AVCHD MP4 | カメラモード AUTO M

MIC

1 外部入力機器をMIC端子につなぐ

HOME

2 押す

- HOME画面が出る。

3 MIC端子の入力音声種別を切り換える

❶「セットアップ」→「MIC端子入力選択」をタッチする。

❷ 接続した機器に応じて、いずれかをタッチ→をタッチする。

LINE 外部音源	オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。
MIC マイク	市販の外部マイクを使用するとき。

- ワイヤレスマイクロホンWM-V1を取り付けている場合、この操作は不要。

ON

4 音声ミックスを選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「音声ミックス」をタッチする。

❸ ON（入）をタッチする。

- レベルメーターとバランス調整バーが出る。

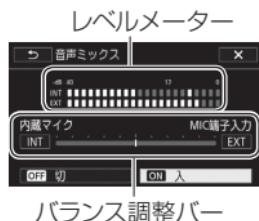
INT EXT

5 ミックスバランスを調整する

バランス調整バーの INT または EXT をタッチして調整する。

レベルメーター

バランス調整バー

×

6 タッチする

ヘッドホンを使う ビデオ 写真

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

🎧（ヘッドホン）端子は、AV OUT端子と兼用です。ヘッドホンを使うときは、セットアップメニューの「AV/ヘッドホン」で設定を🎧（ヘッドホン）に切り換えます（📖302）。

撮る 見る ｜ 記録形式 AVCHD MP4 ｜ カメラモード AUTO M

HOME

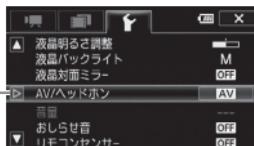
1 押す

- HOME画面が出る。

2 ヘッドホンを選ぶ

❶「セットアップ」→［🔧］をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「AV/ヘッドホン」をタッチする。

❸ 🎧（ヘッドホン）→⮌をタッチする。

3 ヘッドホン音量を調整する

❶ 上下にドラッグして、「音量」をタッチする。

❷ 🎧)または🎧))をタッチして調整する。

× 4 タッチする

- 🎧が出る。
- 調整した位置で音量が固定される。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

* 静止画の場合、スライドショーで音楽と一緒に再生しているときのみ調整できます。

1 再生中 音量を調整する

❶ 液晶画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
❷ ♫ をタッチする。
❸ ヘッドホン音量の🎧またはをタッチして音量を調整する。

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。
- 画面に🎧が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。雑音によって耳を痛めるおそれがあります。

- 再生時に設定した「AV/ヘッドホン」は、電源を切ると「AV」に戻ります。

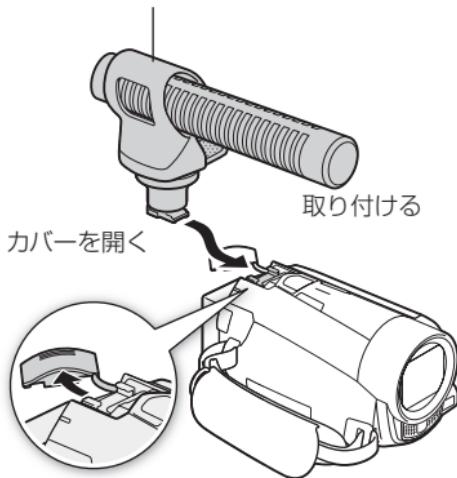
ミニアドバンストシューを使う ビデオ 写真

ミニアドバンストシュー／ MIC端子

本機のミニアドバンストシューに、別売の各種アクセサリー（□282）を取り付けられます。取り付け方や使い方については、各アクセサリーの説明書もあわせてご覧ください。

取り付けかた

別売の指向性ステレオマイクロホン
DM-100を例に説明しています。

MEMO

- 本機には、右のロゴ表記がある「ミニアドバンストシュー」対応アクセサリーをご利用ください。従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは取り付けられません。

Mini
ADVANCED SHOE

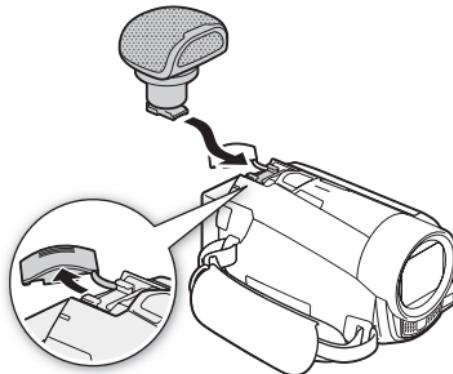
外部マイクを使う

ビデオ
写真

静かな場所で撮影するとき、内蔵マイクが本体の振動音を収音してしまうことがあります。また、屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生するノイズ音が大きく記録されてしまうことがあります。このようなときは、ウィンドスクリーン付きの外部マイクの使用をおすすめします。

撮る 見る　カメラモード AUTO M

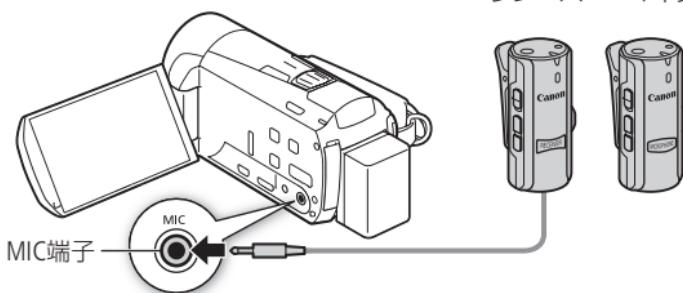
サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）／指向性ステレオマイクロホンDM-100（別売）を使う

サラウンドマイクロホンSM-V1を使用すると、臨場感のある5.1chの音声を記録できます。また指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、とらえたい音声を確実に記録でき、大切なシーンの言葉を逃しません。

SM-V1またはDM-100を使用する際には、ウィンドスクリーンを取り付けることをおすすめします。
SM-V1またはDM-100を取り付けると、画面に S が表示されます。
各アクセサリーの説明書もあわせてご覧ください。

サラウンドマイクロホンSM-V1を取り付けたとき

- セットアップメニューの「サラウンドマイク」でサラウンドマイクの設定を切り換えられます（□293）。
- 音声がひずむときは、セットアップメニューの「サラウンドマイクATT」を「入」にしてください（□293）。
- 記録した5.1chの音声は、本機と5.1ch対応機器をHDMIケーブル（付属）で接続すると5.1chで再生されます。ステレオビデオケーブル（付属）で他機に接続するか、ヘッドホンを接続すると2chで再生されます。本機のスピーカーからはモノラルで出力されます。

■ ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を使う

ワイヤレスマイクロホンWM-V1を使用すると、内蔵マイクではとらえられない離れた場所の音声を記録できます。また、WM-V1の音声と内蔵マイクの音声をミックスして記録することもできます。WM-V1の取り付けかたや操作については、WM-V1の使用説明書をご覧ください。

■ 市販のマイクを使う

本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、多くが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。

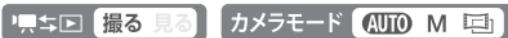
1 市販のマイクをMIC端子につなぐ

2 セットアップメニューの「MIC端子入力選択」を「マイク」にする（□134）

- 市販のマイクをMIC端子につなぐと、自動的にマイクレベルのレベルメーター（□131）が表示されます。
- 外部マイク接続中、セットアップメニューで設定した「オートウィンドカット」は自動的に「切」になります。
- 音声がひずむときは、セットアップメニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください。それでもひずむときは、マイクレベルを調整してください（□131）。

ビデオライトを使う ビデオ 写真

暗いところで撮影するときに、被写体を明るく照らすことができます。

撮る 見る カメラモード AUTO M

ビデオライトVL-5（別売）／ビデオフラッシュライトVFL-2（別売）を使う

本機に取り付けて、VL-5またはVFL-2の電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面にが表示されます。
なお、VFL-2は本機に取り付けて、フラッシュとして使うことはできません。

MEMO

- ビデオライトはバッテリーを消耗しますので、バッテリー残量の減り方も早くなります。十分に充電したバッテリーを取り付けてご使用ください。ビデオライト点灯中は、ビデオライトが点灯した状態での撮影可能時間の目安を表示します。
- バッテリー残量が約50%になると、ビデオライトは消灯します。ビデオライトのスイッチをOFFにしたり、ビデオライトが消灯したりすると、バッテリー残量表示は、ビデオライトを使用しない撮影時の残量表示になり、ビデオライト使用時に比べて多く表示されます。
- 付属のコンパクトパワーアダプター CA-110を接続して使用することはできません。

ストーリー仕立ての作品を撮る

シナリオモード

シナリオモードを使うと、旅行、キッズ、スポーツなど選んだテーマに応じた撮影シナリオをカメラが案内します。撮影シナリオに沿って撮影するだけで、本格的な作品*を簡単に撮ることができます。撮った映像は、ギャラリー画面（📖164）から作品ごとに再生できます。

* シナリオモードで、ある撮影シナリオに沿って撮影した一連の動画を「作品」と呼びます。

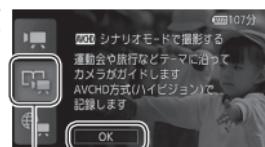
作品を新規に作成して撮る

1 押す

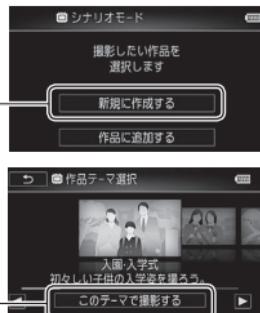
- HOME画面が出る。

2 シナリオモードを選ぶ

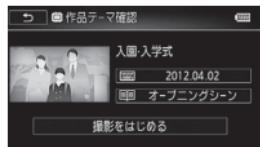
❶「記録形式」をタッチする。

❷ (シナリオモード) → OK をタッチする。

3 撮影テーマを選ぶ

❶「新規に作成する」をタッチする。

❷ 左右にドラッグして、いずれかのテーマを選ぶ→「このテーマで撮影する」をタッチする。

シナリオモードを止めるとき

HOMEボタンを押して、「記録形式」からシナリオモード以外を選ぶ。

4 シナリオシーンを選ぶ

❶ 📖（シナリオシーン）をタッチする。

❷ 上下にドラッグしてシナリオシーン*を選ぶ。

* シナリオ内の各項目をシナリオシーンと呼びます。

❸ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

ビデオ

タイトルを編集するとき

⌨(タイトル編集)をタッチ→画面上のキーボードから入力する(📖180)。

❹「撮影をはじめる」をタッチする。

- 選んだシナリオシーンの撮影ガイド(テーマ、シナリオシーン、撮影アドバイス、おすすめ撮影時間)が表示される。

❺ [OK] をタッチする。

- 「作品」が作成され、❶で選んだシナリオシーンの撮影一時停止状態になる。
- 「ガイド」をタッチしても選んだシナリオシーンの撮影ガイドが表示される。

5 撮影する

START/STOPボタンを押して撮影を行う。

- おすすめ撮影時間(秒)を目安に撮影する。

選択中のシナリオシーン

- 選択中のシナリオシーンのシーンとして、動画が記録される。
- ビデオスナップ(📖152)を撮ることもできる。

他のシナリオシーンのシーンを撮るとき

❶ 目目(シナリオシーン)をタッチする。

- シナリオシーンが表示されていないときは 目目 をタッチする。

❷ 上下にドラッグしてシナリオシーンを選ぶ。

❸ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

6 シナリオモードを終了する

❶ HOMEボタンを押す。

❷「記録形式」からシナリオモード以外を選ぶ。

- シナリオモードが終了し、通常の撮影一時停止画面が出る。

- ビデオスナップを撮影する場合、セットアップメニューの「ビデオスナップ記録時間」(□299)で「シナリオ連動」をONにしておけば、シナリオシーンの標準撮影時間分撮ると自動的に撮影一時停止になります。
- シナリオモード中は、「リレー記録」は使用できません。

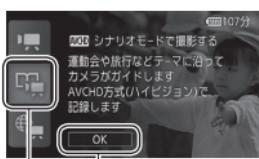
■ 作成済みの作品に追加撮影する

1 押す

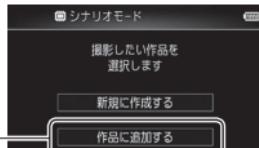
- HOME画面が出る。

2 シナリオモードを選ぶ

❶「記録形式」をタッチする。

❷ (シナリオモード)→ OK をタッチする。

3 作品を選ぶ

❶「作品に追加する」をタッチする。

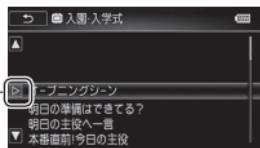
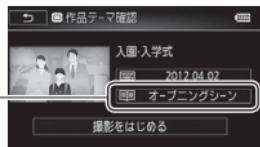
❷ 左右にドラッグして、いずれかのテーマを選ぶ→「この作品に追加する」をタッチする。

4 シナリオシーンを選ぶ

❶ (シナリオシーン)をタッチする。

❷ 上下にドラッグしてシナリオシーンを選ぶ。

❸ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

❹ 「撮影をはじめる」をタッチする。

- ❶で選んだシナリオシーンの撮影一時停止状態になる。

5 撮影する

- 145ページの操作5を行う。

映画のように撮る

ビデオ
写真

シネマモード／シネマルックフィルター

シネマモードでお好みのシネマルックフィルターを選んで撮影すると、映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮ることができます。シネマルックフィルターの効果の強さは3段階で設定できます*。

* 「シネマスタンダード」フィルターは効果の強さを設定できません。

記録形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M

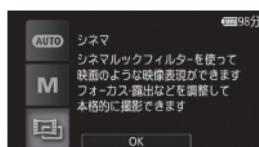
HOME

1 押す

- HOME画面が出る。

2 (シネマ)を選ぶ

❶「カメラモード」をタッチする。

❷ (シネマ)→ OK をタッチする。

3 シネマルックフィルターを選ぶ

❶ FILTER 1をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、いずれかのフィルターを選び、中央に合わせる。

- 画面の表示が、選んだフィルターの色合いに変わる。

4 効果の強さを選ぶ

❶ をタッチする。

❷ 「L」(弱)、「M」(中)、「H」(強)のいずれかをタッチ→[↩]をタッチする。

[OK]

5 タッチする

POINT シネマルックフィルターの一覧

1 シネマスタンダード

映画のような
基本画質。

2 ポップ

色彩にメリハ
リをきかせ軽
快な印象に。

3 ファンタジー

まるで夢の中にい
るかのような柔ら
かな幻想世界。

4 クール

見慣れたシーンを
シャープで未来的
なイメージに。

5 ノスタルジック

渋い発色と引き
締まる画で、昔
の映画のように。

6 セピア

何気ない日常の
印象から懐かし
い記憶の世界へ。

7 オールドムービー

画面に揺れや傷、
明滅をつけて映
画館のように。

8 メモリー

はるか昔に出
会った場面の
ように。

9 ダイナミックモノクローム

黒と白の階調
を際立たせ、力
強い臨場感に。

● シネマモードのときは、静止画を記録できません。

ビデオスナップを撮る

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間*の短い映像（ビデオスナップ）が記録できます。短い映像にすることで、再生時に場面切り換えのテンポが良くなります。音楽と一緒に再生（📖172）すれば、映像に表情が加わり、よりいっそう映像を楽しめます。

* 記録時間は、セットアップメニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒、「シナリオ連動」のいずれかに変更できます（📖299）。シナリオモード（📖143）で撮影する場合、「シナリオ連動」にすると、選択しているシナリオシーンの標準撮影時間が記録時間になります。

記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

VIDEO SNAP

1 押す

● 画面に青い枠が出る。

2 押す

● 約4秒間撮影し、自動的に撮影が一時停止する。

● 撮影中は青い枠が動き*、記録後、シャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

* 撮影設定メニューの撮影モードを「水中」に設定しているときは赤い枠が動きます。

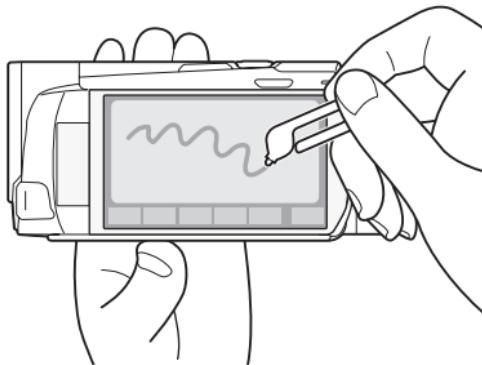
● ボタンを操作すると、ビデオスナップモードは解除されます。

映像をデコレーションする

デコレーション

液晶画面上のキャンバスに、手書き文字やマーク、アニメーション、背景画像などをデコレーション（飾り付け）して撮影できます。デコレーションして撮ると、映像に重ねてデコレーションも記録されるため、作品を思いのままに飾れます。また、AVCHD動画では、シーンや作品を再生するときや、SD動画（標準画質/MPEG2形式）に変換するとき（□225）にデコレーションすることもできます。撮影したときの気持ちを、見せたくなる「作品」にできます。

■ スタイラスペン（付属）を使う

付属のスタイラスペンを使うとより自在に描画できます。

● セットアップメニューの「デコレーション自動起動」を「入」にしているときは、液晶画面を反転して（表に向けて）閉じると、デコレーションモードの画面に切り換わります（□302）。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

デコレーションモードの画面

デコレーションモードの画面には、描画領域の「キャンバス」と、描画ツールが並ぶ「ツールバー」があります。ツールバーから好みのツールを選んで、キャンバス上に自由に描くことができます。

■ ツールバーの各ツール

ペン&スタンプ	ペン、クレヨンなどのペン先、星などのマークを選べ、さらにペン先／マークの色を選択できる。キャンバスに、ペンで線を描いたり、マークでスタンプしたりできる。描いた線やマークは保存することもできる（1種類のみ）。
アニメーション	アニメーションのパターンを選び、キャンバスの好きな位置に配置できる。
日時&タイトル	キャンバスの好きな位置に日付や時刻、タイトル、シナリオシーンを表示する。
画像ミックス*	映像とフレーム画像を合成できる。フレーム画像は27種類から選べ、ペン&スタンプやアニメーションと組みあわせることもできる。
画面静止*	撮るモードのとき：画面の映像を静止させる。静止中も動画の記録が可能。▸II◂ をタッチすると画面の静止が解除される。 見るモードのとき：再生を一時停止する。▶をタッチすると再び再生する。
ツールバー移動	ツールバーを小さくして画面左上に移動する。 をタッチすると再び出る。

* シネマモードとMP4動画では使用できない。

■ デコレーションして撮る

FUNC.

1 タッチする

2 デコレーションを選ぶ

上下にドラッグして、(デコレーション)をタッチする。

- デコレーションモードの画面が出る。
- 液晶画面を反転収納しても、デコレーションモード画面が出る(撮るモード時のみ)。

3 ツールバーのツールを使ってデコレーションする

- 各ツールの使いかたは、157ページ以降の説明を参照してください。

START/STOP

4 撮影する

- デコレーションと一緒に映像が記録される。
- 撮影中にデコレーションすることもできる。

×

5 タッチする

- デコレーションモードの画面が閉じる。

ビデオ

■「ペン&スタンプ」でデコレーションする

1 「ペン&スタンプ」を選ぶ

❶ をタッチする。
- 「ペン&スタンプ」画面が出る。

❷「ツール選択」でペンまたはスタンプをタッチする。

ツールの色を白または黒にするとき

→ □ または ■ をタッチする。

ツールの色をカラーパレットから選ぶとき

❶ → をタッチする。

❷ 好みの色をタッチする。

2 描く

タッチまたはドラッグして、キャンバスに線やマークを描く。

描いた「ペン&スタンプ」を消去するとき

→「クリア」→「はい」→ をタッチする。

描いた「ペン&スタンプ」を保存するとき

→「保存」→「はい」→をタッチする。

- キャンバス上の「ペン&スタンプ」が内蔵メモリーに保存される。

保存した「ペン&スタンプ」を読み出すとき

→「読み込み」→「はい」→をタッチする。

「アニメーション」でデコレーションする

1 「アニメーション」を選ぶ

❶ をタッチする。

- アニメーションのパターンが出る。

❷ いずれかをタッチする。

2 描く

キャンバス上をタッチまたはドラッグする。

- 選んだパターンがキャンバスに表示される。

ビデオ

■「日時&タイトル」でデコレーションする

1 「日時&タイトル」を選ぶ

❶ をタッチする。

❷「日付」、「時刻」、「タイトル*」、「シナリオシーン*」のうち、表示する項目をすべてタッチする。

* シナリオモードで撮影時のみ使用可能。

- タッチした項目が選択される。もう一度タッチすると解除される。

❸「A(白文字、背景あり)」または「A(白文字)」、「A(黒文字)」のいずれかをタッチする。

❹ をタッチする。

- 「キャンバス」の中央に選んだ日時&タイトルが出る。

2 表示位置を調整する

表示された日時やタイトルなどをドラッグして、好きな位置に移動させる。

「画像ミックス」でデコレーションする

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M

1 「画像ミックス」を選ぶ

→「ON」をタッチする。

2 ミックス画を選ぶ

動画の記録／再生メモリーがカードのとき

ミックス画が保存されているメモリーをタッチする。

❶ 「＋」または「－」をタッチしてミックス画を選ぶ。

❷ をタッチする。

- 選んだミックス画と一緒に撮影する映像が表示される。

POINT 作った画像をミックス画として使う

ミックス画の例

❶ パソコン 作成した画像をミックス画の形式で内蔵メモリーまたはカードに保存する（□321）。
- 切り抜きたい部分を緑または青にする。

❷ → → 「ON」をタッチする。

❸ 「＋」または「－」をタッチして、❶で保存したファイルの番号を選ぶ。

❹ ▶をタッチする→いずれかの「クロマキー設定」を選ぶ。

❺ バーの左右の◀または▶をタッチして切り抜き具合を調整する→「クロマキー設定」の右の▶をタッチする。
- バー上をドラッグして調整することもできる。

❻ ◀または▶をタッチするかバー上をドラッグして、「透過設定」を調整する→をタッチする。

「画面静止」を使う

撮る 見る ｜ 記録形式 AVCHD MP4 ｜ カメラモード AUTO M

1 「画面静止」を選ぶ

❚❚ をタッチする。

- 画面上の映像が静止する。この状態で撮影すると、静止した映像を記録できる。
- 静止中も、ツールを選んでデコレーションできる。
- ▸❚❚◂ または▶ をタッチすると再び映像が出る。

ビデオ

MEMO

- 内蔵メモリーを初期化すると、キャンバス上に描いて保存した「ペン&スタンプ」は消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていたミックス画は消去されません。
- 「アニメーション」と「日時&タイトル」は同時に使用できません。
- セットアップメニューの「動画記録先」が「(内蔵メモリー)」のとき、「(カード)」に記録されているミックス画は選択できません。
- AVCHD動画再生中／ SD動画変換中（標準画質／ MPEG2形式）は、ミックス画を選択できません。ミックス画は、再生一時停止中／変換開始前に選択してください。
- AVCHD動画のデコレーションはインデックス画面のサムネイルにも表示されます。MP4動画のデコレーションはサムネイルに表示されません。

デコレーションして見る

再生する動画をデコレーションして見ることができます。保存しておいた「ペン&スタンプ」のデコレーションを読み込むこともできます（□157）。なお、再生時のデコレーションは、動画と一緒に記録されません。

1 AVCHD動画のインデックスまたはギャラリー画面に切り換える

2 デコレーションするシーンを再生する

シーンまたは作品をタッチする。

- 再生が始まる。

3 デコレーションを選ぶ

❶ 液晶画面上をタッチする。

- 操作ボタンが出る。

❷ をタッチする。

- デコレーションモードの画面が出る。

4 デコレーションする

157 ～ 160ページを参考に、デコレーションする。

ギャラリーで作品を見る

ギャラリー画面

撮影したAVCHD動画を作品ごとに見るときは、ギャラリー画面から再生します。作品内の各シーンにレーティング（お気に入り度）を設定しておけば、指定したレーティングのシーンだけを再生できます（□167）。なお、シナリオモードを使わないで自由に撮影したシーン／ビデオスナップは、それぞれ「未分類」／「ビデオスナップ」という名前の作品に入ります。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 ギャラリー画面に切り換える

❶ をタッチする。

❷「 AVCHD ギャラリー」をタッチする。

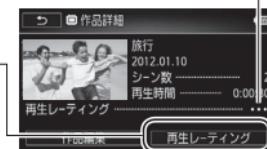
2 再生する作品を選ぶ

左右にドラッグして、いずれかの作品を中央に表示させる。

3 再生するシーンを絞り込む

❶「作品詳細」をタッチする。

❷「再生レーティング」をタッチする。

現在の再生レーティング

絞り込み後の再生時間

絞り込み後のシーン数

❸ いずれかのレーティングをタッチする。

❹ ⮌ を2回タッチする。

4 作品をタッチする

- 再生が始まる。
- シナリオモードで撮影した作品を再生しているときは、液晶画面上をタッチ→ [▤] をタッチするとシナリオシーンが出る。液晶画面上をタッチ→ [▤] をタッチすると消える。

- 再生中の操作は、インデックス画面から再生したときと同じ（□60）。
- タッチした作品の再生が終わると、ギャラリー画面に戻る。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードを切り換えない。
  - ボタンを押さない。

- ギャラリー画面から作品を再生し、途中で停止した場合、同じ作品を再生しても停止した部分からの続きは再生できません。作品の最初からの再生になります。

三ツ星シーンを決める

ビデオ
写真

レーティング

撮った動画に星印をつけて、レーティング（お気に入り度）を設定できます。シーンを評価して、気に入ったシーンに三ツ星や二ツ星をつけておくと、お気に入りのシーンだけを絞り込んで、再生や編集ができて便利です。たくさんの三ツ星を記録しましょう。

記録形式 AVCHD MP4

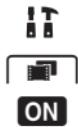
撮影直後にレーティングする

撮影するたびにレーティングを設定できます。画面に表示される「★★★」（三ツ星）、「★★•」（二ツ星）、「★••」（一ツ星）、「•••」（未評価）または「ーーー」（NG）のいずれかを選んでタッチすると、撮影したときの印象を毎回記録できます。

HOME

1 押す

- HOME画面が出る。

ON

2 撮影時レーティングをONにする

❶「セットアップ」→ をタッチする。
❷「撮影レーティング」をタッチする。
❸ ON（入）をタッチする。

撮影時レーティング
ON 入
OFF 切

×

3 タッチする

4 撮影する

START/STOPボタンを押す。

- 撮影が終わるとレーティング選択の画面が出る。

5 レーティングを設定する

「★★★」(三ツ星)～「★••」(一ツ星)または、「•••」(未評価)、「ーーー」(NG)のいずれかをタッチする。

- 撮影一時停止中の画面に戻る。

撮影ごとのレーティングをしないとき

❶ ✕をタッチする。

- 設定変更の画面に戻る。

❷「ここで設定」で「切」をタッチする。

■ 一覧から選んだシーンにレーティングする

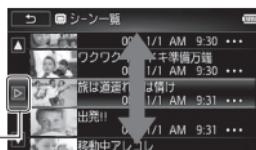
1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「シーン一覧」をタッチする。

2 レーティングを設定するシーンを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、シーンを選ぶ。

❷ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

3 レーティングを設定する（📖167）

❶ いずれかをタッチ→ ⮌をタッチする。

- 選んだシーンに★（選んだレーティング）が出る。

❷ ⮌をタッチする。

■ 再生中の気に入った場面で設定する

作品を再生しながら気に入った場面のシーンにレーティングを設定できます。

1 ギャラリー画面から作品を再生する

作品をタッチする。

- 再生が始まる。

2 気に入った場面で再生一時停止にする

❚❚

液晶画面上をタッチ→❚❚ をタッチする。

3 レーティングを設定する

編集 ✕ ■

❶ 編集 →「レーティング」をタッチする。

❷ いずれかのレーティングをタッチ→✕ をタッチする。

❸ ■ をタッチする。

POINT 「再生レーティング」画面の見かた

再生レーティングでは、シーンに設定したレーティングごとに絞り込んで再生できます。絞り込みには❶〜❻の方法があります。レーティングをしておくと、お気に入りにシーンを選んで手軽に見ることができます。

❶ ★★★
- 三ツ星シーンが選択される。

❷ ★★★/★★•
- 三ツ星と二ツ星シーンが選択される。

❸ ★★★/★★•/★••
- 三ツ星と二ツ星と一ツ星シーンが選択される。

❹ •••
- 評価していないシーンが選択される。

❺ ---
- NG評価にしたシーンが選択される。

❻ すべて
- すべてのシーンが選択される。

音楽と一緒に再生する ビデオ 写真

撮りためた映像を好きな音楽と一緒に再生して、短編映画のような映像を楽しむことができます。携帯オーディオプレーヤーなどとつないで、好きな音楽と一緒に再生することもできます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生する

映像と一緒に記録された音声（以下「音声」と記載）と音楽（BGM）を合成して再生できます。音声と音楽の合成比率（BGMバランス）を変更することもできます。

1 インデックス画面またはギャラリー画面に切り換える（□64）

2 選曲する

ON ▼▲

❶「セットアップ」→「BGM選択」→ ON（入）をタッチする。

❷ ▼または▲をタッチして曲の番号を選ぶ。

- ▶（再生）をタッチすると曲が試聴できる。もう一度タッチすると停止する。
- OFF（切）をタッチすると撮影時の音声が再生される。

曲を消すとき

❷の後、🗑 →「はい」をタッチする。

3 BGMバランスを調整する

🎞️ または ♫ をタッチするか、バー上を左右にドラッグして調整する。

- 🎞️をタッチすると音声が大きくなり、♫ をタッチすると音楽（BGM）が大きくなる。

4 タッチする

×

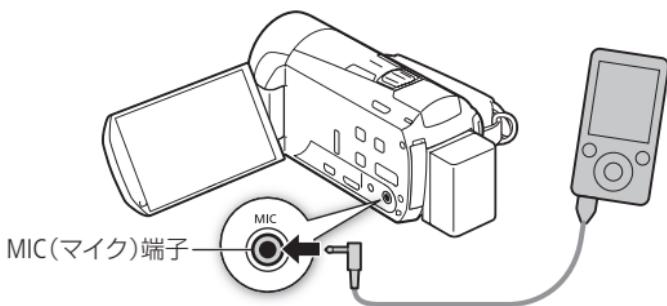
5 シーンまたは作品をタッチする

- 映像と音楽が再生される。

再生中にBGMバランスを調整する

1. 液晶画面上をタッチ→ ♫🎞️ をタッチする。
2. BGMバランス調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調整する。
3. ⮌をタッチする。

■ オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生する

お気に入りのシーンや作品に好きな音楽を重ねて、より印象的な映像にして楽しめます。

本機のMIC端子には、Φ3.5 mmステレオミニプラグが接続できます。

1 プレーヤーをMIC端子につなぐ

2 押す

- HOME画面が出る。

ON

3 外部音源入力を選ぶ

❶「セットアップ」をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「外部音源入力」→「ON 入」をタッチする。

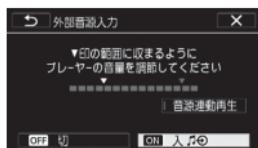
×

4 音量を調節する

外部音源入力
▼印の範囲に収まるように
プレーヤーの音量を調節してください
音源連動再生
OFF 切
ON 入

❶ プレーヤーの音楽を再生する。

- 現在の音量がレベルメーターに表示される。

❷ レベルメーターの表示が2つの▼の間に収まるように、プレーヤーの音量を調整する。

プレーヤーの音楽と連動して再生するとき

音楽の再生を止め、「音源連動再生」をタッチする。

❸ ×をタッチする。

5 インデックス画面またはギャラリー画面に切り換える（□64）

プレーヤーの音楽と連動して再生するとき

左右にドラッグして、再生するシーンを含む日付（インデックス画面のとき）または作品（ギャラリー画面のとき）を選ぶ。

6 「音源連動再生」がOFFの場合 シーンまたは作品をタッチする

- プレーヤーの音楽と一緒にシーン／作品が再生される。
- 映像と音楽の停止は連動しない。

「音源連動再生」がONの場合

プレーヤーを再生する

- 選んだ日付や作品の最初の映像から自動で再生される。
- プレーヤーの音楽が終了すると、自動的に映像の再生も一時停止する。音楽が始まると、映像の再生が再開される。
- 映像の再生が終了しても、プレーヤーの音楽は自動的に停止しない。

- 本機能で複製した音楽著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。責任を持ってご使用ください。

- メモリーを初期化すると、パソコンから転送した音楽が消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽は消去されません。
- 音楽は、付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、付属の「キヤノンiVISディスク」から転送できます。その際、再生する動画と同じメモリーに保存してください。詳しくは、VideoBrowserの説明書（PDF）をご覧ください。
- 外部機器の音量が小さすぎる、外部機器からの音声信号にノイズが入るなどによって、映像が音楽に連動して再生されないことがあります。

作品内のシーンを並べ換える

コピー／移動

作品内のシーンをコピーしたり移動したりして、シーンを並べ換えることができます。コピー先や移動先を同じメモリー内にある別の作品にすることもできます。

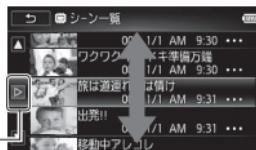
撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「シーン一覧」をタッチする。

2 シーンを選ぶ

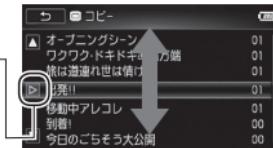
❶ 上下にドラッグしてシーンを選ぶ。

❷ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

3 コピー／移動先を選ぶ

❶「コピー」または「移動」をタッチする。

❷ 左右にドラッグして、コピー／移動先の作品を選ぶ→タッチする。

❸ 上下にドラッグしてシナリオシーンを選ぶ。

❹ 左端のオレンジ色の ▷ をタッチする。

コピー／移動先にシーンがないとき 操作4に進む。

❺ 上下にドラッグして、コピー／移動先を選ぶ。

- オレンジ色の水平線を合わせる。

❻「決定」をタッチする。

4 コピーまたは移動する

❶「はい」をタッチする。

- 「移動」の場合、対象のシーンは元の作品から消去される。

コピーを中止するとき

「中止」をタッチする。

❷ コピーのとき OK をタッチする。

❸ ⮌をタッチする。

- 「未分類」または「ビデオスナップ」をコピー先／移動先にすることはできません。

ビデオ

作品のサムネイルを設定する

作品サムネイル

作品内のシーンにある一つの場面を、ギャラリー画面で表示される作品のサムネイル（縮小画像）として設定できます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「作品詳細」をタッチする。

2 作品サムネイルを選ぶ

「作品編集」→「作品サムネイル」をタッチする。

3 サムネイルにする場面を選ぶ

▶
⮌

❶ サムネイルにする位置を探す。

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀II ／ II▶	コマ戻し／コマ送り

❷ サムネイルにする位置で一時停止にする。

❸「決定」をタッチする。

❹ ⮌をタッチする。

作品のタイトルを編集する

タイトル編集

作品にお好みの名前（タイトル）を付けることができます。タイトルには、英数字と記号、スペースを最大14文字入力できます。なお、「未分類」または「ビデオスナップ」のタイトルを編集することはできません。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

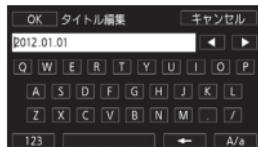
❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「作品詳細」をタッチする。

2 タイトル編集を選ぶ

「作品編集」→「タイトル編集」をタッチする。

3 タイトルを編集する

❶ 画面上のキーボードをタッチしてタイトルを入力／編集する。

❷ OK をタッチ→⮌を2回タッチする。

POINT 文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。入力にはスタイラスペン（付属）の使用をおすすめします。

①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力フィールド
③	—	文字入力キー
④	123/ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	←	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a/#%?/*&+	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

ビデオ

● 付属のVideoBrowser の「ギャラリーモードの映像ファイルと音楽ファイルを結合して取り込む」で取り込みを行うと、作品と同じタイトルの映像ファイルが作成されます。このとき、以下の文字を使用していると、「_」に置き換えられます。
「/」「\」「<」「>」「:」「*」「"」「|」「?」
また、「\」は、VideoBrowserの映像ファイル取り込み画面のギャラリーリスト表示では「¥」に置き換えられます。

映像からビデオスナップや写真を作る

撮影した映像から4秒間*のビデオスナップを作ったり、写真として切りとったりすることができます。

* 記録時間は、セットアップメニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます（□299）。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

映像からビデオスナップを作る

1 シーンまたは作品をタッチする

- 再生が始まる。
- ビデオスナップを作成するシーンを再生する。

2 押す

- 4秒間のビデオスナップが作成され、再生が一時停止する。
- ビデオスナップ作成中は青い枠が動き、作成後はシャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

■

3 再生を終える

液晶画面上をタッチ→［■］タッチする。

- 再生開始前の画面に戻る。

- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- 元のシーンと同じ日付（作品）の末尾に保存されます。

ビデオスナップを作成できない場合

- 約1秒未満のシーンのとき。
- 付属のVideoBrowserで編集して本機に書き戻したシーンのとき。

再生中のシーンがビデオスナップのときは、作成元となるシーンの記録時間によってはビデオスナップを作成できないことがあります。

- シーンの終わりから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。
- 再生中のシーンから作ったビデオスナップは、再生時、シーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

■ 映像を写真として切りとる（あとからフォト）

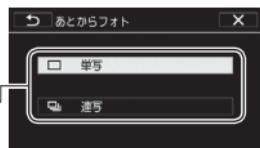
撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとれます。映像の中の1秒間を連続して静止画に切りとることもできます。記録される静止画のサイズは1920×1080です。

準備する

1 押す

- HOME画面が出る。

2 切りとりかたを選ぶ

❶「セットアップ」→［ ］をタッチする。
❷「あとからフォト」をタッチする。
❸「単写」または「連写」をタッチする。

3 タッチする

静止画を切りとる

Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」(□187)を確認してください。

1 静止画を切りとるシーンを再生する

シーンまたは作品をタッチする。

- 再生が始まる。

II

2 静止画を切りとる位置で再生一時停止にする

液晶画面上をタッチする→IIをタッチする。

PHOTO

3 「単写」を選んだとき タッチする

「連写」を選んだとき タッチしつづける

- コマ送りをしながら静止画が記録される。

ビデオ

ご注意

- Eye-Fiカードを記録先に設定した場合、静止画を切り取ると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（□235）。

- 切りとった静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日付と時刻が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、セットアップメニュー「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます。

連写のとき

- 最大100枚まで記録できます。
- 連写中、次のシーンに切り換わると連写が止まります。
- 約1/30秒ごとにコマ送りをしながら記録します。セットアップメニューの「フレームレート」を「PF24」に設定して撮影した動画の場合は、約1/24秒ごとのコマ送りになります。

映像からビデオスナップや写真を作る

シーンを分割する ビデオ 写真

分割

撮影したシーンは分割できます。分割することで、必要な部分だけを残したシーンにできます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

II

1 分割するシーンを再生一時停止にする

❶ シーンまたは作品をタッチする。

- 再生が始まる。

❷ 液晶画面上をタッチ→II をタッチする。

- 一時停止する。

編集

2 分割を選ぶ

編集→「分割」をタッチする。

▶

3 分割する位置を決める

❶ 分割する位置を探す。

- ▶ をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀II ／ II▶	コマ戻し／コマ送り

❷ 分割する位置で一時停止にする。

ビデオ

4 分割する

「✂分割」→「はい」をタッチする。

- 分割した元のシーンの次に挿入される。

- 分割する位置を決めるときのコマ戻し／コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。
- 付属のVideoBrowserで編集して本機に書き戻したシーンのとき。

Chapter

4

写真

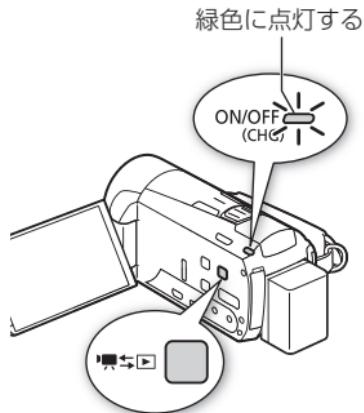
写真を見る

1 押す

2 押す

❶

▼

❷

3 見たい静止画を探す

メモリーと表示内容を切り換える（□64）

左にドラッグで次の画面へ

右にドラッグで前の画面へ

タッチして左右に画面を切り換える

4 静止画をタッチする

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。

■ 再生中に他の静止画にジャンプする（静止画ジャンプ）

1 静止画再生中 液晶画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 タッチする

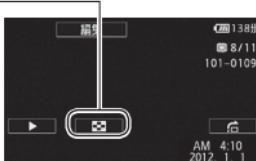
3 ジャンプバーのつまみを左右にドラッグする

- ジャンプ先の静止画が再生される。

4 タッチする

インデックス画面を出す

静止画再生中にインデックス画面に切り換える方法です。

1 静止画再生中 液晶画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 タッチする

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードを切り換えない。
  - ボタンを押さない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

写真を消す

ビデオ 写真

静止画消去

不要な静止画は消去できます。再生中の静止画を消す方法と、選んだ静止画やすべての静止画をまとめて消す方法とがあります。

撮る 見る

再生中の静止画を消す

1 静止画再生中 液晶画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 消去を選ぶ

編集

1. 編集 → 「消去」をタッチする。

- 消去画面が出る。
- 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。

2. 「実行」→「はい」をタッチする。

3 × タッチする

■ 選んだ静止画／すべての静止画をまとめて消す

1 消去する静止画を含む静止画インデックス画面に切り換える（□64）

2 消去を選ぶ

［編集］→「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

静止画を選んで消すとき

すべての静止画を消すとき

4 静止画を選んで消すとき 静止画を選ぶ

❶ 消す静止画をタッチする。

- 静止画が選択され☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、消す静止画をすべて選ぶ。

静止画をすべて消すとき

「すべての静止画」をタッチする。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

写真

（実行）

5 静止画を消す

静止画を選んで消すとき

❶ （実行）→「はい」をタッチする。

静止画をすべて消すとき

❶「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部の静止画は消去される。

❷ （OK）をタッチする。

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

順番に再生する

ビデオ
写真

スライドショー

音楽と一緒に静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。音を出さないで再生することもできます。

撮る 見る

音楽と一緒に再生する

1 選曲する

カメラ内の音楽のとき

172ページの操作2と4を行う。

プレーヤーなどの音楽のとき

174ページの操作2〜3を行う。

2 「音源連動再生」が ON の場合 プレーヤーを再生する

- インデックス画面の最初の静止画からスライドショーが始まる。

「音源連動再生」がOFF、またはカメラ内の音楽の場合

スライドショーを開始する

❶ スライドショーを開始する静止画をタッチする。

❷ 液晶画面上をタッチ→ ▶ (再生)をタッチする。

- スライドショーと音楽の再生が始まる。

音量を変えるとき

液晶画面上をタッチ→🔈または🔊をタッチする。

スライドショーを止めるとき

液晶画面上をタッチ→❚❚ をタッチする。

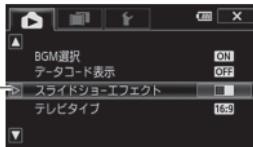
POINT 効果をつけて再生する

スライドショーに効果をつけて見ることができます。

❶ HOMEボタン押す。

❷「セットアップ」をタッチする。

❸ 上下にドラッグして、「スライドショーエフェクト」をタッチする。

❹「▦ クロスフェード」または「□■スライド」をタッチ→✕ をタッチする。

- 付属の音楽と一緒に再生するときは、静止画と音楽を同じメモリーに保存してください。詳しくはVideoBrowserの説明書（PDF）をご覧ください。
- プレーヤーなどの音楽と一緒に再生する場合、スライドショーは音楽が終わるまで繰り返し再生され、音楽が終わると終了します。

Chapter

5

保存/共有

Backing Up and Sharing Movies/Photos

残しかたいろいろ

ビデオ
写真

カードにコピーしたい

パソコンに保存したい

BDレコーダーなどにダビングしたい

インターネットでお披露目したい

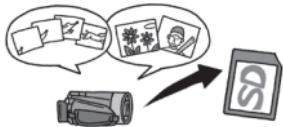
ディスクを作りたい

ハイビジョン画質のディスクを作る　220

標準画質のDVDを作る　221

ビデオ／写真をカードにコピーする

ビデオ
写 真

コピー

撮影した動画や静止画を内蔵メモリーからカードへコピーできます。選んだシーン／静止画やすべてのシーン／静止画をまとめてコピーします。動画の場合は、特定の日に撮影したシーンをすべてコピー *することもできます。また、ギャラリー画面から作品をコピー *するときは、作品内のシーンをレーティングで絞り込んでコピーすることができます。

* AVCHD動画のみ。

■ 動画をコピーする

選んだシーン、ある日のシーン、すべてのシーンをまとめてコピーする

インデックス画面から、選んだシーンや特定の日に撮ったシーン*、すべてのシーンをまとめてコピーできます。インデックス画面からコピーしたシーンは、コピー先の「未分類」の作品に保存*されます。

* AVCHD動画のみ。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

保存

2 コピー元となる内蔵メモリーのインデックス画面を出す（□64）

特定の日に撮ったシーンをコピーするとき

AVCHD動画の場合は、左右にドラッグして、コピーするシーンの日付を画面上部に出す。

3 コピーを選ぶ

編集 → 「コピー [内蔵メモリー➡SD]」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

AVCHD動画のとき

MP4動画のとき

シーンを選んでコピーするとき

すべてのシーンをコピーするとき

コピー

選択

全シーン

5 シーンを選んでコピーするとき シーンを選ぶ

❶ シーンをタッチする。

- シーンが選択され、☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、コピーするシーンをすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

6 カードにコピーする

❶ シーンを選んでコピーするとき （実行）をタッチする。

❷ 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

❸ 「OK」をタッチする。

保存

作品をコピーする

作品をカードにコピーできます。作品内のシーンは、レーティングで絞り込むことができます。コピー先には、カードが自動的に選ばれます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となる内蔵メモリーのギャラリー画面を出す（64）

3 作品を選ぶ

❶ 左右にドラッグして作品を選ぶ。

❷「作品詳細」をタッチする。

4 作品内のシーンを絞り込む

❶ 164ページの操作3の❷～❸を行う。

❷ をタッチする。

5 カードにコピーする

❶「作品編集」→「コピー 」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

中止するとき
「中止」をタッチする。

❸「OK」→ ⮌ をタッチする。

■ 静止画をコピーする

Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」(🕮211)を確認してください。

再生中の静止画をコピーする

1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 静止画再生中 コピー元となる静止画を選ぶ

- 内蔵メモリーに保存されている静止画を選ぶ。

3 液晶画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

保存

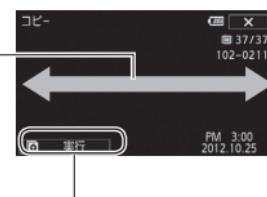
編集
内蔵メモリー→SD

×

4 コピーする

❶ 編集 →「コピー [内蔵メモリー→SD]」をタッチする。

- コピー画面が出る。
- 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

❷「実行」→「はい」→ × をタッチする。

静止画を選んでまとめてコピーする

1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となる内蔵メモリー静止画インデックス画面を出す（□64）

編集
内蔵メモリー→SD

3 コピーを選ぶ

編集 →「コピー [内蔵メモリー→SD]」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

静止画を選んでコピーするとき — 選択
すべての静止画をコピーするとき — すべての静止画

実行

5 静止画を選んでコピーするとき 静止画を選ぶ

❶ コピーする静止画をタッチする。

- シーンが選択され、☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、コピーする静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

❸ 実行 をタッチする。

6 カードにコピーする

❶「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

❷ OK をタッチする。

保存

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カメラモードを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ボタンを押さない。

- Eye-Fiカードをコピー先として静止画をコピーすると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（□235）。

コピーできない場合

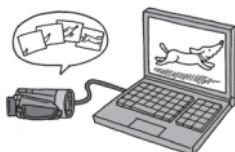
- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき（□301）。
- 付属のVideoBrowserで編集して本機に書き戻したシーンのとき。

- MP4動画または静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。

パソコンに保存する ビデオ 写真

撮影した映像は内蔵メモリーやカードに記録されます。万一に備えてパソコンに保存（バックアップ）しましょう。AVCHD動画はVideoBrowser、MP4動画や静止画はImageBrowser EXを使って保存します。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

ハイビジョン画質で動画を保存する（AVCHD動画）

付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、本機の内蔵メモリーやカード*[1]に記録された動画をパソコン*[2]に保存することができます。

*[1] SDXCメモリーカードをご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」（□31）をあらかじめご確認ください。

*[2] Windowsのみ。動作環境など詳細はソフトウェアの説明書（PDF）をご覧ください。

準備する

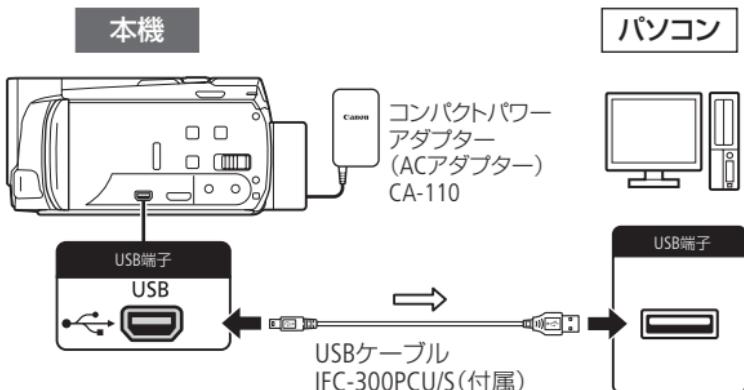
付属のソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにソフトウェアのインストールが必要です。

インストールについて

→ VideoBrowserインストールガイド

詳細について

→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

パソコンに保存する

1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2 本機 見るモードにする

3 本機とパソコンをつなぐ

付属のUSBケーブル

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

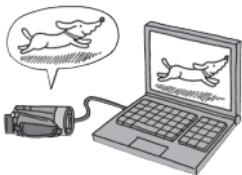
「すべて（パソコン）」をタッチする。

- パソコンの画面にVideoBrowserの起動画面が出る。

4 パソコン VideoBrowserを操作してパソコンに保存する

画面の案内に従って操作する。

参考 ▶▶ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

MP4動画/静止画を保存する

付属のソフトウェアImageBrowser EXを使って、撮影したMP4動画や静止画をパソコンに保存することができます。詳しくは、「ImageBrowser EXガイド」(PDF)をご覧ください。

準備する

はじめてMP4動画や静止画をパソコンに保存するときは、付属のソフトウェアImageBrowser EXのインストール*が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。また、お使いのパソコンにすでにImageBrowser EXがインストールされているときでも、本機に付属のCDでImageBrowser EXをインストールしてください。カメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加できることがあります。

* WindowsとMacintoshにインストールできます。インストールするときは、あらかじめパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

主なシステム要件

OS	Windows 7（SP1 32/64bit）	Windows Vista（SP2 32/64bit）	Windows XP（SP3 32bit）	Mac OS X（10.6）
CPU	Intel® Core™2 Duo　1.66 GHz 以上			Intel® Core™ Duo 2.00 GHz 以上
メモリ	1 GB以上（32bit） 2 GB以上（64bit）	1 GB 以上	1 GB 以上	1 GB以上

1 パソコン ImageBrowser EXをインストールする

❶ 付属の「キヤノンiVISディスク」をパソコンに入れる。

- インストール操作の画面が出る。
- Macの場合、デスクトップ上のディスクアイコン→ImageBrowser EXのアイコンをダブルクリックする。

❷ インストールする。
「おまかせインストール」または「選んでインストール」をクリックする。

- 以降は、画面の案内に従って操作する。
- Windowsの場合、ユーザーアカウント制御の画面出たときは、メッセージの案内に従って操作する。

❸ 正しくインストールできたか確認する。

- 以下の場所にImageBrowser EXのアイコンがあればインストール成功。

Windowsの場合
スタートメニュー→すべてのプログラム→Canon Utilities→ImageBrowser EX

Macの場合
デスクトップのDock

- ImageBrowser EXのアイコンがない場合は、インターネットへの接続を確認した上で、あらためてインストールする。

2 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

3 本機 見るモードにする

4 本機 MP4動画または静止画のインデックス画面に切り換える

- 内蔵メモリーまたはカードのインデックス画面に切り換える（□64）。

5 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▶ ImageBrowser EXガイドの「CameraWindowを使ってパソコンに画像を取り込む（EOS DIGITAL 以外）」

Windowsの場合

パソコンを操作してCameraWindowを起動する。

Macの場合

CameraWindowが自動で表示される。

パソコンに保存する

1 パソコン操作でMP4動画や静止画を保存する

参考 ▶ ImageBrowser EXガイドの「CameraWindowを使ってパソコンに画像を取り込む（EOS DIGITAL 以外）」

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - カードを抜き差ししない。
  - パソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作しない。記録したデータが破損するおそれがあります。メモリー内の動画や静止画をパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のVideoBrowserを使って行ってください。

- 本機のACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データが破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - カメラモードや📽⇆▶ボタンを操作しない。

- パソコンに保存した映像を本機に書き戻しているときは、次のことを必ず守ってください。本機に再生できないシーンが残ることがあります。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。

- パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、画像は必ずパソコンにコピーし、コピーした画像をパソコンで使用してください。

AVCHD動画を保存するとき

- AVCHD動画は作品ごとに複数選んでパソコンに保存することもできます。作品ごとに保存すると、作品内のシーンがすべて結合されます。

静止画を保存するとき

- Windows 7、Windows Vista、Windows XPやMac OS Xをお使いの場合は、付属のImageBrowser EXをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。
- AVCHD動画の見るモードでパソコンに接続すると、自動的にサムネイルの作成が始まります。その場合は以下の操作を行ってください。

  ① 本 機　「サムネイル作成中」の画面が表示されたら、スキップをタッチする

  ② パソコン　安全な取り外しを行い、USBケーブルを抜く。

  ③ 本 機　静止画見るモードに切り換え、パソコンと接続する。

ハイビジョン画質のディスクを作る

AVCHD動画では、付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、ハイビジョンのディスク*1を作成できます*2。VideoBrowserを使用せずに、市販のBD（ブルーレイディスク）レコーダーなどでハイビジョンのディスクを作るときは、はじめに撮影した映像をレコーダーにダビングします（□222）。ディスクの作り方については、お使いのレコーダーの説明書をご覧ください。

*1 BDやDVD（AVCHD規格）のディスク。
*2 パソコンに、書き込み可能なBDドライブまたはDVDドライブが必要です。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

■ パソコンを使って作る

付属のソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにVideoBrowserのインストールが必要です。ハイビジョン画質のディスクを作るときは、はじめにディスク作成に使う動画をパソコンに保存（□212）します。

インストールについて

→ VideoBrowserインストールガイド

詳細について

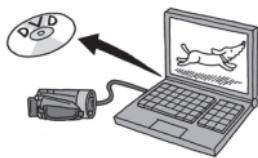
→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

標準画質のDVDを作る

AVCHD動画では、付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、標準画質のDVD（DVD-Video規格）を作成できます*。VideoBrowserを使用せずに、市販のDVDレコーダーなどで標準画質のDVDを作るときは、はじめに撮影した映像をレコーダーにダビングします（222）。ディスクの作り方については、お使いのレコーダーの説明書をご覧ください。作ったDVDはDVDプレーヤーなどで再生できます。

* パソコンに書き込み可能なDVDドライブが必要です。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

パソコンを使ってDVDを作る

付属のソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにVideoBrowserのインストールが必要です。DVDを作るときは、はじめにDVDに使う動画をパソコンに保存（212）します。

インストールについて

→ VideoBrowserインストールガイド

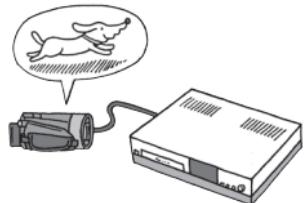
詳細について

→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

BDレコーダーなどにダビングする ビデオ 写真

撮影した映像を他のBD（ブルーレイディスク）レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブル（付属）でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書やホームページなどでご確認ください。

1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2 本機 見るモードにする

付属のUSBケーブル

3 本機とレコーダーをつなぐ

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「カード」または「内蔵メモリー」のいずれかをタッチする。

- ダビングする動画が記録されているメモリーを選ぶ。

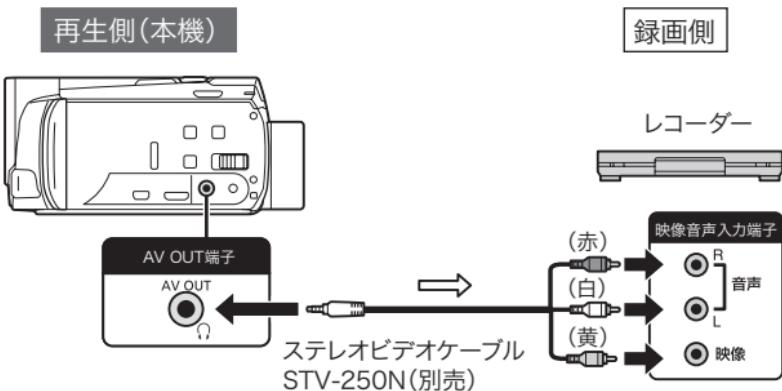
4 レコーダー ダビングする

参考 ▶ お使いのレコーダーの説明書

保存

標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのDVDレコーダーなどにダビングできます。画質は標準画質に変換されます。

接続する

ダビングする

1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2 本機 動画のインデックス画面またはギャラリー画面に切り換える（□64）

3 本機 セットアップメニューの設定を確認する

- 「AV/ヘッドホン」が「AV」になっていることを確認する（□302）。

4 レコーダー 録画一時停止状態にする

5 本機 シーンまたは作品をタッチして再生する

- セットアップメニューの「データコード表示」で、画面の日時表示を変更することができる（□297）。

6 レコーダー 録画を始める場面で、録画操作をする

7 レコーダー 録画を終える

■

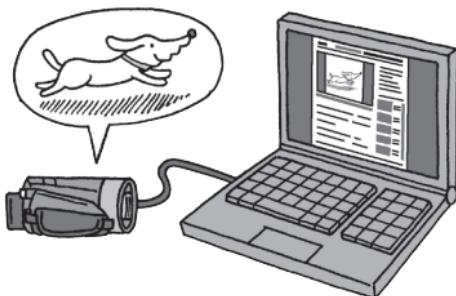
8 本機 再生を終える

液晶画面上をタッチ→［■］をタッチする。

インターネットにアップロードする ビデオ 写真

付属のソフトウェアVideoBrowserを使うと、AVCHD動画や標準画質（MPEG2形式）に変換したSD動画*を本機からパソコンに取り込んで、YouTubeやFacebookにアップロードできます。
MP4動画は、付属のMP4動画/静止画用ソフトウェアImageBrowser EXを使って、パソコンからアップロードすることができます。

* 変換した標準画質の動画を「SD動画」と呼びます。

AVCHD動画／SD動画をアップロードする

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

準備する

付属のソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにソフトウェアのインストールが必要です。

インストールについて

→ VideoBrowserインストールガイド

詳細について

→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

動画をSD動画に変換する

AVCHD動画を標準画質（MPEG2形式）のSD動画に変換（ダウンコンバート）することができます。変換は、内蔵メモリーからカードへコピーしながら行います。変換は、特定の日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて行うことや、作品内のシーンを絞り込んで行うことができます（□164）。また、変換前や変換中にデコレーション（□153）したり、あらかじめ選んでおいた音楽（BGM）をミックス（合成）したりすることもできます（□172）。

撮る **見る** | 記録形式 **AVCHD** MP4

1 カードスロットに保存先となるカードを入れる

2 内蔵メモリーのインデックス画面に切り換える（□64）

特定の日に撮った全シーンを変換するとき

左右にドラッグして、変換するシーンの日付を画面上部に出す。

編集

3 HD→SD変換を選ぶ

編集 → 「HD→SD変換[➔]」をタッチする。

4 いずれかの変換方法をタッチする

特定の日に撮ったシーンを変換するとき

シーンを選んで変換するとき

すべてのシーンを変換するとき

[実行]

5 シーンを選んで変換するとき シーンを選ぶ

❶ アップロードするシーンをタッチする。

- シーンが選択され、☑が付く。

- もう一度タッチすると選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、アップロードするシーンをすべて選ぶ。

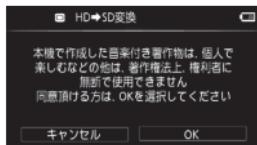
選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

❸ [実行]をタッチする。

6 設定を確認する

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、（OK）をタッチする。

- 確認画面が出る。

① ➡「ビットレート（画質）」をタッチする。

② 「9 Mbps」または「3 Mbps」をタッチ → ⮌を2回タッチする。

- 3Mbpsは9Mbpsよりデータ容量が小さくなるため、画質は低下するがアップロード時間が短くなる。

長いシーンを自動分割（10分ごと）するとき

① ➡「自動分割」をタッチする。

② 「入」をタッチ → ⮌を2回タッチする。

7 変換する

「次へ」をタッチする。

デコレーションするとき

をタッチ→デコレーションする（153）。

「BGMバランス」または「スピーカー音量」を調節するとき

① をタッチする。

② 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する。

③ をタッチする。

❷「START」をタッチする。

- 変換が始まり、シーンが再生される。
- 変換中にデコレーションすることもできる。

中止するとき

「STOP」（中止）をタッチする。

- 変換が終わると右の画面が出る。

❸ OK をタッチする。

● 変換には、撮影時間とほぼ同じ時間がかかります。なお、パソコンより短時間で変換できる場合が多いので、本機での変換をおすすめします。
● カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないときは変換できません（□301）。

変換したSD動画を再生するには

● 「SD SD動画」のインデックス画面に切り換え（□64）、シーンをタッチする。

■ 作品内のシーンを絞り込んでSD動画に変換する

ギャラリー画面から、作品内のシーンをレーティングで絞り込んでSD動画に変換（ダウンコンバート）します。

1 カードスロットに保存先となるカードを入れる

2 ギャラリー画面で変換するシーンを含む作品を選ぶ

左右にドラッグして作品を選ぶ。

保存

3 変換するシーンをレーティングで絞り込む

❶「作品詳細」→「再生レーティング」をタッチする。

❷ いずれかのレーティングをタッチ→⮌をタッチする。

4 HD→SD変換を選ぶ

「作品編集」→「HD→SD変換 [ ]」をタッチする。

5 設定を確認して変換する

228ページの操作6以降の操作を行う。

MEMO

作品をSD動画に変換する場合

- 作品内のシーンが1つのシーンとして結合される。
- 変換後のサイズが大きい場合、10分ごとに分割されて別々のシーンになる。（「自動分割」（📖228）を「入」に設定しているとき）
- 変換できる記録時間は、最長で12時間です。

パソコンに取り込んでアップロードする

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

1 本機とパソコンをつなぐ

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「すべて（パソコン）」をタッチする。

- パソコンの画面にVideoBrowserの起動画面が出る。

2 パソコン VideoBrowserを操作して動画を取り込み、アップロードする

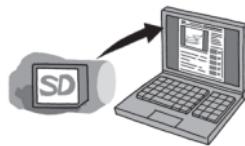
参考 ▶▶ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

保存

ご注意

- パソコンと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。

Eye-Fiカードを使ってアップロードする

動画のアップロードに対応したEye-Fiカード（市販）*を使うと、内蔵メモリーに撮影したAVCHD動画、MP4動画、変換したSD動画を自動的に動画共有サイトにアップロードできます。

* 無線LAN接続機能を内蔵したメモリーカードのこと。

撮る 見る　記録形式 AVCHD MP4

準備する

あらかじめ、Eye-Fiカードに付属している専用のソフトウェアをパソコンにインストールして、アップロードに必要な設定を行う必要があります。詳しくは、お使いのEye-Fiカードの説明書をご覧ください。

AVCHD動画をSD動画に変換してアップロードする

AVCHD動画はSD動画に変換してアップロードすることもできます。なお、Eye-Fiカードの種類によっては、AVCHD動画に対応していない場合があります。アップロード可能な動画の種類については、事前にお使いのEye-Fiカードをご確認ください。

1 Eye-Fiカードをカードスロットに入れる

- 事前に「ご注意」(□235)を確認してください。

2 シーンを選んで、SD動画に変換する

226ページの操作2～7を行う。

- 変換が終了すると、自動的にアップロードが始まる。

- MP4動画の場合は、変換の操作は不要。自動的にアップロードが始まる。
- Eye-Fiカードの通信状態は、次のマークで確認できる。

マーク	状態
(灰色)	未接続。
(白色点滅)	接続中。
(白色)	データの送信待機中。
(アニメーション)	データを送信中。
OFF	メニューの「Eye-Fi通信」を「切」に設定している。
	中断中。
	カード情報取得エラー(□246)。

保存

POINT Eye-Fi通信を無効にする

次の操作を行うと、Eye-Fi通信を無効にできます。

❶ HOMEボタンを押す。
❷「セットアップ」→［🔧］をタッチする。
❸「Eye-Fi通信」→「切」をタッチする。
❹ ✕をタッチする。

- 弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。
- 航空機の機内など、無線の使用が禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないでください。カードはあらかじめ本機から抜いてください。

● データの容量が大きいときや通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。また、通信状態が悪くなると、アップロードを中断することがあります。

電源について

■ Eye-Fiカードによる通信は、バッテリーの消耗を早めます。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずアップロードできます。
■ アップロード中は、セットアップメニュー「パワーセーブ」の「オートパワーオフ」は働きません。

● Eye-Fiカード使用中は、定期的にACCESSランプが点灯することがあります。

Eye-Fiカードの通信が行えない場合

次の場合、Eye-Fiカードによる通信は行えません。
■ 撮るモードのとき。
■ ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を取り付けているとき。
通信中に上記の状態になったときは、通信が自動的に止まります。

● Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にしていると、セットアップメニューの「Eye-Fi通信」で通信機能をON / OFFすることはできません。また、通信状態を表すマークは が表示されます。通信機能を使用するときは、誤消去防止ツマミのLOCKを解除してください。

■ MP4動画や静止画をアップロードする

ImageBrowser EXを使うと、本機からパソコンに取り込んだMP4動画はYouTube、静止画はFacebookにアップロードできます。また、CANON iMAGE GATE WAY(CiG)に登録（無料）すると、オンラインアルバムの公開やフォトブックの作成などのサービスを利用できます。

準備する

付属のソフトウェアImageBrowser EXをインストールしていないときは、はじめにインストールが必要です。

インストールについて

→ 215ページの準備する〜手順1をご覧ください。

詳細について

→ ImageBrowser EXガイド（PDF）*

* ソフトウェアと同時にインストールされます。

パソコンに取り込んでアップロードする

1 パソコン ImageBrowser EXを操作してMP4動画または静止画を取り込み、アップロードする

参考 ▶▶ ImageBrowser EXガイド（PDF）

MEMO

● ImageBrowser EXはWindowsとMacintoshにインストールできます。インストールに必要な主なシステム要件については、215ページをご覧ください。

Chapter 6

ふろく

故障かな？

修理に出す前にこの「故障かな？」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（□328）またはご購入になった販売店にご相談ください。

まずココを確認しよう！

電源

- □ バッテリーは充電されていますか？（□18）
- □ 本機とコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）は正しく接続されていますか？（□18）

撮影するとき

- □ 電源を入れて撮るモードにしていますか？見るモードになっているときは ボタンを押してください。
- □ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか？（□32）

再生するとき

- □ 電源を入れて見るモードにしていますか？撮るモードになっているときは ボタンを押してください。
- □ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか？（□32）

その他

- □ 本機を振るとカタカタ音がするときは？撮るモードにしたときに音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	18
	● バッテリーを正しく取り付け直す。	
	● 撮影モードを「水中」または「水上」に設定しているときに、ビデオカメラが高温になると、電源が自動的に切れることがある。	—
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃～40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0 ℃～40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。	18
	● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	328
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）から音がする。	● コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	📖
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	• バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	• 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 • メモリーに空き容量がない。またはAVCHD動画が3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 66 195 40
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	• START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	• 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 • レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	113 278
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	• 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	📖
動画の「●撮影／ ●II 撮影一時停止／ ▶再生」の切り換えに時間がかかる。	• シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	212 40
動画や静止画を正しく記録できない。	• 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	212 40
動画撮影中、静止画を記録できない。	• 次の場合は動画撮影中に静止画を記録できない。 ・カメラモードが [シネマアイコン]（シネマ）のとき。 ・ズーム倍率がデジタルズーム領域のとき。 ・フェーダー実行中のとき。	—
長時間使うと熱くなる。	• 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	328
作品が作成できない。	• 作品は、1つのメモリー内に98作品までしか作成できない。ギャラリー画面で不要な作品を消すか、動画の記録先を別のメモリーに切り換える。	71 38

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
作品内のシーンを並べ換えることができない。	• メモリーの空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	66 195

こんなときは	どうするの？	📖
シーンの消去ができない。	• 他機で記録・編集したシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	• シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	212 40
ビデオスナップを作成できない。	• MP4動画やSD動画のシーンでは作成できない。 • 他機で記録したシーンからは作成できない。 • メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	66 195
音楽と映像を組合せて再生した場合、正しく再生できない。	• 記録や消去を繰り返したメモリーに音楽を転送すると、このようになることがある。動画と静止画をパソコンに保存してメモリーを初期化する。音楽を転送し、動画や静止画を書き戻す。 • VideoBrowserを使って音楽を転送中に、USBケーブルが抜けると、本機で再生できない音楽ファイルになることがある。その曲を消去してから、転送し直す。 • カードの読み取り速度が遅い。推奨のカードを使う。	212 40 172 30
プレーヤーの音楽と連動して再生できない。	• オーディオプレーヤーの音量が小さいと、連動しないことがある。プレーヤーの音量を上げる。	—

こんなときは	どうするの？	📖
シーンを分割できない。	• MP4動画やSD動画のシーンは分割できない。 • 他機で記録・編集したシーンは分割できない。 • メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	— 66 195
シーンまたは静止画をコピーできない。	• 他機で記録したシーンや静止画はコピーできないことがある。	—
シーンまたは静止画を選択できない。	• シーンや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全シーン」または「すべての静止画」を使う。	—

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で [バッテリー] が赤く点灯する。	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	18
画面に [バッテリー?] が出る。	• 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
[SD] が赤く点灯する。	• カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 • カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	32 40 32 66 195

こんなときは	どうするの？	📖
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	• 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面に🌡が出る。	• 撮影モードを「水中」または「水上」に設定しているときに、ビデオカメラが高温になった。電源を切って涼しい場所で冷ます。	94
充電中にCHGランプが速く点滅する。	• ☀☀☀☀☀（0.5秒に1回の点滅）バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 • 周囲の温度が約0 ℃～40 ℃のときに充電する。 • バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	18
	• コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）、バッテリーに異常があるため、充電を中止した。カメラ修理受付センターにご相談ください。	328
画面に📶が出る。	• Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミが「LOCK」側になっている。LOCKを解除する。	33
	• Eye-Fiカードから情報が取得できなかった。本機の電源を入れ直す。頻繁に発生する場合は、カードの不具合の可能性がある。カードメーカーに問い合わせる。	—

ふろく

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
液晶画面が暗い。	● バックライトが低輝度設定になっている。明るくするときは、セットアップメニューから「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	27
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	19
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	270
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。撮影モードを**Tv**にしているときは**P**に切り換えると軽減する。故障ではない。	106
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。セットアップメニューの「マイクアッテネーター」を「オート」にするか、マイクレベルを手動で調整する。	131 296

こんなときは	どうするの？	📖
ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）で記録した音声が途切れる。	• Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にして、撮影中に通信が発生すると、このようになることがある。Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミのLOCKを解除する。	33
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	• スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 • HDMIケーブルやステレオビデオケーブルをはずす。 • セットアップメニューの「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。	60 — 302

アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	• 正しい向きでカードを入れる。	32
カードに記録できない。	• カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。 • はじめて使用するときは、カードを初期化する。 • カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 • 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。	32 66 195 40 33 30

こんなときは	どうするの？	📖
カードに記録できない。	• MP4動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、セットアップメニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	301
リモコンWL-D89（別売）が動作しない。	• セットアップメニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 • リモコンの電池を交換する。	305
Eye-Fiカードからアップロードできない。	• セットアップメニューの「Eye-Fi通信」が「切」になっている（画面に が出る）。「オート」にする。	303
	• 撮るモードのときと、ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を取り付けているときは、通信できない。見るモードに切り換える。WM-V1は取り外す。	58
	• 電波状況が悪いときは、液晶画面を開くと改善することがある。	—
	• 通信中に通信状況が悪くなると、通信が停止することがある（画面に が出る）。通信状況の良い場所に移動する。	—
	• カードメーカーに問い合わせる。	—

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	• テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	• テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	• HDMIケーブル（付属）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
HDMI機器制御機能が動作しない。	• 接続ケーブルを抜き差しし、本機とテレビの電源を入れ直す。	—
	• 本機の「HDMI機器制御」が「切」になっているので、「入」にする。	307
	• テレビのHDMI機器制御機能が無効になっているので、有効にする。	—
	• テレビによってHDMI機器制御機能でできることが異なる。テレビの説明書を確認する。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	• 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 • パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—

こんなときは	どうするの？	📖
静止画をパソコンに取り込めない。	● 内蔵メモリーまたはカードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Mac）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。	—
	● カードリーダーなどを使って取り込む。内蔵メモリーの場合は、静止画をカードにコピーしてからパソコンに取り込む。	208

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。ビデオライト使用時のメッセージについては263ページをご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
空き容量が不足しています	• カードの不要なシーンや静止画を消去するか、「ビットレート（画質）」を「3Mbps」に設定66る。	66 195 228
カードカバーがあいています	• カードを入れたらカードカバーを閉じる。	32
カードがありません	• カードを本機に入れる。	32
カードがいっぱいです	• カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	32 66 195
カード シーン数がいっぱいです	• カードにAVCHD動画が3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要なシーンを消す。	66
カードに書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？	• 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	18
カードにシーンがあるためリレー記録できません	• カードの動画をバックアップしたあと、カードの動画をすべて消去する。	212 66
カード 認識できない記録方式です	• カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	—

メッセージ	どうするの？	📖
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	33
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	33
カードへの書き込みが間に合わないため 記録を中止しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス2、4、6または10のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。	30 40
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。	32
	● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。	—
	● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。	30
	●「カードを確認してください」が4秒後に消えてSDが赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。SDが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	32 212 40

メッセージ	どうするの？	📖
キャンバスが保存できません	• キャンバスのデータを内蔵メモリーに書き込めない。動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。	212 40
キャンバスが読み込めません	• キャンバスのデータが壊れている。 • 他機で保存したキャンバスのデータは読み込めない。	—
記録できません	• ビデオスナップは、他機で記録したシーンから作れない。 • メモリーに異常があるため、記録できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	328
記録できません カードを確認してください	• カードに異常があるため、記録できない。 • カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	40
記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	• 内蔵メモリーに異常があるため、記録できない。 • 内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	40 328
このカードでは動画記録できないことがあります	• SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。SDスピードクラス2、4、6または10のカードを使用する。	30
このカードでは録画モードXP+/SP/LPを推奨します	• 録画モードをMXP/FXPにすると、動画が正しく記録できないことがある。	—

メッセージ	どうするの？	📖
このカードは動画記録できません	• 64 MB以下のカードは動画の記録・再生ができない。推奨のカードを入れる。	30
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください	• パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	40
このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください		
コピーできません	• カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。 • AVCHD動画が記録可能なシーン数（3999シーン）に達した。不要なシーンを消す。 • 記録可能な作品数（98作品）に達した。不要な作品を消す。	66 71
再生できない画像です	• 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	• メモリーに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	328

メッセージ	どうするの？	📖
再生できません カードを確認してください	• カードに異常があるため、再生できない。 • カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	40
再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	• 内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	40 328
作品数がいっぱいです	• 作品は、1つのメモリー内に98作品までしか作成できない。ギャラリー画面で不要な作品を消すか、動画の記録先を別のメモリーに切り換える。	71 38
サポートしていないギャラリー情報があります 録画、編集はできません ギャラリー情報を消去しますか？	• 選択中のカードに記録されている動画のギャラリー情報は、本機でサポートしていない形式のため、本機で録画・編集できない（再生のみ可能）。「はい」を選ぶとギャラリー情報を消去して録画できる。ギャラリー情報を消去すると、動画を記録したビデオカメラでギャラリーから再生できなくなる。	—
シーン数がいっぱいです	• 記録可能なシーン数（3999シーン）に達した。不要なシーンを消す。	66

メッセージ	どうするの？	📖
シーン番号を選択してください	● 動画管理情報が異なる同一日付が複数あった。日付変更線の付近で撮影したり、パソコンで編集したシーンを本機に書き戻したりすると、このようになることがある。いずれかを選択する。	—
時間が長すぎます	● HD→SD変換を行うシーンの合計記録時間が、12時間を超えている。変換するシーンを減らす。	226 230
消去ができないシーンがありました	● 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	● 内蔵メモリーまたはカードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
水中（水上）モードです ズームレバーを**T**または**W**側に押しながら電源を入れると、水中モードと水上モードが切り替わります	● 表示の操作を行うと、本機をウォータープルーフケースに入れたまま、撮影モードの「水中」と「水上」を切り換えられる。	94
スタンバイに入れません	● バッテリー残量が少なくなっているときは、スタンバイに入れない。バッテリーを充電する。	18

メッセージ	どうするの？	📖
静止画とMP4動画の総数が多すぎます USBケーブルをぬいてください	• メモリーに記録されているMP4動画/静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、MP4動画/静止画をカードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用してMP4動画/静止画をパソコンに移動する。または、不要なMP4動画/静止画の総数が以下の数量になるように消す（Windows：2500未満。Mac：1000未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。	208
	• OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることがある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	—
設定したレーティングのシーンがありません	• 作品内のシーンにレーティングが設定されていない。気に入ったシーンにはレーティングを設定する。	167
	• 絞り込みの結果、シーンが1つも残らなかった。絞り込みの条件（再生レーティング）を設定し直す。	164
テレビ方式が異なります 認識できません	• テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。	—
データを修復できませんでした	• 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、メモリーを初期化する。	212 40
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	• 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	212

メッセージ	どうするの？	
内蔵メモリーがいっぱいです	● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面に「END」が出る。不要なシーンを消すか、動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。	66 212 40
内蔵メモリーが認識できません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	328
内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	40
内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	328
内蔵メモリーに書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。	18
内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	40

メッセージ	どうするの？	📖
USB接続 電源をはずさないでください パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください	• 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 • コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。	—
USB接続 電源をはずさないでください 書き込みできない接続方法です 書き込む場合はコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を接続してからUSBを接続しなおしてください パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください	• コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつながないで、USBケーブルでパソコンに接続したときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 • 本機のメモリー内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を接続してから、USBケーブルを接続しなおす。	—
バックライトが低輝度に設定されています セットアップの「液晶バックライト」で変更できます	• 明るくするときは、セットアップメニューから「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	27

メッセージ	どうするの?	
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか?	• キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 • キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	328
バッテリーパックを取り替えてください	• バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	18
ファイル名が作成できません	• フォルダー番号やファイル番号が最大になった。MP4動画と静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、MP4動画と静止画をすべて消す。	301 40 195
分割できません	• 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。動画と静止画をパソコンに保存して、記録メモリーを初期化する。シーンを本機に書き戻して、再度分割を行う。	212 40
分割できません 初期化が必要です		
変換できないシーンがあります	• 変換元に、他機で記録した24p方式のシーンが含まれている。他機で記録したシーンを変換対象からはずす。	—

メッセージ	どうするの？	📖
変換できません	• カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 • マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 • 変換するシーンの総記録時間が短すぎる。合計0.5秒以上シーンを選ぶ。 • ファイル名が作成できなかった。セットアップメニューの「ファイル番号」を「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画とSD動画をすべて消す。	32 30 — 301 40 195
本機で記録したシーンではありません コピーできません （再生できません） （分割できません）	• 他機で記録したシーンは再生、コピー、分割できない。 • ソフトウェアなどで編集したシーンは、コピー、分割できない。	—
本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります	• 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—
本機で初期化してお使いください	• メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。	40

■ ビデオライト使用時

メッセージ	どうするの?	📖
このバッテリーではビデオライトは使用できません	• 本機に付属のバッテリーパックBP-718またはBP-727(別売)を取り付けて使用する。	282 284
コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)接続状態ではビデオライトは使用できません	• コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)を接続してビデオライトは使用できない。十分に充電したバッテリーを取り付けて使用する。	18
バッテリー残量が不足しているためこの𝓢アクセサリーは使用できません	• バッテリー残量が少なくなっているため、アクセサリーに電源を供給することができない。十分に充電したバッテリーを取り付ける。	21

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

▶

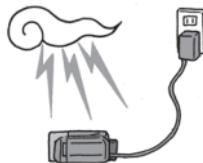
バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（□328）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告　死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

➤ 火災　感電　けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災　感電　やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

➤ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。

禁止

➤ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。

➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーを熱しない、火中投入しない。

➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

禁止

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC ／ ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。

➤ 火災 感電 けが

壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しない。

➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

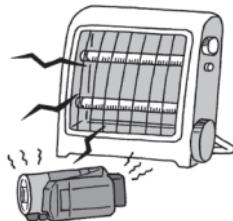
➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入るおそれあり。

ふろく

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60 ℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

➤

発熱や破裂のおそれあり。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。➤ けが

落下、転倒のおそれあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。

➤ 感電 失明 けが

スタイラスペン（付属）の誤飲や、スタイラスペンの先端で目をつつくことによる失明やけがのおそれあり。このようなときは、すぐに医師に相談。

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

➤ 火災

内部に熱がこもるおそれあり。

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

➤ 火災 感電

強制

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。

➤ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。

➤ けが 交通事故

⚠注意　傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。

強制

コード類は、つまずかないように配置する。➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが

航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、航空機の計器に影響を与えるおそれあり。

注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。

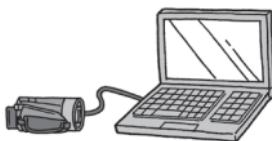
撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こすおそれがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、BD（ブルーレイディスク）レコーダーなどにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

太陽にレンズを向けない

太陽や強いライトなどにレンズを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を...

つかんでもちあげない

➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなどスタイラスペン（付属）以外のとがったものでタッチしない

➔ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

➔ タッチパネルの表示がムラになったり、液晶画面の接合部が破損することがあります。

保護シートなどを貼らない

➔ タッチパネルは圧力を感知するタイプのため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

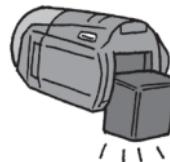
インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（□284）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャー CG-700（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

POINT 使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10 ℃～30 ℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30 ℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ カード

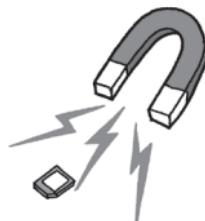
データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷･消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

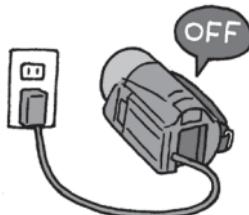
ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② 本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度内蔵メモリー またはカードの完全初期化（📖40）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

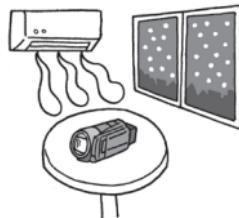
- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

ふろく

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com

○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

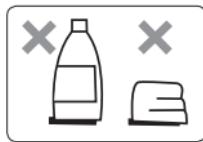
○ 被覆をはがさないでください。

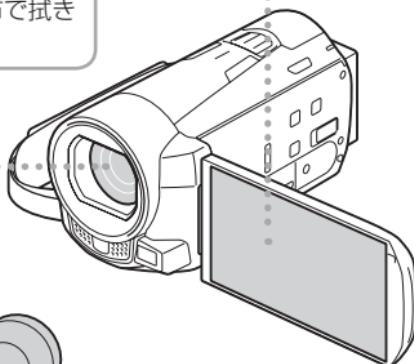
○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

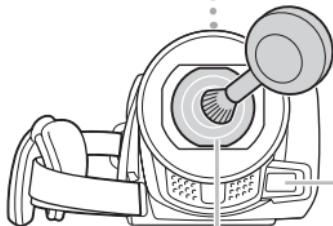
本体がよごれたときは

柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。

液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

レンズ

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

自動でピントが合わない？
レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100～240 V 50／60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。

コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

国や地域によって変換プラグが異なります

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
カナリア諸島	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米		プエルトリコ	A	クウェート	B. C	ザンビア	B. BF
アルゼンチン	BF. C. O	ブラジル	A. C	ヨルダン	B. BF	タンザニア	B. BF
コロンビア	A	ベネズエラ	A			南アフリカ共和国	B. C. BF
ジャマイカ	A	ペルー	A. C	●アフリカ		モザンビーク	C
チリ	B. C			アルジェリア	A. B.BF. C	モロッコ	C
ハイチ	A	●中近東		エジプト	B. BF. C		
パナマ	A	イスラエル	C	ギニア	C		
バハマ	A	イラン	C	ケニア	B. C		

■ テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像を現地時間で記録できます。

1. HOMEボタンを押す。

2. 「セットアップ」→［ ］をタッチする。

3. 上下にドラッグして、「エリア/サマータイム」をオレンジ色のバーに合わせ、オレンジ色の ▷ をタッチする。

4. ✈をタッチする。

5. ▲/▼ をタッチして、旅行先を選ぶ。

旅行先がサマータイムのとき

☀をタッチする。

6. ⮌ をタッチする。

7. 上下にドラッグして、「日付/時刻」をタッチする。

8. 「時計を合わせる」（📖29）の操作2を行う。

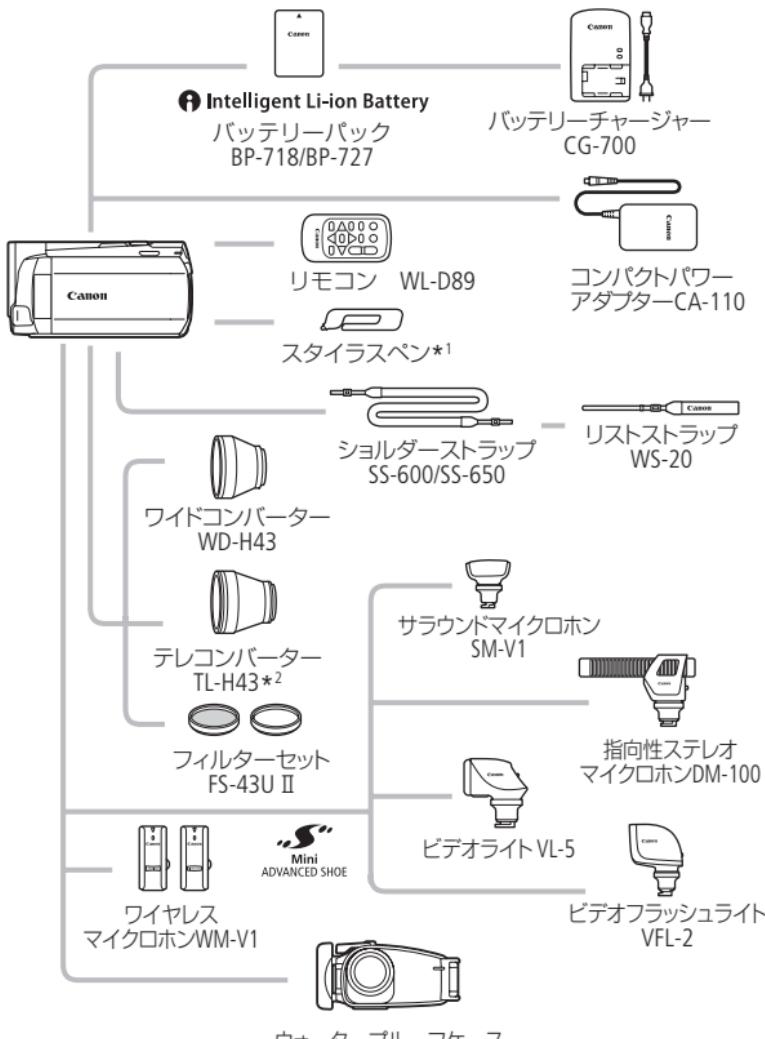
9. ✕ をタッチする。

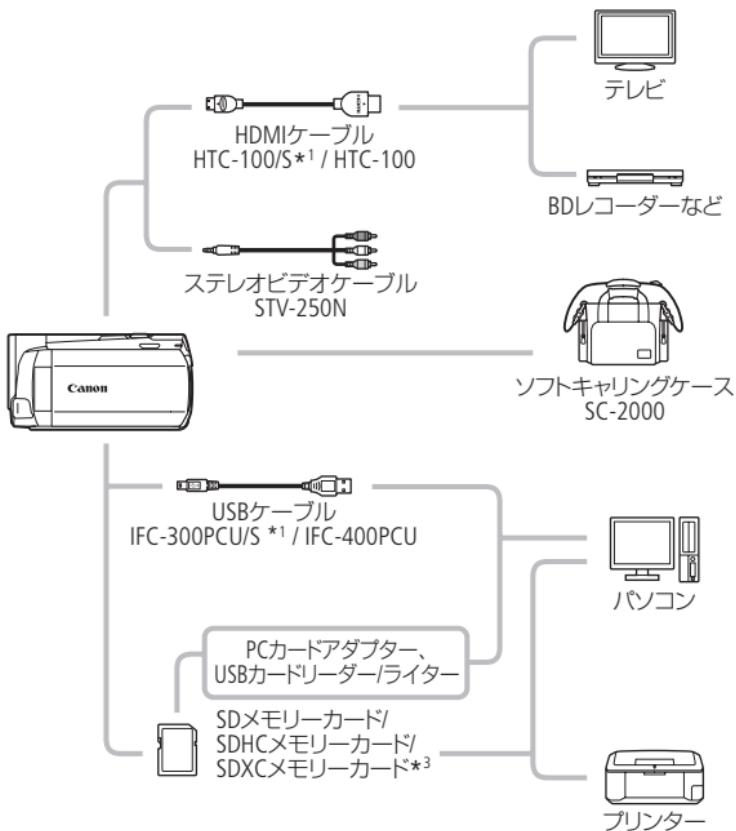
旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作4で、🏠をタッチする。

2. ✕ をタッチする。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

*1 本機の付属品です。別売していません。

*2 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約3.3 mとなります。

*3 ご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」(□31)をあらかじめご確認ください。

- **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
  本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機の「ミニアドバンストシュー」には取り付けられません。本機には、右記のマークが表示されているミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。

Mini
ADVANCED SHOE

Intelligent Li-ion Battery

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-718/BP-727(別売)は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャー CG-700(別売)でのみ使用/充電できます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

撮影設定／編集メニューの紹介

撮影時の設定に使用する撮影設定メニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。ご購入時、撮影設定メニューは……… がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、□欄のページをご覧ください。

■ 撮影時に使う「撮影設定メニュー」

機能	設定内容	AVCHD AUTO	AVCHD M	AVCHD 動画	MP4 AUTO	MP4 M	MP4 動画	□
撮影モード	P（プログラムAE）、Tv（シャッター優先AE）、Av（絞り優先AE）		●	●		●	●	91
	ポートレート、スポーツ、夜景、スノー、ビーチ、夕焼け、ローライト、スポットライト、打上げ花火、水中、水上		●			●		92
WB ホワイトバランス	AWB オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H 電球、セット		●	●		●	●	118
フォーカス	MF マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●		●	●	113
露出	MF マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●		●	●	109
パワードIS	ON 入、OFF 切*1	●	●	●	●	●	●	96

機能	設定内容	AVCHD			MP4			📖
		AUTO	M		AUTO	M		
ZOOM ズーム	ズーム操作 START/STOPボタンによる動画撮影/一時停止 テレマクロ：ON、OFF*2	●	●	●	●	●	●	52 116
AUDIO オーディオシーン	スタンダード 音楽、スピーチ、 森と野鳥、 ノイズカット、 カスタム*2	●	●	●	●	●	●	124
マイクレベル	**A**オート、**M**マニュアル オートのとき：レベルメーター 入/切		●	●		●	●	131
AGC AGCリミット	**A**オート、**M**マニュアル		●	●		●	●	111
ピクチャー設定	色の濃さ、 シャープネス、 コントラスト、明るさ		●			●		121
フェーダー	エフェクト切、 F1 オートフェード1回、 F1 オートフェード毎回、 F2 ワイプ1回、 F2 ワイプ毎回		●	●		●	●	104

ふろく

機能	設定内容	AVCHD			MP4			📖
		AUTO	M	シネマ	AUTO	M	シネマ	
デコレーション	ペン&スタンプ、アニメーション、日時&タイトル	●	●	●	●	●	●	153
	画像ミックス ON / OFF	●	●					
	画面静止	●	●					
	ツールバー移動	●	●	●	●	●	●	
プレREC	ON 入、OFF 切		●	●				97
録画チェック	—		●	●		●	●	83

*1 初期設定は、AUTO（オート）のときON、M（マニュアル）、シネマ（シネマ）のときOFF。

*2 M（マニュアル）、シネマ（シネマ）のみ。

■ 再生時に使う「編集メニュー」

1シーンごと、選んだシーン、全シーン、特定の日に撮ったシーンなど、表示している画面によって、操作できる動画／静止画の数が異なります。

動画

機能	AVCHD 動画	MP4 動画	SD動画	インデックス画面からの再生一時停止中	📖
コピー [内蔵メモリー➔SD]	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	選択シーン、全シーン	—	—	204
HD→SD変換 [内蔵メモリー➔SD]	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	—	—	—	226
消去	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	選択シーン、全シーン	1シーン、全シーン	1シーン	66
分割	—	—	—	●	188

ふろく

機能	AVCHD ギャラリー		ギャラリー画面からの再生一時停止中	📖
	「作品詳細」→「作品編集」	「シーン一覧」→「シーン編集」		
コピー [➔]	作品*[1]	—	—	207
HD→SD変換 [➔]	作品*[1]	—	—	230
消去／🗑	レーティングで絞り込んだシーン	1シーン	1シーン	69
作品消去*[2]	作品と作品内の全シーン	—	—	71
作品サムネイル*[2]	●	—	—	179
タイトル編集*[2]	●	—	—	180
コピー	—	1シーン	—	177
移動	—	1シーン	—	177
分割	—	—	●	188
レーティング	—	「★★★」、「★★•」、「★••」、「•••」（未評価）、「ーーー」（NG）		167

*[1] 作品内のシーンをレーティングで絞り込み可能。

*[2] 「未分類」または「ビデオスナップ」では行えない。

静止画

機能	静止画		📖
	インデックス画面	再生中	
コピー [➔]	選択した静止画、全静止画	1枚	208
消去	選択した静止画、全静止画	1枚	195

ふろく

● 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

セットアップメニューの紹介

撮影、再生、記録形式によってそれぞれ設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、……….の内容に設定されています。各機能の詳細は、□欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」(□84)をご覧ください。

カメラ設定*1

機能	設定内容	AVCHD	MP4	□
セルフタイマー	ON 入、OFF 切	●	●	122
デジタルズーム*2	OFF 切、40x 40x、200x 200x	●	●	—
ズームスピード	VAR 可変速、スピード3、スピード2、スピード1	●	●	54
AFモード	S.AF ハイスピードAF AF ノーマルAF	●	●	—
フォーカスアシスト*3	ON 入、OFF 切	●	●	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、OFF 切	●	●	99
自動逆光補正	ON 入、OFF 切	●	●	110
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	●	●	—
コンバージョンレンズ	Tele テレコン Wide ワイドコン OFF 切	●	●	—
フェーダー設定*3	BLACK 黒、WHITE 白	●	●	104

機能	設定内容	AVCHD	MP4	📖
マーカー表示	OFF 切、水平（白）、水平（グレー）、グリッド（白）、グリッド（グレー）	●	●	—
手ブレ補正	ダイナミック、スタンダード、OFF 切	●	●	95
オートウィンドカット*3	H 強 L 弱 OFF 切	●	●	129
マイクアッテネーター *3	A オート、ON 入 ATT	●	●	—
MIC端子入力選択*3	LINE 外部音源、MIC マイク	●	●	134
音声ミックス*3	OFF 切 ON 入 ミックスバランス INT EXT	●	●	134
内蔵マイク周波数特性*3	NORM ノーマル LB 低域強調 LC 低域カット MB 中域強調 LHB 低高域強調	●	●	126
内蔵マイク指向性*3	2ch MONO モノラル NORM ノーマル 2ch WIDE ワイド 2ch ZOOM ズーム	●	●	127

ふろく

機能	設定内容	AVCHD	MP4	📖
サラウンドマイク*3*4	5.1ch サラウンド 5.1ch ZOOM ズーム 5.1ch GUN ショットガン	●		—
サラウンドマイクATT*3*4	ON 入 ATT、 OFF 切	●		—

*1 AUTO(AUTO)モードでは、選択できません。

*2 (シネマ)モードでは選択できません。

*3 動画のみ。

*4 サラウンドマイクロホンSM-V1(別売)に付属のSDカードを使って、本機のファームウェアをバージョンアップしたときのみ、表示されます。

デジタルズーム

デジタルズームの倍率（最高倍率）を選びます。

- デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- ズーム表示は、10倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色で表示します。

AFモード

ピントが合う速さを選びます。

ハイスピードAF	遠くの被写体と近くの被写体を交互に撮る、動いている子供を追いかけて撮るなどの状況でも素早くピントを合わせる。
ノーマルAF	ワイドコンバーターやテレコンバーター（ともに別売）を取り付けると、ハイスピードAFセンサー（□16）を隠してしまうので、そのような場合などに使用する。

- 別売のウォータープルーフケースWP-V4に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（□315）をご覧ください。

フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（□113）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大して表示します。

- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」（89）が「PF30」または「30P」のときは1/15秒に、「PF24」または「24P」のときは1/12秒に設定されます。
- 撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定でき、AUTO（オート）モードに切り換えても設定は変わりません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V4に入れて撮影するときは、「水中／水上モードの制限事項」（315）をご覧ください。

コンバージョンレンズ

別売のテレコンバーター TL-H43（テレコン）やワイドコンバーター WD-H43（ワイドコン）を取り付けるときに設定すると、それぞれに適した手ブレ補正が行われます。「切」以外に設定すると、セットアップメニューの「AFモード」が自動的に「ノーマルAF」に設定されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画/静止画には表示されません。

マイクアッテネーター

録音した音声がひずむときに使います。

- 外部マイク使用時やオーディオシーンの「カスタム」を選択しているとき設定できます。

オート	カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入/切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できます。
入：ATT	アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面に **ATT** が出ます。

- サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）を取り付けているときは、設定できません。「サラウンドマイクATT」で設定してください。

サラウンドマイク

サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）の設定を選びます。

サラウンド	通常の5.1ch録音。
ズーム	5.1ch録音。録音時の音量がズームレバーに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。
ショットガン	マイク正面の音声を重点的に記録する5.1ch録音。

サラウンドマイクATT

サラウンドマイクロホンを使用して録音した音声がひずむときに使います。「入」にすると画面に **ATT** が出ます。

- サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）を装着しているときのみ設定できます。

/ 再生設定

機能	設定内容	動画	再生	📖
BGM選択	OFF 切、ON 入（MUSIC_01～XX） BGMバランス：	●	●	172
外部音源入力	OFF 切、ON 入 入のとき：音源連動再生　入／切	●	●	174
データコード表示	AVCHD動画： OFF 切、日付、時刻、日付＆時刻、カメラデータ	●	●	75
	MP4動画：OFF 切、日付	●	●	
スライドショーエフェクト	OFF 切、クロスフェード、スライド		●	200
テレビタイプ*1	4:3 4：3テレビ、16:9 ワイドテレビ	●	●	—

*1 AVCHD動画のみ。

データコード表示

日付や時刻、カメラデータ（しぼり値とシャッタースピード）など、再生中に表示する撮影情報を選びます（📖75）。

テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N（別売）でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4：3テレビ	4：3テレビに接続するときに選ぶ。
16：9ワイドテレビ	ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- 「4：3テレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。
- HDMIケーブル（付属）で他の機器に接続しているときは、設定できません。

記録/接続設定

機能	設定内容	AVCHD	MP4			
動画記録先	（内蔵メモリー）	●	●			38
	（カード）	●	●			
	リレー記録：OFF（切）、→	●				
録画モード	AVCHD動画：MXP高画質モード24Mbps、FXP高画質モード17Mbps、XP+高画質モード12Mbps、SP標準モード7Mbps、LP長時間モード5Mbps	●				86
	MP4動画：9Mbps、4Mbps		●			
フレームレート*1	60i 標準（60i）	●				89
	PF30 PF30	●				
	PF24 PF24	●				
	30P 30P		●			
	24P 24P		●			

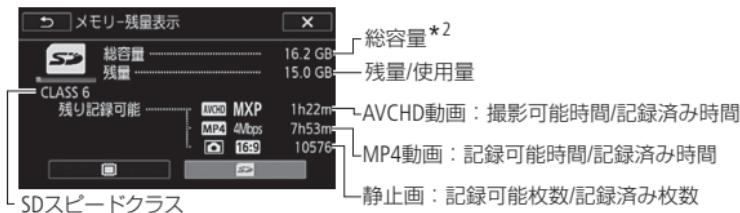
機能	設定内容	AVCHD	MP4	再生(動画)	再生(写真)	📖
静止画記録先	(内蔵メモリー)、(カード)	●	●	●*2		38
あとからフォト*3	単写、連写			●*2		185
ビデオスナップ記録時間*1	2sec 2秒 、4sec 4秒、8sec 8秒	●		●*2		152
撮影時レーティング*1	ON 入、OFF 切	●				167
メモリー残量表示	(内蔵メモリー)、(カード)	●	●			300
メモリー使用量表示	(内蔵メモリー)、(カード)			●	●	300
x.v.Color*1	ON 入 color、OFF 切	●				79
ファイル番号	オートリセット、通し番号	●	●	●	●	—

*1 AUTO(オート)モードでは、選択できません。
*2 AVCHD動画のみ。

撮影時レーティング

「入」にすると、1つのシーンを撮影後にレーティングを設定する画面が表示されます。

メモリー残量表示/メモリー使用量表示

内蔵メモリーやカードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*[1]、静止画の記録枚数/記録可能枚数*[1]を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

例：メモリー残量表示/カード記録の場合の画面を載せています。

*[1] 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズ（1920×1080）をもとに算出します。

*[2] 実際に使用できる内蔵メモリーの容量は、主な仕様に記載の容量より若干少ないことがあります。

x.v.Color

広い色空間で動画を記録。目で見た色に近い映像を再現します。

- **x.v.Color**に対応したテレビにHDMIケーブル（付属）でつないで再生するときのみ、「入」にして撮影してください。**x.v.Color**非対応のテレビで再生すると、色が正しく表現されないことがあります。

ファイル番号

個々のMP4動画/静止画に付けられる番号（ファイル番号）の付けかたを選びます。撮影されたMP4動画/静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順に番号が付けられ、メモリー内のフォルダーに保存されます。

オートリセット	初期化されたメモリーに記録する場合、ファイル番号は常に101-0101から始まる。メモリー内にすでにMP4動画/静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	ファイル番号は、最後に記録したMP4動画/静止画の続き番号から始まる。ただし、メモリーに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーにはMP4動画と静止画を合わせて100ファイルまで保存することができ、それを超えると自動的に新しいフォルダーが作成されます。
- ファイル番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）と静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。
  * ファイル番号の範囲は、上3桁が101～998、下4桁が0101～9900です。
- MP4動画/静止画が記録されたカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「101-0107」のMP4動画または静止画の場合、「DCIM ￥101CANON」というフォルダーの中に「MVI_0107.MP4」または「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

システム設定

機能	設定内容	AVCHD	MP4	再生(動画)	再生(写真)	📖
オンスクリーン表示*[1]	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	—
言語	日本語、ENGLISH	●	●	●	●	—
液晶明るさ調整	☀ ――― ☀	●	●	●	●	—
液晶バックライト	H 高輝度、M 通常、L 低輝度	●	●	●	●	—
液晶対面ミラー	ON 入、OFF 切	●	●			—
AV/ヘッドホン	AV AV、ヘッドホン	●	●	●	●	136
音量	スピーカーのとき： ――― 、OFF			●	●	60
	ヘッドホンのとき： ――― 、OFF	●	●	●	●	136
おしらせ音	大、小、OFF 切	●	●	●	●	—
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	34
カスタムボタン*[1]	撮影設定メニューから選択可。初期設定は（パワードIS）、AUTO 時は（デコレーション）	●	●			
デコレーション自動起動	ON 入、OFF 切	●	●			—
パワーセーブ	オートパワーオフ：ON 入、OFF 切 クイックスタンバイ：切、10分、20分、30分	●	●	●	●	—

ふろく

機能	設定内容	AVCHD	MP4			
初期化 /	内蔵メモリー、カード初期化、完全初期化	●	●	●	●	40
エリア/サマータイム	エリア：(自宅)、(旅行先)、サマータイム：ON、OFF	●	●	●	●	281
日付/時刻	日付/時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	●	●	●	●	29
バッテリー情報	—	●	●	●	●	—
HDMI機器制御*1	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	—
HDMI出力状態*1	—	●	●	●	●	—
フォーカス距離単位*1	m メートル、ft フィート	●	●			—
デモモード*1	ON 入、OFF 切	●	●			—
Firmware	—				●	—
設定初期化	—	●	●	●	●	—
Eye-Fi通信*2	A オート、OFF 切			●	●	235

*1 AUTO（オート）モードでは、選択できません。
*2 Eye-Fiカードをカードスロットに入れると表示されます。

オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

言語

画面に表示される言語を変えます。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ☀または☀をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶バックライト

「**H** 高輝度」、「**M** 通常」、「**L** 低輝度」のいずれかを選んで、明るさを切り換えます。暗所での撮影など、周囲に配慮したいときなどに使います。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶対面ミラー

液晶画面をレンズ側に向けて、被写体に画面を見せながら撮るときなどは「入」にします。「入」にして、液晶画面をレンズ側に向けたときは、デコレーションすることはできません。

おしらせ音

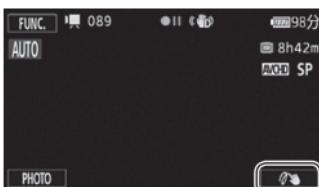
電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。音を鳴らしたくないときは、セットアップメニューの「おしらせ音」で「切」を選びます。

- プレREC（📖97）を「ON」にしていると、おしらせ音は鳴りません。

リモコンセンサー

別売のリモコン（📖34）の信号を受け付けるかどうかを設定します。

カスタムボタン

撮影設定メニューから、よく使う機能を選んで設定できます。設定すると選んだ機能がショートカットとして登録され、画面上のカスタムボタンに割り当てられます。

選択した「撮影設定」のメニュー項目のショートカット

デコレーション自動起動

「ON」にした場合、液晶画面を反転して（表側にして）閉じると、自動的にデコレーションモードに切り換わります。

パワーセーブ

オートパワーオフ

バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「❗オートパワーオフ」が表示されます。表示中に何らかの操作をすると解除されます。
- スタンバイ中は、「クイックスタートスタンバイ」(下記参照)の設定時間が優先されます。

クイックスタートスタンバイ

スタンバイ中に自動的に電源が切れる時間を設定します。「切」にするとスタンバイ状態になりません。

エリア/サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できます。設定は、🏠または✈を選んだあと、▲または▼をタッチして地域を選びます。選んだ地域がサマータイムを導入しているときは☀(サマータイム)をONにします。

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影/再生可能時間(分単位まで)を確認できます。

ふろく

HDMI機器制御

HDMI機器制御機能（HDMI CEC*）対応のテレビとHDMIケーブル（付属）でつないだとき、テレビとビデオカメラの操作を連動させることができます。

- 「入」に設定した後にテレビにつなぐと、テレビ側の入力が自動的にビデオカメラを接続しているHDMI端子に切り換わり、テレビのリモコンで映像を再生できます。リモコンの▲/▼/◀/▶のボタンを押してシーンまたは静止画を選び、決定ボタンを押すと再生します。
- テレビによってはHDMI機器制御機能を有効にする必要があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能に対応したテレビであっても、正しく操作できないことがあります。その場合は、本機の「HDMI機器制御」を「切」にして、ビデオカメラ側で操作して再生してください。
- HDMI機器制御機能は、本機が動画/静止画の見るモードの場合に使用できます。撮影時に使用すると、本機が撮影中でも、テレビの電源OFFに連動して、ビデオカメラの電源が切れることがあります。
- 同時に接続するHDMI機器は、3台以内にすることをおすすめします。
- HDMIケーブル（付属）で他の機器に接続しているときは、設定できません。

* HDMI CECとは、HDMI規格で決められた相互機器制御機能のことです。

HDMI 出力状態

現在のHDMI OUT端子の出力状態を確認できます。

フォーカス距離単位

マニュアルフォーカスでピント（フォーカス）合わせを行うと、画面に被写体までの距離が表示されます。この距離表示の単位を選びます。

デモモード

機能紹介（デモモード）の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- 何らかの操作をするとデモモードは終了します。

Firmware

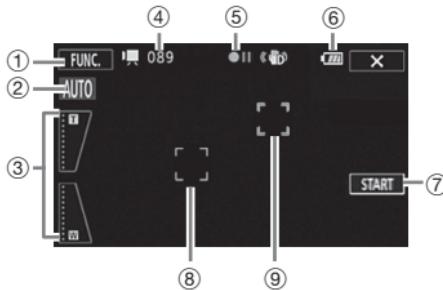
ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

- Firmware（ファームウェア）とは、機器を制御するために組み込まれたソフトウェアのことです。ビデオカメラでは、このFirmwareによって、撮影や画像処理などの動作が行われます。
- 通常は灰色で表示されます。

画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。■ 内の数字は参照ページです。

■ 撮影のときの画面

AUTO オートモードのとき

AUTO オートモードのとき（シナリオ撮影時）

① FUNC.メニュー／PHOTOボタン* 285
* ズームボタン表示時

② こだわりオート 47

③ ズームボタン 53

④ 撮影シーン数／撮影時間（時：分：秒）

⑤ 撮影状況 312

⑥ バッテリー残量の目安 312

⑦ START/STOPボタン 45

⑧ 顔検出枠 99

⑨ タッチ追尾枠 102

⑩ ガイドボタン 146

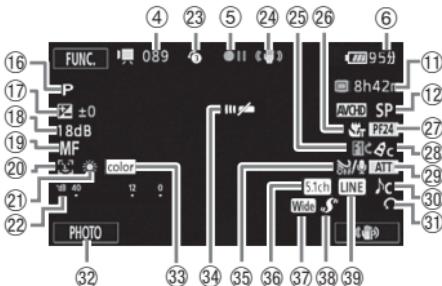
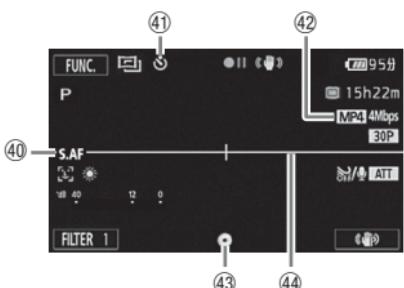
⑪ 撮影可能時間 312

⑫ 録画モード 86

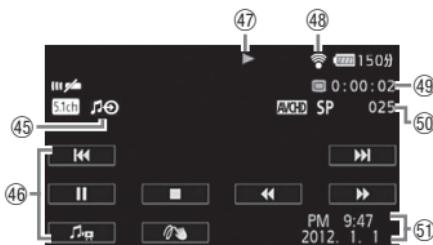
⑬ おすすめ撮影時間（秒） 145

⑭ シナリオシーン 145

⑮ カスタムボタン 305

Mマニュアルモードのとき

シネマモードのとき

⑯ 撮影モード 91
⑰ 露出 109
⑱ AGCリミット 111
⑲ フォーカス 113
⑳ フェイスキャッチ&追尾 99
㉑ ホワイトバランス 118
㉒ レベルメーター 131
㉓ プレREC 97
㉔ 手ブレ補正 95
㉕ フェーダー 104
㉖ テレマクロ 116
㉗ フレームレート 89
㉘ ピクチャー設定 121
㉙ マイクアッテネーター 296
㉚ オーディオシーン 124
㉛ ヘッドホン 136
㉜ PHOTO(フォト)ボタン 46 81
㉝ x.v.Color 300
㉞ リモコンセンサー 34
㉟ オートウィンドカット 129
㊱ サラウンドマイク 296
㊲ コンバージョンレンズ 295
㊳ ミニアドバンストシュー 138
㊴ 外部音源入力 174
㊵ ハイスピードAF 294
㊶ セルフタイマー 122
㊷ 記録形式 36
㊸ ピント・露出の固定状態 46
㊹ マーカー 295

■ 再生のときの画面

動画のとき（操作ボタン表示時）

静止画のとき（操作ボタン表示時）

㊺ 外部音源入力 174

㊻ 操作ボタン
（AVCHD動画） 60

㊼ 再生状況 312

㊽ Eye-Fi 234

㊾ 再生時間（時：分：秒）

㊿ 再生シーン番号

51 データコード 297

52 操作ボタン
（静止画） 193

53 表示枚数/全枚数

54 ファイル番号 301

⑤ 撮影状況/㊼ 再生状況

●：撮影 (録画)　●II：撮影一時停止　▶：再生　II：再生一時停止
▶▶：早送り　◀◀：早戻し　◀I/I▶：逆スロー再生／スロー再生*
◀II/II▶：コマ戻し／コマ送り
*分割時は、連続したコマ戻しのように再生されます。

⑥ バッテリー残量の目安

バッテリーの残量の目安をマークで表示します。バッテリーの残量が少なくなると が黄色く表示されます。また、 が赤く表示されたときは、バッテリーが消耗していますので充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

⑪ 撮影可能時間

メモリーに空きがなくなると、「END」または「END」が赤く点灯し、停止します。

ふろく

主な仕様

iVIS HF M51 システム

内蔵メモリー／カード記録	動画： ① AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG-4 AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch Dolby Digital 5.1ch*[1] ② MP4準拠 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：MPEG-2 AAC-LC（2ch） 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠 静止画圧縮方法：JPEG
信号方式	AVCHD：1080/60i* MP4：720P
記録メモリー	内蔵メモリー（容量：32 GB）、 SD／SDHC／SDXCメモリーカード
録画／再生時間の目安	32GB内蔵メモリー AVCHD（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 2時間55分、4時間10分、5時間45分、 9時間35分、12時間15分 MP4（9Mbps、4Mbps）： 7時間40分、16時間55分 16 GBメモリーカード AVCHD（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 1時間25分、2時間5分、2時間50分、 4時間45分、6時間5分 MP4（9Mbps、4Mbps）： 3時間50分、8時間25分
撮像素子	1/3型CMOS、総画素数　約237万画素 有効画素　動画／静止画：　約207万画素（1920×1080）
液晶画面	3型TFTワイドカラー液晶（約23万ドット）、タッチパネル
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク、指向性切り換え可

*1 サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）使用時。

* セットアップメニューの「フレームレート」を「PF24」または「PF30」に設定しているときは、60iに変換して記録します。

レンズ	f=6.1－61mm　F=1.8－3.0　光学10倍ズーム　虹彩絞り 35 mmフィルム換算時の焦点距離 動画／静止画：約43.6－436 mm
レンズ構成	9群11枚、非球面レンズ2 枚使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、マニュアル調整可
フィルター径	43 mm
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域1 m テレマクロ設定のとき：テレ端 約40 cm
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット（白取り込み）
最低被写体照度	0.1ルクス（ローライト（シーンモード）、シャッタースピード1/2秒時） 1.2ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式
動画サイズ	AVCHD MXP/FXP：　1920×1080 AVCHD XP+/SP/LP：　1440×1080 MP4 9Mbps/4Mbps：　1280×720
静止画サイズ	1920×1080

入・出力端子

映像／音声出力端子（AV OUT端子）	Φ3.5 mmステレオミニジャック、1 Vp-p／75 Ω －10 dBV（47 kΩ負荷時）／3 kΩ以下
USB端子	miniAB、Hi-Speed USB対応
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクター、出力のみ、CEC対応、x.v.Color対応
ヘッドホン端子	Φ3.5 mmステレオミニジャック（AV OUT端子兼用）
外部マイク入力端子	Φ3.5 mmステレオミニジャック、－64 dBV（600 Ωマイク使用時）／5 kΩ以上

電源その他

電源電圧	DC3.6 V(バッテリーパック)、DC5.3 V(DC IN)
消費電力 (内蔵メモリー、 SPモード、AF合焦時)	約2.7 W(明るさ標準)
動作温度	約0 ℃～＋40 ℃
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約68×64×121 mm(グリップベルトを含まず)
撮影時総質量	約365 g (バッテリーパックBP-718、SDメモリーカード、グリップベルト含む)
本体質量	約310 g (グリップベルトを含まず)

水中／水上モードの制限事項

使用できない機能	フェイスキャッチ＆追尾 (水中のみ)、ハイスピードAF、オートスローシャッター、手動マイクレベル調整、マイクアッテネーター、マニュアルフォーカス
水中／水上モード 専用の設定になる機能	ホワイトバランス、ピクチャー設定、テレマクロ
ズームスピード 最短撮影距離 (ウォーター プルーフケースの ガラス前面から)	「可変速」に設定したとき：スピード3より速い固定速 水中で撮影時：ワイド (広角)側 約5 cm、 テレ (望遠)側 約75 cm、 テレマクロのとき：テレ端　約35cm 空気中で撮影時：ワイド (広角)側 約5 cm、 テレ (望遠)側 約1 m テレマクロのとき：テレ端　約40cm

コンパクトパワーアダプター　CA-110

電源	AC 100 V－240 V、50 ／ 60 Hz
出力／消費電力	公称DC5.3 V、1.5 A/17 VA（100 V）～23 VA（240 V）
使用温度	約0 ℃～＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約49×27×79 mm
本体質量	約110 g

バッテリーパック　BP-718

使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	約0 ℃～＋40 ℃
公称電圧	DC3.6 V
公称容量	1840 mAh
定格（最小）容量	6.5 Wh / 1790 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.3×24.9×40.1 mm
質量	約42 g

バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーパックBP-718と別売のBP-727をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

内蔵メモリー記録時

録画モード	使用時間	BP-718	BP-727
MXP	連続撮影時間	1時間55分	2時間55分
	実撮影時間	1時間15分	1時間50分
	再生時間	3時間00分	4時間30分
FXP	連続撮影時間	1時間55分	2時間55分
	実撮影時間	1時間15分	1時間55分
	再生時間	3時間00分	4時間30分
XP+	連続撮影時間	2時間00分	3時間05分
	実撮影時間	1時間15分	1時間55分
	再生時間	3時間05分	4時間40分
SP	連続撮影時間	2時間05分	3時間05分
	実撮影時間	1時間20分	2時間00分
	再生時間	3時間05分	4時間40分
LP	連続撮影時間	2時間05分	3時間05分
	実撮影時間	1時間20分	2時間00分
	再生時間	3時間10分	4時間45分

メモリーカード記録時

録画モード	使用時間	BP-718	BP-727
MXP	連続撮影時間	1時間55分	2時間50分
	実撮影時間	1時間15分	1時間50分
	再生時間	2時間50分	4時間15分
FXP	連続撮影時間	1時間55分	2時間55分
	実撮影時間	1時間15分	1時間50分
	再生時間	2時間55分	4時間25分
XP+	連続撮影時間	2時間00分	3時間00分
	実撮影時間	1時間15分	1時間55分
	再生時間	3時間00分	4時間30分
SP	連続撮影時間	2時間00分	3時間00分
	実撮影時間	1時間15分	1時間55分
	再生時間	3時間00分	4時間35分
LP	連続撮影時間	2時間00分	3時間00分
	実撮影時間	1時間15分	1時間55分
	再生時間	3時間05分	4時間35分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。
* MP4動画での使用時間（目安）は、9Mbps、4MbpsいずれもSPモードと同等です。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

音楽ファイルについて

本機でビデオスナップなどに使う音楽は以下の形式です。

サンプリング周波数：48kHz

音声形式：リニアPCM

量子化ビット数：16bit

チャンネル数：2

再生時間：1秒以上

データ形式：WAV

iVISディスク / 音楽データ / 画像ミックスデータディスク

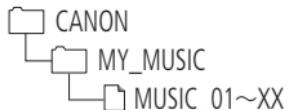
└ MUSIC

音楽ファイルはパソコンで見ると、以下のように保存されます。

内蔵メモリーのとき

CANON

└ MY_MUSIC

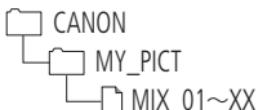
　└ MUSIC_01～XX

カードのとき

画像ミックスに使う画像ファイルについて

デコレーションの画像ミックスに使う画像は以下の形式です。
サイズ：1920×1080
データ形式：ベースラインJPEG
サンプリング比：4:2:2または4:2:0

画像ファイルは、パソコンから以下の場所に保存します。

内蔵メモリーのとき

CANON
　MY_PICT
　　MIX_01～XX

カードのとき

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HF M51は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

iVIS HF M51は、Exif 2.3（愛称「Exif Print」）に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

そのほか

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、App Store、iTunes、iPhone、iPad、iPod touchは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- 「x.v.Color」および「x.v.Color」ロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- FacebookおよびFロゴはFacebook Inc.の商標です。
- YouTubeは、Google Inc.の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,(250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA)から取得可能です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書とアフターサービス

> 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

- ビデオカメラのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 修理によっては、内蔵メモリーの初期化・交換をすることがあり、その場合、記録データはすべて消去されます。修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現・確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00～18:00

日曜日、祝日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF M51」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

サービスセンター

札幌	〒060-0003	北海道札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル 高層棟1F
仙台	〒980-0803	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング1F
上野	〒110-0005	東京都台東区上野1-1-12 信井ビル1F
銀座	〒104-0061	東京都中央区銀座3-9-7 トレランス銀座ビルディング2F
新宿	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
横浜	〒221-0056	神奈川県横浜市神奈川区金港町2-6 横浜プラザビル9F
名古屋	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 2F
大阪中之島	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F
梅田	〒530-0001	大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビルB1F
広島	〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング1F
福岡	〒812-0024	福岡市博多区綱場町4-1 福岡RDビル1F

東日本修理センター

〒261-0023　千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所1F

営業時間：銀座 10:30～18:30 ／上野、新宿、名古屋、梅田 10:00～18:00 ／その他 9:00～17:30
休業日：土・日曜日、祝日、年末年始、弊社休業日

※ 上野、銀座、新宿、名古屋、梅田は土曜日も営業しています。
※ 所在地は変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

ビデオカメラの使いかた
ImageBrowser EXの使いかた

キヤノン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00～20:00／土日祝日* 10:00～17:00

*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用になれない場合は、
043-211-9394をご利用ください。

PIXELA社製ソフトウエアの使いかた

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

0120-727-231（固定電話用、無料）

0570-064-246（携帯電話用）

10:00～18:00（年末年始、祝日を除く）

※インストールに必要な認証コードの
自動発行サービスは、24時間受け付けております。

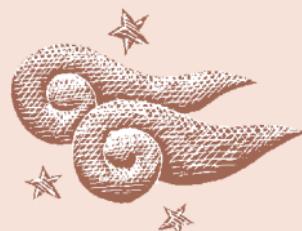
※上記番号をご利用になれない場合は、
FAX：06-6633-2992をご利用ください。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報については、こちらをご覧ください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0390-000B

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

本書の内容は2012年7月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。